

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

(1) 発生件数、死者数

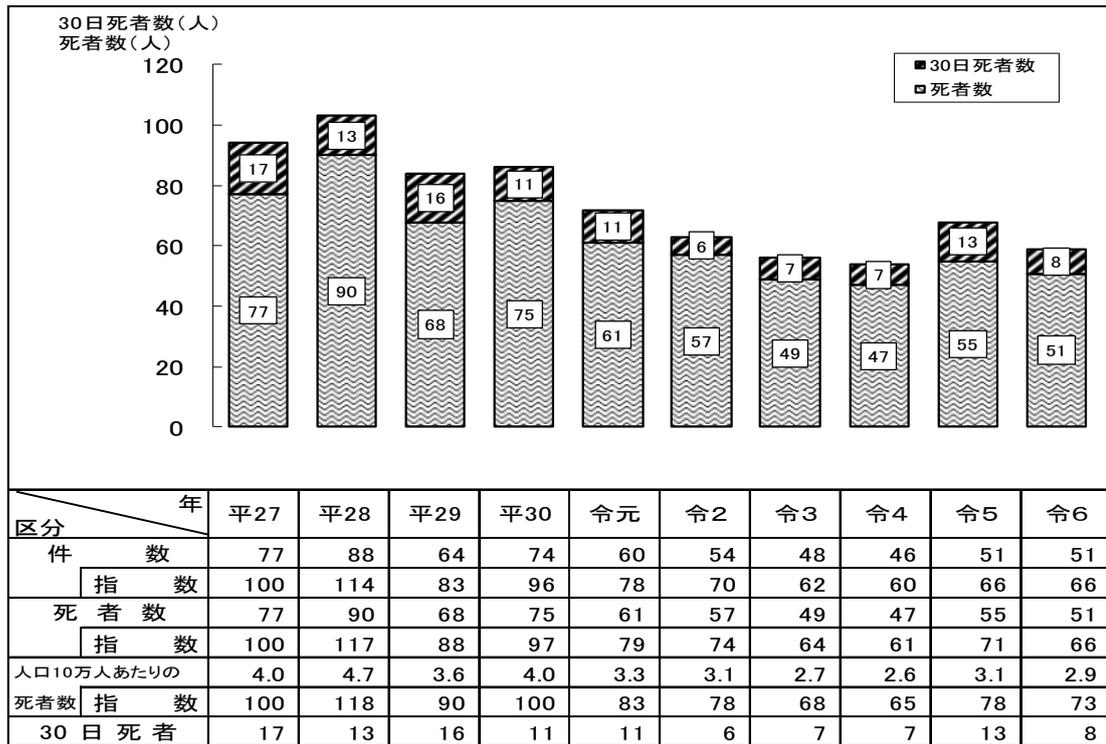
令和6年の死亡事故は、前年に比べ発生件数は同数で死者数は減少した。

発生件数 51件（前年比 ±0件）

死者数 51人（前年比 -4人 7.3%減）

過去10年間の推移をみると、コロナ禍前である令和2年より死者数が6名減少している。

（単位：件・人）



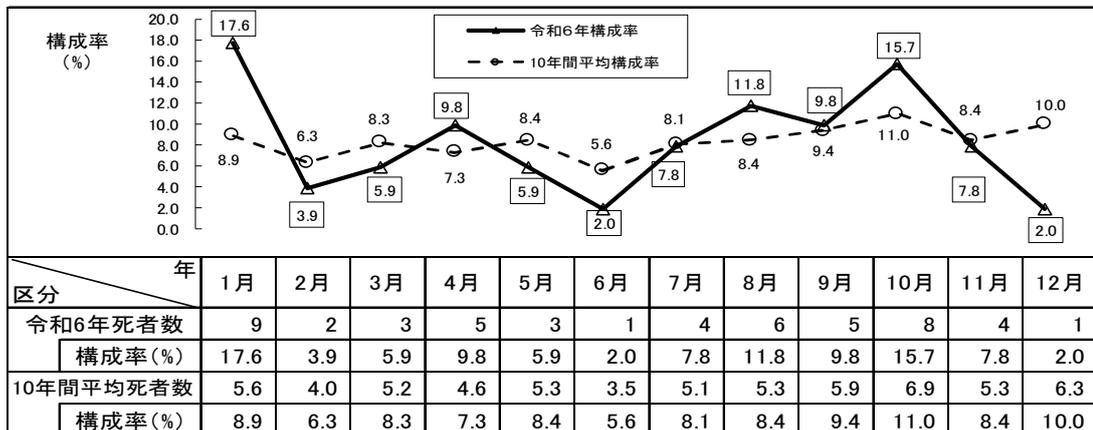
(2) 死亡事故の特徴

ア 月別

死者は、1月が最多の9人、最少は6月の1人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは1月、4月、8月、10月となった。

（単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、11時～12時、14時～15時、15時～16時の5人が最も多くなっている。

曜日別では、日曜日が最多の11人、水曜日が最少の3人となっている。

(単位：人)

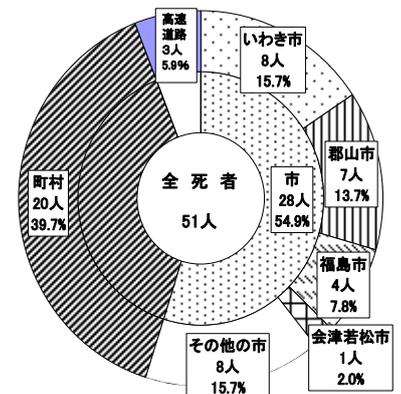
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	1									1		1	1	1	2		1	1	1			1			11
月					1		1		1			1	1		1	1									7
火				1						1								1					1		4
水								1					1										1		3
木				1	1					1	1			1		1	1	2				1			10
金				2						1		2			2	1				2					10
土						1			1			1				2							1		6
合計	1	0	0	4	2	1	1	1	2	4	1	5	3	2	5	5	2	4	3	0	1	4	0	0	51

ウ 市町村別 (※高速道路上を除く)

死者数の最も多い市町村はいわき市が8人、次いで郡山市が7人、福島市が4人の順に多い。

また、市部全体の死者数は28人で、全死者の54.9%を占めている。

市町村別

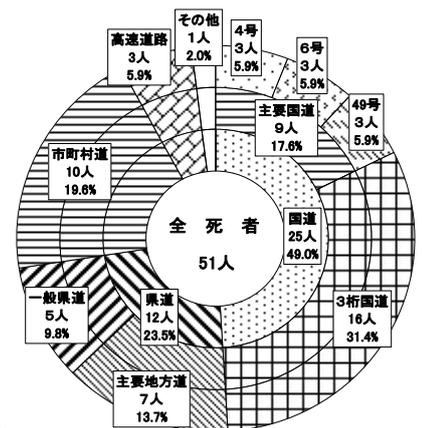


エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

国道での死者が25人(49.0%)で最も多く、次いで県道12人(23.5%)、市町村道10人(19.6%)となっている。

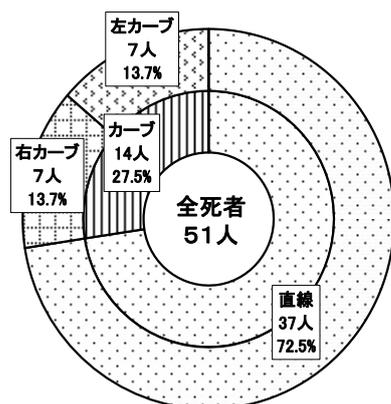
道路別



(イ) 道路線形別

直線道路での死者は37人で全死者の72.5%を占める。カーブでの死者は14人で、うち右カーブ、左カーブともに7人となっている。

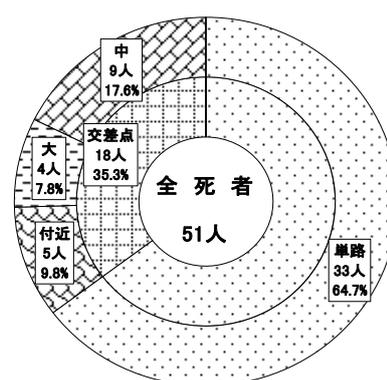
道路線形別



(ウ) 道路形状別

単路での死者は33人で全死者の64.7%を占め、交差点での死者は18人で35.3%を占めている。

道路形状別



(注)
 大交差点 道路幅員13m以上
 中交差点 道路幅員5.5m以上13m未満
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (51件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が18件で全死亡事故の35.3%を占め最も多く、次いで軽乗用車が15件、軽貨物車が7件の順となっている。

(イ) 年齢別

80歳以上による事故が11件で最も多く、次いで60歳代と70歳代が8件、50歳代が7件の順になっている。

(単位：件)

年齢	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満																	0
16～19歳				2													2
20歳代	20～24歳			1	1							1					3
	25～29歳				1												1
30歳代	30～34歳			3													3
	35～39歳			2								1					3
40歳代	40～44歳			1	1												2
	45～49歳			1				1				1					3
50歳代	50～54歳			3	1							1					5
	55～59歳	1		1													2
60歳代	60～64歳				1			1			1						4
	65～69歳			1	1					1		1					4
70歳代	70～74歳			1	2					2							5
	75～79歳				3												3
80歳以上				2	4					3				2			11
その他(当事者不明)																	0
合計		1	0	0	18	15	0	2	0	0	7	0	6	0	2	0	51
内数	子ども																0
	幼児																0
	小学生																0
	中学生																0
	高校生																0
	高齢者				4	10					6		1		2		23
男性	1			13	7			2		6		6		2		37	
女性				5	8					1						14	
県外居住者				1				2				2				5	

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.4に対して男性の死亡事故率が0.6と高くなっている。

(単位：件・人)

年齢	男性			女性			合計		
	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	2			0			2	
	20～24歳		2		1			3	
	計	4			1			5	
25～29歳		1						1	
30歳代		3			3			6	
40歳代		4			1			5	
50歳代		6			1			7	
60～64歳		3			1			4	
高齢者		16			7			23	
合計	672,112	37	0.6	582,618	14	0.2	1,254,730	51	0.4

※年齢別の免許人口については、令和6年から表示不可

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない (注2) 免許人口は令和6年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については2件発生した（いずれも自転車が第1当事者）。

運転免許を要する車両による死亡事故49件中、10年以上経過した者による事故が38件で77.6%を占めている。（単位：件）

経過年数	車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計	
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付		
1年未満					2													2
1～2年																		0
2～3年						1							1					2
3～4年					1									1				2
4～5年					1								1					2
10年未満		1			1	1												3
10年以上					13	13		2			7				1	2		38
免許外・無免許																		0
合計		1	0	0	18	15	0	2	0	0	7	0	2	1	1	2		49

(オ) 違反別

悪質違反による事故が13件となっており、全死亡事故の25.5%を占めている。

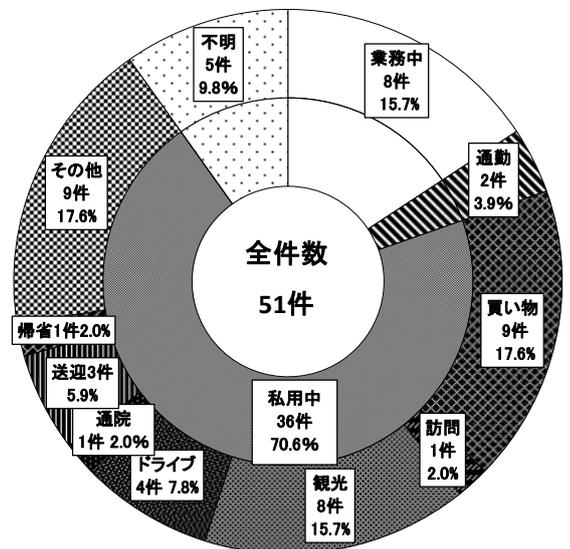
違反別でみると安全運転義務違反（前方不注意）が18件と最も多い。（単位：件）

違反別			件数	違反別			件数	違反別			件数	
車 両 の 違 反	悪質違反	信号無視	2	車 両 の 違 反	安全運転義務違反	徐行違反		歩 行 者 の 違 反	横断	信号無視		
		最高速度				過労等運転	1			横断歩道外横断		
		通区・追越	4			安全	ハンドル操作不適			5	斜め横断	
		歩行者妨害	4			運転	ブレーキ操作不適			2	走行車両直前直	
		一時不停止	3			義務	前方不注意			18	横断禁止場所	
	酒酔い運転		違反			動静不注意	1		計	0		
	計	13	違反			安全不確認	2		飛び出し			
	横断等禁止		違反			安全速度	1		その他			
	車間距離不保持	1	違反			予測不適			計	0		
	進路変更禁止		違反			その他	2		不明			
右折違反		違反	違反計	31	合計	51						
左折違反		違反	ドア開放等		内数（飲酒運転）							
優先通行妨害等	1	違反	その他	3								
交差点安全進行義務	1	違反	計	51								

(カ) 通行目的別

業務中に発生した事故が8件と全事故の15.7%、通勤時が2件と全事故の3.9%を占めている。

私用中に発生した事故が36件と全事故の70.6%を占めており、その中でも買物の9件が最も多く、次いで観光の8件となっている。



カ 事故類型別死者数

事故類型別では、

人対車両	19人（全死者の	37.3%）
車両相互	19人（全死者の	37.3%）
車両単独	13人（全死者の	25.5%）

となっており、昼間は車両相互と車両単独死亡事故の割合が高く、夜間は人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

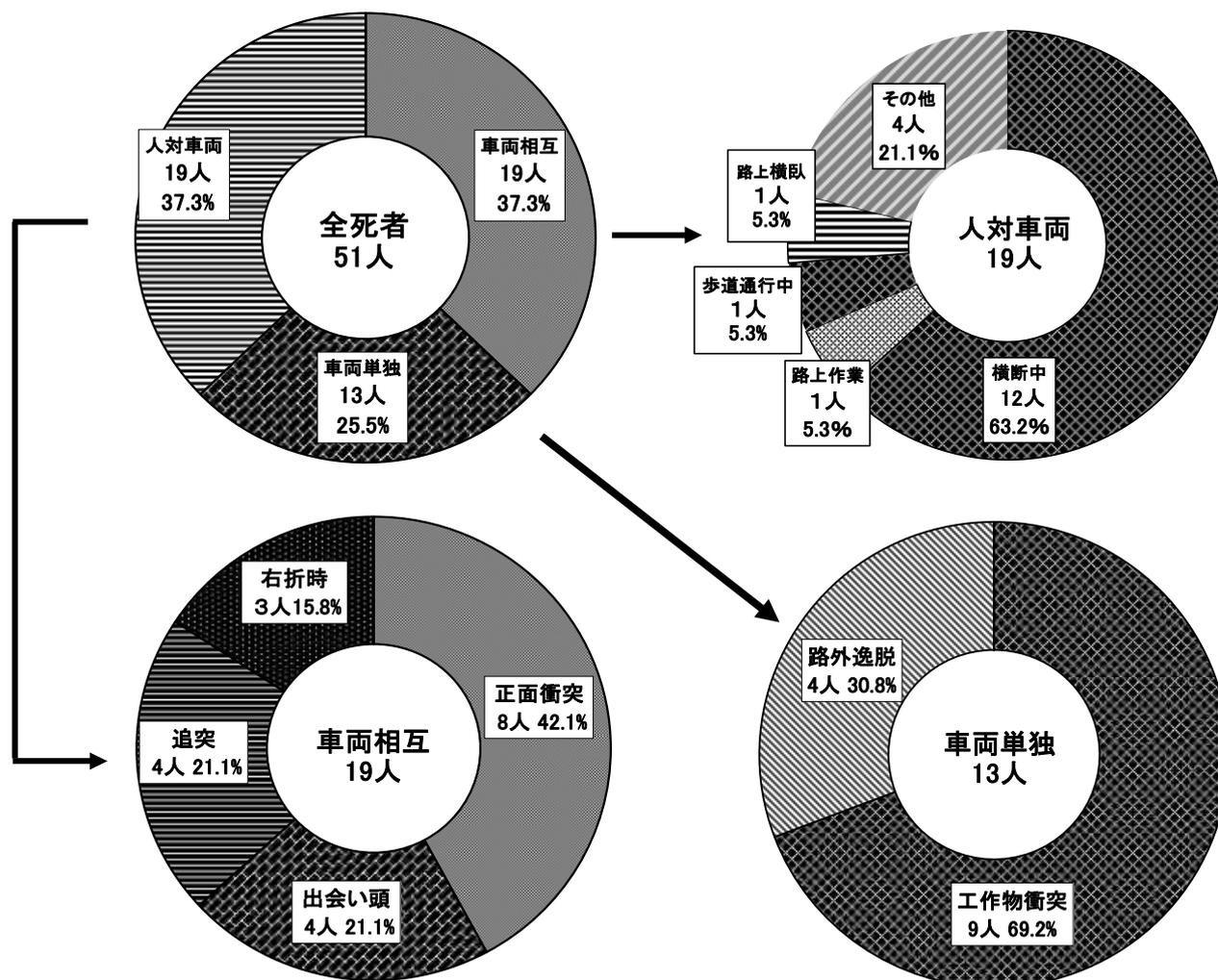


各事故類型でみると

人対車両…横断中が12人と最も多く63.2%を占めている。

車両相互…正面衝突と8人と最も多く42.1%を占めている。

車両単独…工作物衝突が9人と最も多く69.2%を占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者が19人（37.3%）で最も多く、次いで自動車運転中の死者が13人（25.5%）、自動二輪運転中が7人（13.7%）となっている。（単位：人・%）

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		11	2	6	2	5	0	2	0	2	2	0	19	0	51
構成率(%)		21.6	3.9	11.8	3.9	9.8	0.0	3.9	0.0	3.9	3.9	0.0	37.3	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は29人（全死者の56.9%）で、うち歩行中の死者は11人と最も多く高齢死者の37.9%を占めている。

自動車運転中の死者に占める高齢者の割合は13人中8人（61.5%）と構成率が高くなっている。（単位：人）

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満												0
16～19歳										2		2
20歳代	20～24						1					1
	25～29									1		1
30歳代	30～34	1										1
	35～39						1					1
40歳代	40～44				2							2
	45～49	1					1					2
50歳代	50～54						2			1		3
	55～59	1					1			4		6
60歳代	60～64	1	1						1			3
	65～69	1					1		1			3
70歳代	70～74	1								1	2	4
	75～79	1			1					3		5
80歳以上		3	2		3					6		17
合計		10	3	0	6	7	0	2	4	19	0	51
内数	子ども											0
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生											0
高齢者		6	2		4	1		1	4	11		29
男性		8	3				7		2	4	12	36
女性		2		6						7		15

ウ 職業別

無職が33人と最も多く全死者の64.7%を占め、次いで建設業が4人、製造業が3人と多くなっている。（単位：人）

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者												0
公務員												0
農・林・漁業										1		1
鉱業												0
建設業		1					2			1		4
製造業							2			1		3
卸・小売業		1										1
運輸・郵便業			1					1				2
医療・福祉												0
電気・ガス・水道業										1		1
サービス業		1								1		2
子供												0
高校生												0
学生										1		1
主婦					1							1
無職		7	2		5	2		1	4	12		33
その他							1			1		2
合計		10	3	0	6	7	0	2	4	19	0	51

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者18人のうち、9人(歩行者死者の50.0%)には何らかの違反があり、横断中の違反のある死者が6人と多く、違反のある歩行者死者の約7割を占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 歩 の き	ひとり 歩 の き	は い て か い い	路 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 両 後	直 行 車 両 後	走 行 車 両 後									
1 当							0								0	
2当以下	1		6				6			1	1			9	18	

※調査不能は除く

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者3人のうち2人(66.7%)に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下	1														1	2

※調査不能は除く

(ウ) 原付

原付乗車中の死者2人に違反があった。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下																0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者7人のうち4人(57.1%)に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下							2								3	5
同 乗																0

(ウ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者13人、同乗中死者6人の合計19人である。

運転中死者の違反別では、前方不注意が4人で最も多く、運転中死者の30.8%を占めている。

事故類型別では、車両単独による死者が8人で、自動車乗車中の死者全体の42.1%を占めている。 (単位：人)

区分	違反	運 転 中															同 乗 中 計	合 計			
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務			その の 他	違 反 な し						
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意			安全不確認			安全速度	その他	
当事者	1当			1								1	4		1		2		9	9	
	2当																	2	2	2	
	3当以下																	0	6	6	
事故 類 型	正面衝突			1								2					1	2	6	6	
	追突											1					1	2	2	2	
	出会い頭																	0	0	0	
	追越・追抜																	0	0	0	
	転回時																	0	0	0	
	右折時その他																1	1	1	1	
計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	3	9	9	
車両単独											1	1		1		2	3	8	8		
列車																		0	0	0	
合計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0	1	0	2	5	3	17	0	17

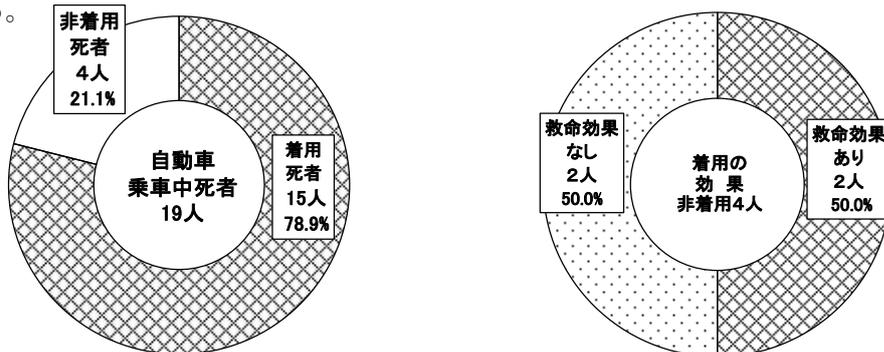
※調査不能2名を除く

オ シートベルト・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

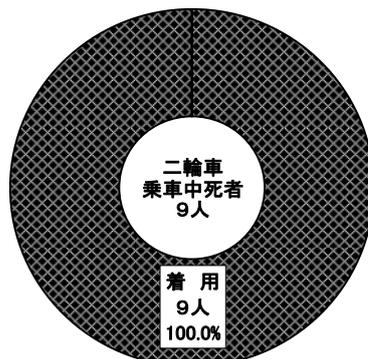
自動車乗車中の死者19人中シートベルトを着用していたのは15人で、着用率は78.9%であった。

また、非着用死者4人中2人は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は9人で、9人ともヘルメットを着用していた。



2 歩行者の事故

(1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

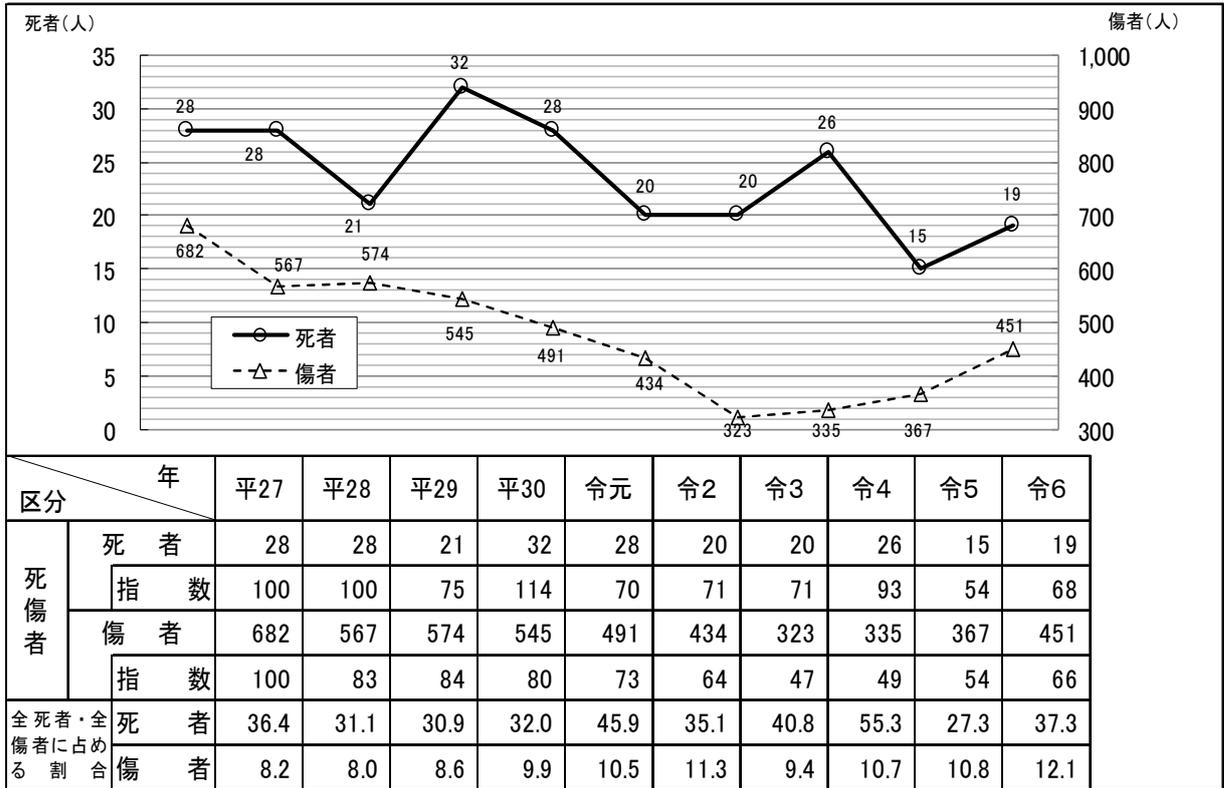
死者数 19人 (前年比 +4人 26.7%増)

傷者数 451人 (前年比 +84人 22.9%増)

で、前年より死者数・傷者数ともに増加した。

全死者・傷者数に占める割合は、死者数は37.3%で10.0ポイント増加し、傷者数は12.1%で1.3ポイント増加した

(単位：人・%)



(2) 月別

死者は1月が4人で最も多く、次いで4月と11月が3人となっている。

傷者数は12月が69人で最も多く、次いで11月の56人となっている。

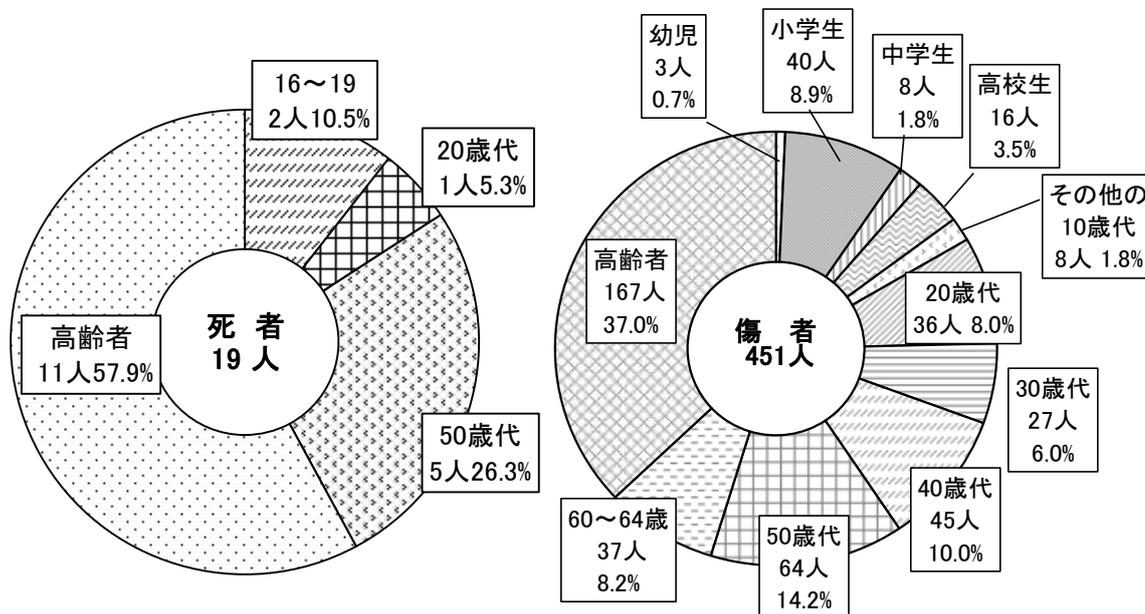
(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		被害	死者	4	2	1	3		1		2	1	2	3
	傷者	41	40	33	32	33	27	20	37	25	38	56	69	451
全死者・全傷者に占める割合	死者	44.4	100.0	33.3	60.0	0.0	100.0	0.0	33.3	20.0	25.0	75.0	0.0	37.3
	傷者	16.3	16.1	12.2	11.8	11.3	11.5	7.9	9.8	7.4	10.4	14.2	15.6	12.1

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が11人で最も多く、歩行者死者の57.9%を占めている。

傷者も高齢者が167人と最も多く、歩行者傷者の37.0%を占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は57.9%であり、その他の高齢者死者の56.3%と同水準である。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は37.0%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合16.5%の約2.2倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	0	0.0	55	12.2	
	16~19歳	2	10.5	20	4.4	
	20歳代	1	5.3	36	8.0	
	30歳代	0	0.0	27	6.0	
	40歳代	0	0.0	45	10.0	
	50歳代	5	26.3	64	14.2	
	60歳代	60~64	0	0.0	37	8.2
		65~69	0	0.0	32	7.1
	70歳代	70~74	2	10.5	32	7.1
		75~79	3	15.8	37	8.2
	80歳以上	6	31.6	66	14.6	
	合計	19	100.0	451	100.0	
歩行者の傷者	幼児		0.0	3	0.7	
	小学生		0.0	40	8.9	
	中学生		0.0	8	1.8	
	高校生		0.0	16	3.5	
	高齢者	11	57.9	167	37.0	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	171	5.2	
	16~19歳	0	0.0	166	5.1	
	20歳代	1	3.1	492	15.0	
	30歳代	2	6.3	553	16.8	
	40歳代	4	12.5	625	19.0	
	50歳代	4	12.5	529	16.1	
	60歳代	60~64	3	9.4	208	6.3
		65~69	3	9.4	174	5.3
	70歳代	70~74	2	6.3	162	4.9
		75~79	2	6.3	102	3.1
	80歳以上	11	34.4	105	3.2	
	合計	32	100.0	3,287	100.0	
その他の傷者	幼児	0	0.0	40	1.2	
	小学生	0	0.0	58	1.8	
	中学生	0	0.0	51	1.6	
	高校生	0	0.0	124	3.8	
	高齢者	18	56.3	543	16.5	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は14時～16時、16時～18時、20時～22時の3人が最も多い。

傷者については、16～18時の85人が最も多く、歩行者傷者の18.8%を占めており、次いで18時～20時の78人となっている。(単位：人・%)

区分 \ 時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者	1	2	1	1	2	0	1	3	3	2	3	0	19
構成率(%)	5.3	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0	5.3	15.8	15.8	10.5	15.8	0.0	100.0
傷者	4	2	13	25	42	53	49	53	85	78	30	17	451
構成率(%)	0.9	0.4	2.9	5.5	9.3	11.8	10.9	11.8	18.8	17.3	6.7	3.8	100.0

イ 昼夜別

死者は夜が12人と多く、歩行者死者の63.2%を占めている。

傷者は昼間が265人と多く、歩行者傷者の58.8%を占めている。(単位：人・%)

区分 \ 昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者		6	1	7	4	6	2	12	19
構成率(%)	0.0	31.6	5.3	36.8	21.1	31.6	10.5	63.2	100.0
傷者	11	232	22	265	64	117	5	186	451
構成率(%)	2.4	51.4	4.9	58.8	14.2	25.9	1.1	41.2	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の被害が多く、夜間の死者12人中6人が高齢者で、歩行者死者の31.6%を占めている。

傷者は昼間に高齢者の被害が多くなっている。(単位：人・%)

区分 \ 昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		5	2	7		6	6	12	19
構成率(%)	0.0	26.3	10.5	36.8	0.0	31.6	31.6	63.2	100.0
傷者	43	104	118	265	8	63	115	186	451
構成率(%)	9.5	23.1	26.2	58.8	1.8	14.0	25.5	41.2	100.0

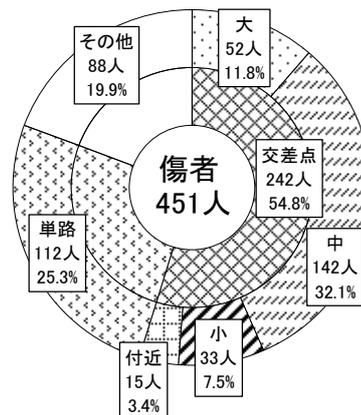
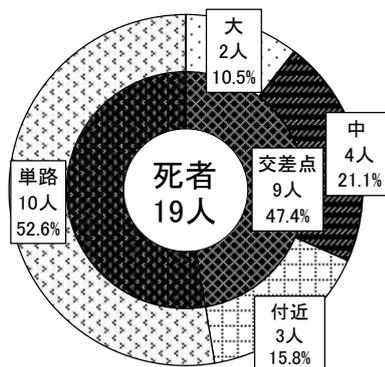
(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が10人で52.6%を占めている。

交差点での死者は9人で、内訳は、「大交差点」は2人、「中交差点」は4人、「小交差点」は0人、「交差点付近」は3人であった。

傷者は交差点が242人と多く、54.8%を占めており、なかでも「中交差点」の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は10人で、歩行者死者の52.6%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が17人と多く、歩行者死者の89.5%を占め、傷者についても318人で歩行者傷者の70.5%を占めている。

(単位：人)

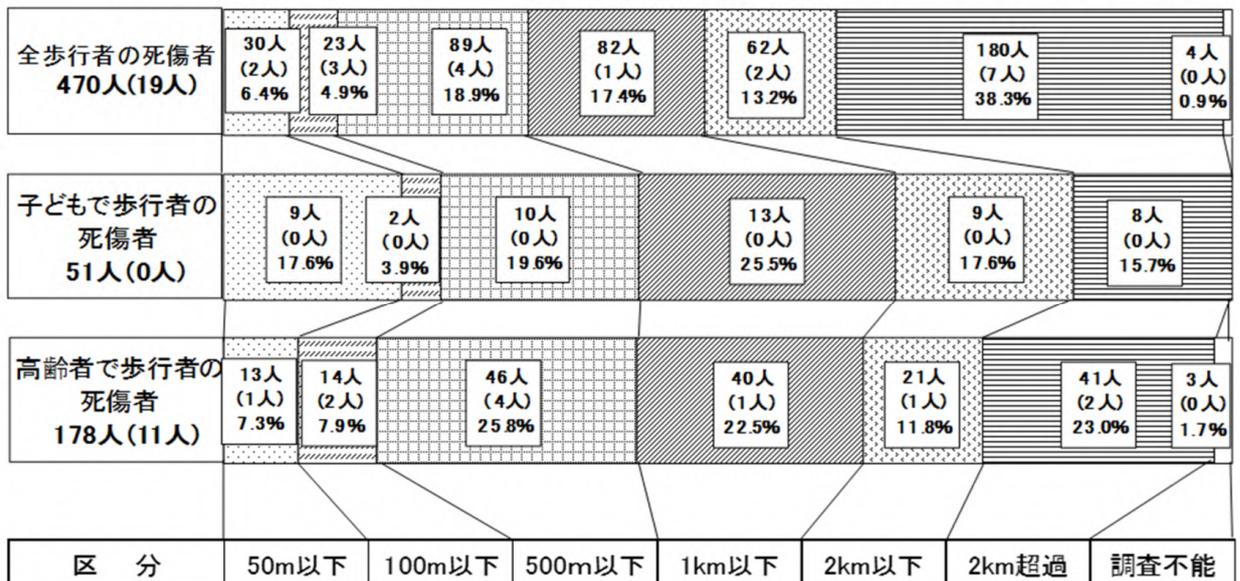
道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者	2	1		1	4			4
		傷 者	41	78	10	4	133	1		134
信号機	信号機なし	死 者		3		2	5	10		15
		傷 者	10	67	25	12	114	116	87	317
合 計		死 者	2	4		3	9	10	0	19
		傷 者	51	145	35	16	247	117	87	451

歩車道	区分あり	防護柵等	死 者							0
			傷 者	4	3	1		8	1	
	緑石等	死 者	2	2		3	7	7		14
		傷 者	47	123	22	7	199	59	5	263
	路側帯	死 者		1			1	2		3
		傷 者		10	2	5	17	28	1	46
区分なし		死 者		1			1	1		2
		傷 者		9	10	4	23	29	81	133
合 計		死 者	2	4		3	9	10	0	19
		傷 者	51	145	35	16	247	117	87	451

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が179人で歩行者死傷者の38.5%を占めている。

また、死者についても自宅から2km超過が最も多く、歩行者死者の36.8%を占めている。

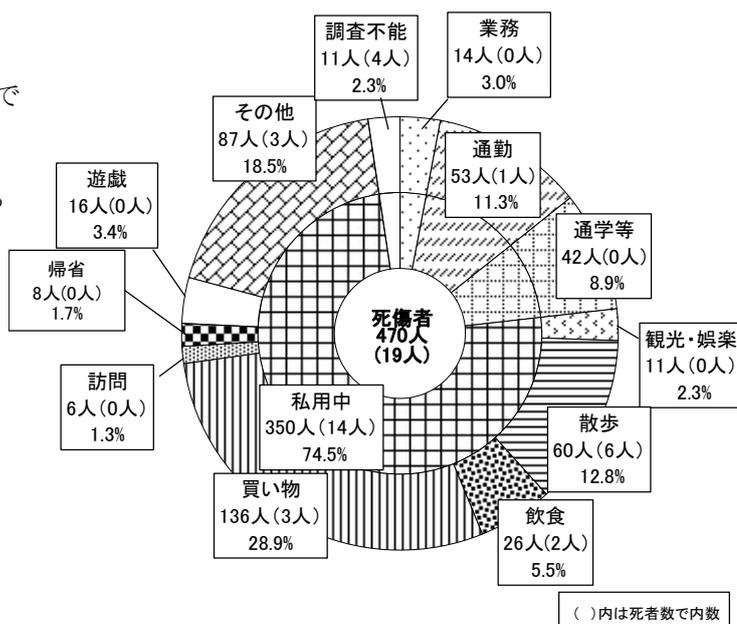


()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

全死傷者の私用中の事故が350人で74.5%を占めている。

私用中の中では買い物目的が最も多く136人で全死傷者の28.9%を占めている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は12人で歩行者死者の63.2%、傷者は254人で歩行者傷者の56.3%を占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両													人 対 車 両 以 外	合 計
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他		
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他									
死 者	0	0	5	2	0	5	12	0	1	0	1	0	5	0	19
構成率(%)	0.0	0.0	26.3	10.5	0.0	26.3	63.2	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	26.3	0.0	100.0
傷 者	30	42	172	4	1	77	254	3	4	5	24	5	78	6	451
構成率(%)	6.7	9.3	38.1	0.9	0.2	17.1	56.3	0.7	0.9	1.1	5.3	1.1	17.3	1.3	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者12人のうち、交差点での死者は8人で、横断中死者の66.7%を占め、横断中の傷者254人のうち、交差点での傷者は212人で横断中歩行者の83.5%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状 横断場所		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	構成率(%)	
		死者	傷者	死者	傷者							死者	傷者
横 断 中	横 断 歩 道	5	164			5	164		8	5	172	41.7	67.7
	横 断 歩 道 付 近	1	4	1		2	4			2	4	16.7	1.6
	横 断 歩 道 橋 付 近				1	0	1			0	1	0.0	0.4
	そ の 他		37	1	6	1	43	4	34	5	77	41.7	30.3
合 計		6	205	2	7	8	212	4	42	12	254	100	100

ウ 横断開始場所

交差点横断中以外の横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は5人、傷者は65人（68.4%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は8人で、うち4人は子どもとなっている。

(単位：人・%)

横断場所		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
		区分						
子ども	死者							
	傷者	1	2	1	1	1	3	7
高齢者	死者							5
	傷者		1		1		8	27
その他	死者							
	傷者		3		5		3	31
合計	死者	0	0	0	0	0	0	5
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	傷者	1	6	1	7	1	14	65
	構成率(%)	1.1	6.3	1.1	7.4	1.1	14.7	68.4

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった

死者は10人で52.6%を占め、傷者は75人で、16.7%となっている。

イ 死者の違反は、横断歩道外横断が6人と多く、違反あり死者の60.0%を占めている。

傷者の違反についても横断歩道外横断が29人と多く、次いで飛び出し、通行区分の順に多くなっている。

違反	死傷者		傷者		
	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	
信号無視	1	5.3	1	0.2	
通行区分		0.0	10	2.2	
横断中	横断歩道外	6	31.6	29	6.4
	斜め横断		0.0		0.0
	駐停車車両直前・直後		0.0	6	1.3
	走行車両直前・直後		0.0	6	1.3
	横断禁止場所		0.0		0.0
計	6	31.6	41	9.1	
酩酊・徘徊	1	5.3	3	0.7	
路上遊戯		0.0	2	0.4	
路上作業	1	5.3	3	0.7	
飛び出し		0.0	11	2.4	
その他の違反	1	5.3	4	0.9	
違反なし	9	47.4	375	83.3	
合計	19	100.0	450	100.0	

※調査不能1人を除く

3 自転車の事故

(1) 概況

交通事故で死傷した自転車は

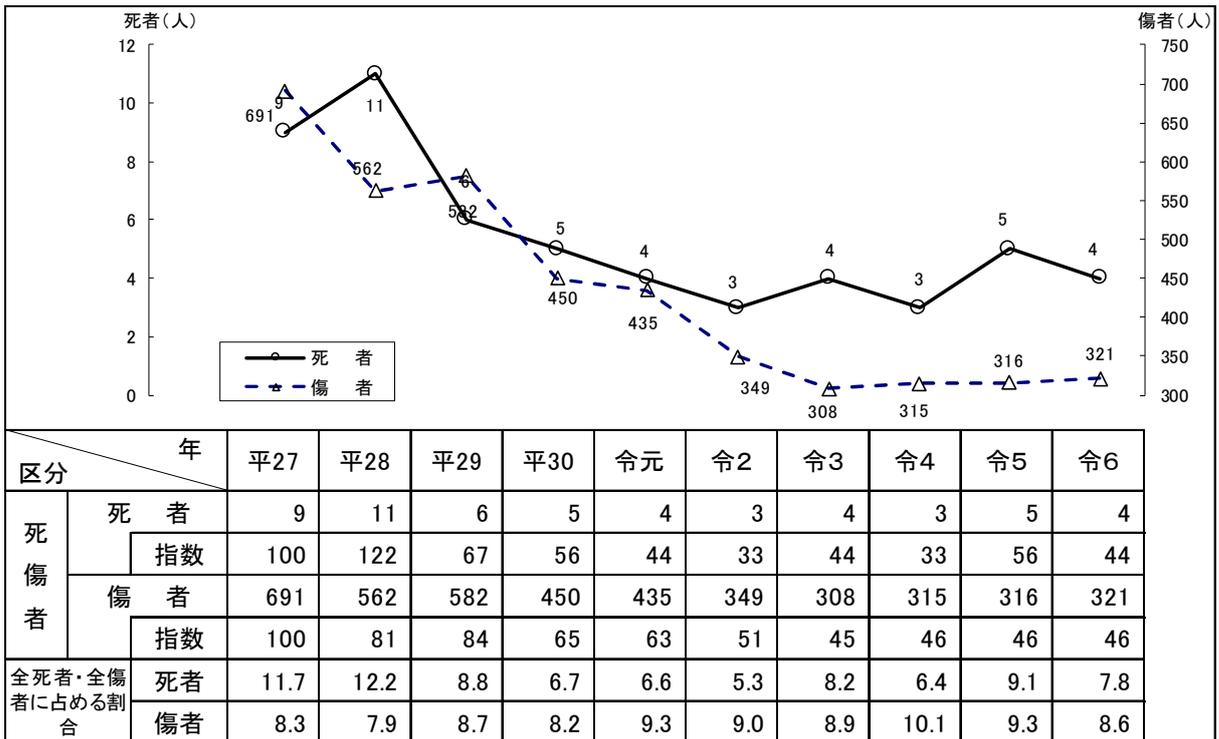
死者数 4人 (前年比 -1人 20.0%減)

傷者数 321人 (前年比 +5人 1.6%増)

で、前年より死者数、傷者数はともに増加した。

全死者数に占める割合は7.8%で1.3ポイントの減少、全傷者数に占める割合は8.6%で0.7ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月別

死者数は7月に2人、9月、10月に1人となっている。

傷者数は、10月、11月、12月がそれぞれ38人と最も多く、次いで9月の32人の順となっている。上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

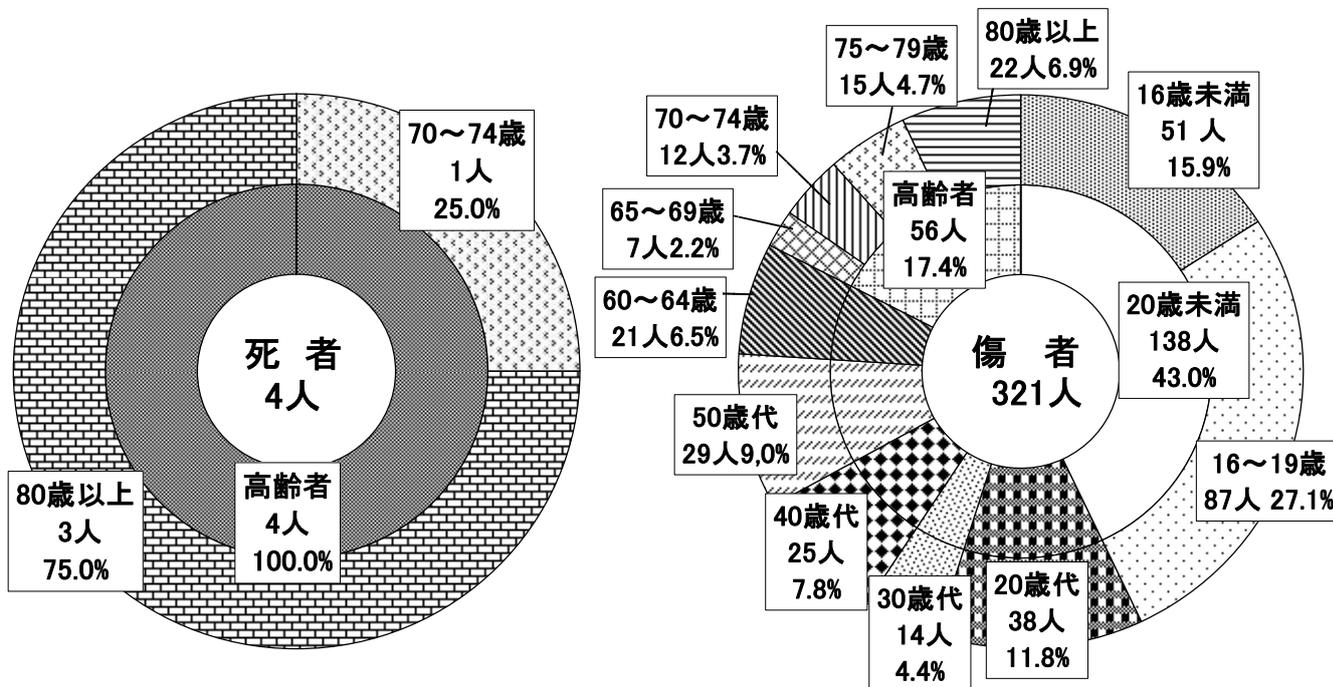
区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者								2		1	1			4
	傷者		12	29	11	24	21	28	24	26	32	38	38	38	321
全死傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	20.0	12.5	0.0	0.0	7.8
	傷者		4.8	11.6	4.1	8.8	7.2	11.9	9.5	6.9	9.5	10.4	9.6	8.6	8.6

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者4人全員が高齢者であった。

傷者は20歳未満が138人と多く、自転車傷者の43.0%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、その他の死傷者に比べ20歳未満死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

区分	年齢	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自 転 車 の 死 傷 者	16歳未満	0	0.0	51	15.9	
	16~19歳	0	0.0	87	27.1	
	20歳代	0	0.0	38	11.8	
	30歳代	0	0.0	14	4.4	
	40歳代	0	0.0	25	7.8	
	50歳代	0	0.0	29	9.0	
	60歳代	60~64	0	0.0	21	6.5
		65~69	0	0.0	7	2.2
	70歳代	70~74	1	25.0	12	3.7
		75~79	0	0.0	15	4.7
80歳以上	3	75.0	22	6.9		
合 計		4	100.0	321	100.0	
内 訳	幼 児	0	0.0	1	0.3	
	小 学 生	0	0.0	8	2.5	
	中 学 生	0	0.0	25	7.8	
	高 校 生	0	0.0	92	28.7	
	高 齢 者	4	100.0	56	17.4	

(単位：人・%)

区分	年齢	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
そ の 他 の 死 傷 者	16歳未満	0	0.0	119	3.8	
	16~19歳	1	2.2	90	2.9	
	20歳代	3	6.7	513	16.3	
	30歳代	4	8.9	615	19.6	
	40歳代	2	4.4	609	19.4	
	50歳代	4	8.9	515	16.4	
	60歳代	60~64	1	2.2	203	6.5
		65~69	3	6.7	171	5.4
	70歳代	70~74	4	8.9	158	5.0
		75~79	4	8.9	70	2.2
80歳以上	19	42.2	75	2.4		
合 計		45	100.0	3,138	100.0	
内 訳	幼 児	0	0.0	25	0.8	
	小 学 生	0	0.0	66	2.1	
	中 学 生	0	0.0	20	0.6	
	高 校 生	0	0.0	41	1.3	
	高 齢 者	30	66.7	474	15.1	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は4～6時、8～10時、14～16時、16～18時の間に各1人となっている。

傷者は8～10時が62人で最も多く自転車傷者の19.3%を占めており、次いで16～18時の53人となっている。(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
	死者				1		1			1	1			
	構成率(%)	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者			1	4	48	62	25	35	43	53	44	3	3	321
	構成率(%)	0.0	0.3	1.2	15.0	19.3	7.8	10.9	13.4	16.5	13.7	0.9	0.9	100.0

イ 昼夜別

死者数、傷者数ともに昼間が多くなっている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			2	1	3			1	1	4
	構成率(%)	0.0	50.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0
傷者		6	215	24	245	35	37	4	76	321
	構成率(%)	1.9	67.0	7.5	76.3	10.9	11.5	1.2	23.7	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は4人全て高齢者で、昼間が3人、夜間が1人となっている。

傷者は、昼間の高齢者が46人と多く、自転車傷者の14.3%を占めている。

(単位：人・%)

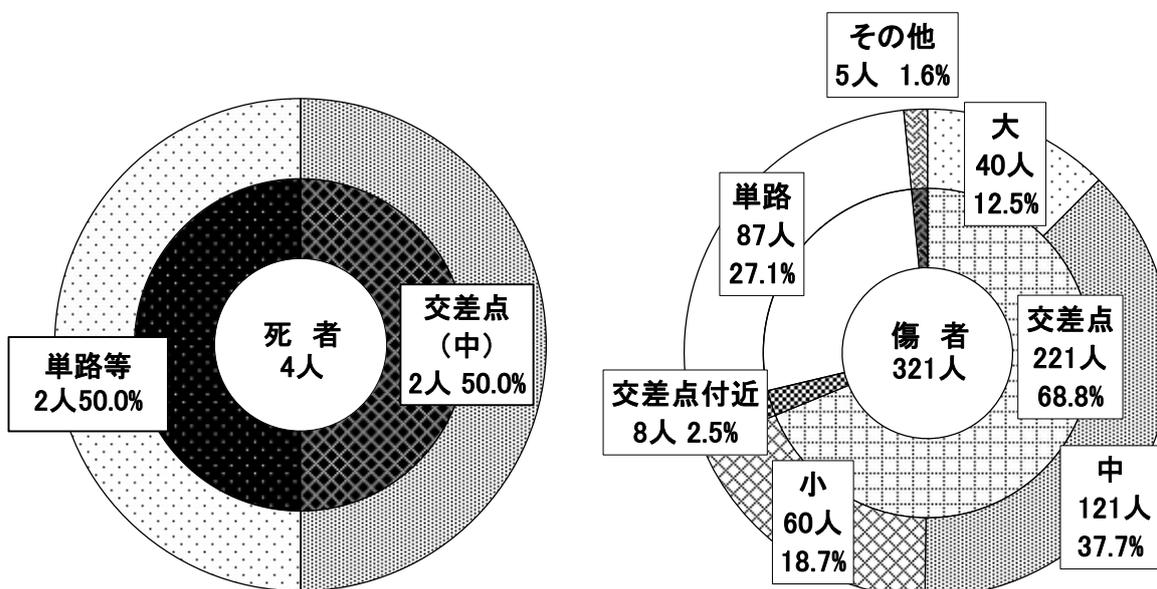
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			3		3		1		1	4
	構成率(%)	0.0	75.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	100.0
傷者		27	46	172	245	7	10	59	76	321
	構成率(%)	8.4	14.3	53.6	76.3	2.2	3.1	18.4	23.7	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は交差点(中)2人、単路2人となっており、傷者は交差点が221人で自転車傷者の68.8%を占めている。

交差点の大きさで見ると、交差点(中)での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は信号機のある交差点で1人、信号機のない交差点で1人、単路で2人となっている。(単位：人)

信号機の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者		1				1			1
		傷 者	30	51	9	3	93	1			94
	信号機なし	死 者		1			1	2			3
		傷 者	10	70	51	5	136	86	5		227
合 計		死 者	0	2	0	0	2	2	0	4	
		傷 者	40	121	60	8	229	87	5	321	

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点内で2人、その他で2人となっており、傷者は交差点とその付近で229人(71.3%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が2人(50.0%)、傷者が173人(53.9%)と多くなっている。(単位：人・%)

道路形状		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		事故類型	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0
車	正 面 衝 突		1			0	1		2	0	3	0.0	0.9
	追 突					0	0	1	3	1	3	25.0	0.9
両	出 会 い 頭	2	124		1	2	125		48	2	173	50.0	53.9
	追 越 ・ 追 抜		2		1	0	3		6	0	9	0.0	2.8
相	転 回 ・ 後 退 時					0	0		6	0	6	0.0	1.9
	進 路 変 更 時					0	0		1	0	1	0.0	0.3
互	す れ 違 い 時		1			0	1		3	0	4	0.0	1.2
	左 折 時		50		4	0	54		14	0	68	0.0	21.2
	右 折 時		40		1	0	41		8	0	49	0.0	15.3
	そ の 他		2		1	0	3	1	1	1	4	25.0	1.2
計		2	220	0	8	2	228	2	92	4	320	100.0	99.7
車 両 単 独			1			0	1			0	1	0.0	0.3
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		2	221	0	8	2	229	2	92	4	321	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は500m以内で1人、2km以内で3人となっており、全体の傷者数は自宅からの距離が遠くなるにつれて構成率の上昇が見られる。

(単位：人・%)

区分	距離							調査不能	合 計
	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過			
子 ども	2	3	5	12	4	8			34
	構成率(%)	5.9	8.8	14.7	35.3	11.8	23.5	0.0	100.0
高 齢 者		3	② 10	10	13	② 23		1.0	④ 60
	構成率(%)	0.0	5.0	16.7	16.7	21.7	38.3	0.4	98.8
そ の 他	3	5	23	41	50	105		4	231
	構成率(%)	1.3	2.2	10.0	17.7	21.6	45.5	1.7	100.0
合 計	5	11	② 38	66	74	② 136		5	④ 325
	構成率(%)	1.5	3.4	11.7	20.3	22.8	41.8	1.5	103.1

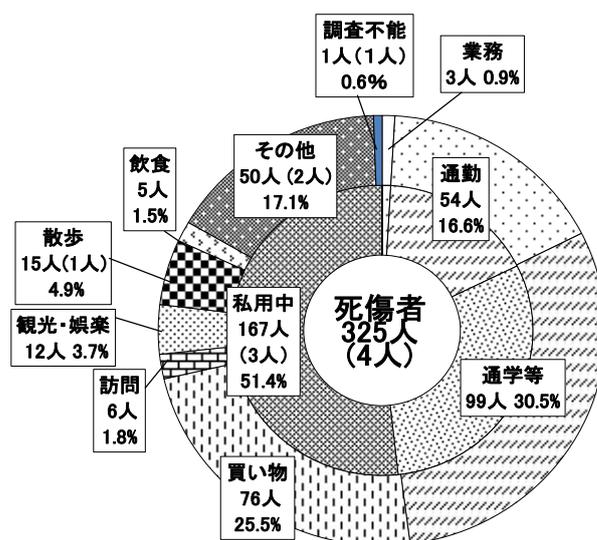
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が167人で51.4%を占めている。

主な内訳は、買い物が76人(25.5%)、通学等99人(30.5%)で多くを占めている。

その他は、通勤が54人(16.6%)と多い。



()内は死者数で内数

(9) 違反別

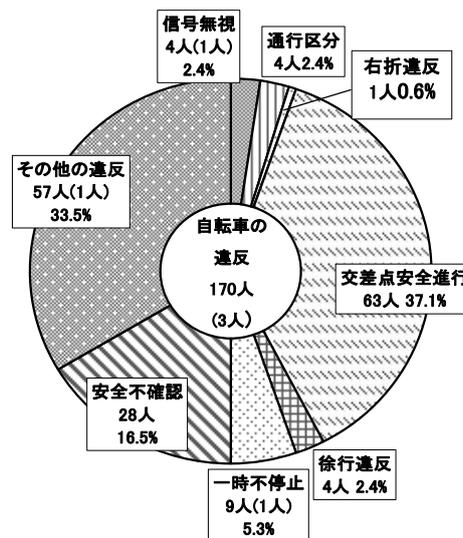
死者のうち何らかの違反があったのは3人(75.0%)で、同じく傷者では167人(52.0%)となっている。

(単位：人・%)

違反	死者		傷者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視	1	25.0%	3	0.9%
通行区分		0.0%	4	1.3%
横断等禁止		0.0%		0.0%
右折違反		0.0%	1	0.3%
優先通行妨害		0.0%		0.0%
交差点安全進行		0.0%	63	19.7%
徐行違反		0.0%	4	1.3%
一時不停止	1	25.0%	8	2.5%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認		0.0%	28	8.8%
ハンドル操作不適		0.0%		0.0%
その他の違反	1	25.0%	56	17.5%
違反なし	1	25.0%	153	47.8%
合計	4	100.0%	320	100.0%

内数	夜間事故	死者	割合	傷者	割合
	うち無灯火	1	25.0%	76	23.8%
			0.0%	10	13.2%

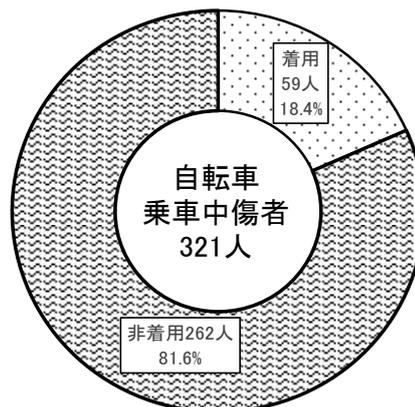
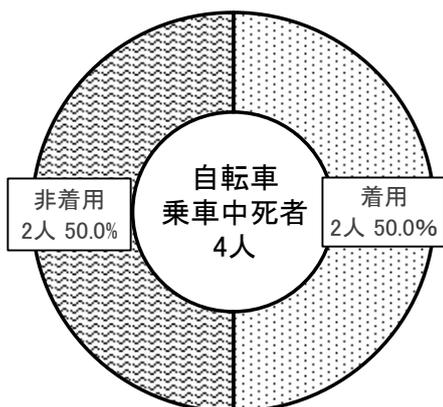
※同乗者は含まない



()内は死者数で内数

(10) ヘルメット着用状況

自転車乗車中死者は4人であり、ヘルメット非着用は2人であった。また、自転車乗車中の傷者は321人で、そのうち非着用者が262人(81.6%)であった。



4 子供の事故

(1) 概況

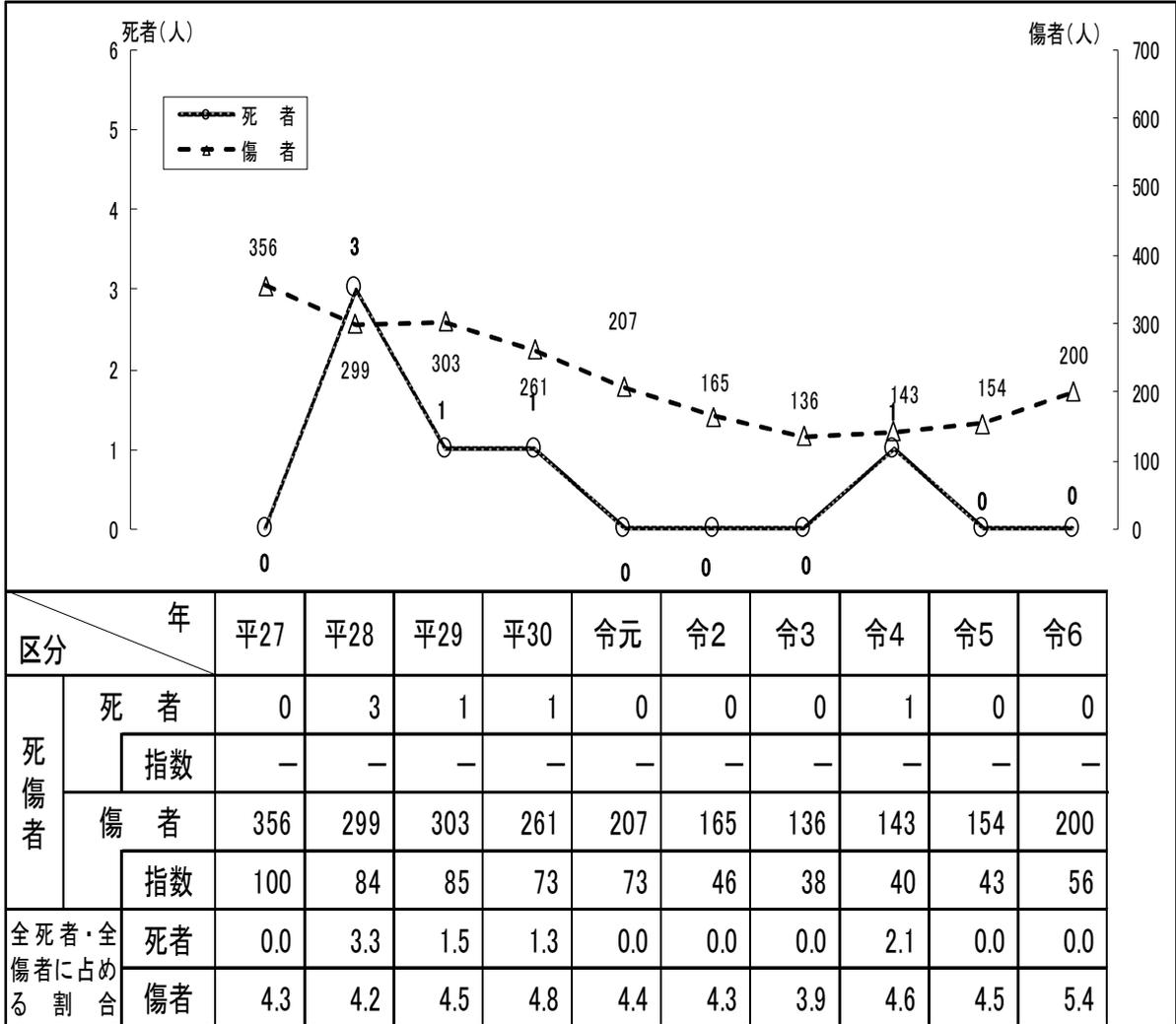
交通事故により死傷した子供は、

死者数 0人(前年比 ±0人)

傷者数 200人(前年比 +46人 29.9%)

で、前年より傷者数は増加し、死者の発生はなかった。

(単位：人・%)



(2) 月別

傷者数は8月の35人が最も多く、次いで12月が24人となっている。

(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷者		7	20	11	10	18	10	10	35	20	13	22	24	200
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	傷者		2.7	6.7	4.3	3.7	6.9	3.4	4.3	14.1	7.2	4.0	7.0	6.4	5.9

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の115人（57.5%）が最も多く、次いで歩行者の51人（25.5%）、自転車運転中の33人（16.5%）の順となっている。（単位：人・%）

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		同乗中		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者												0
	構成率(%)											0.0
傷 者		115						33	1	51		200
	構成率(%)	57.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.5	0.5	25.5	0.0	100.0

(4) 状態別・学齢別

（単位：人）

傷者は、幼稚園児の29人が最も多く、次いで中学1年生の25人、小学4年生の22人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学1年生の12人が最も多く、次いで小学2年生と小学3年生の8人となっている。

自転車の傷者は、中学1年生の11人が最も多く、次いで中学2年生の8人の順となっている。

学 齢	状 態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 園 児				1		13	0	14
	幼 稚 園 児		3				26	0	29
	計	0	3	0	1	0	39	0	43
小 学 生	1 年 生		12		1		7	0	20
	2 年 生		8		1		6	0	15
	3 年 生		8				9	0	17
	4 年 生		4		3		15	0	22
	5 年 生		7		2		8	0	17
	6 年 生		1		1		5	0	7
	計	0	40	0	8	0	50	0	98
中 学 生	1 年 生		4		11		10	0	25
	2 年 生		1		8		9	0	18
	3 年 生		3		6		7	0	16
	計	0	8	0	25	0	26	0	59
	合 計	0	51	0	34	0	115	0	200

(5) 時間別・昼夜別

（単位：人・%）

傷者は昼間が155人と最も多く、全体の77.5%を占めている。

時間別では、下校時間帯及び放課後となる16～18時の49人が最も多く、次いで14～16時の42人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者						0	
	構成率(%)					0.0	
傷 者		155	18	45	18	200	36
	構成率(%)	77.5	9.0	22.5	9.0	100.0	18.0

* 薄暮時は内数

（単位：人・%）

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
		死 者												
	構成率(%)													0.0
傷 者		0	0	0	26	19	12	22	42	49	22	8	0	200
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	13.0	9.5	6.0	11.0	21.0	24.5	11.0	4.0	0.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児は買物での被害が多く、小学生と中学生は下校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が 16.3%、小学生は 29.5%、中学生は 38.9%となっている。

(単位：人・%)

学齢		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
			構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
通学等	登 校	7	16.3	12	12.2	11	18.6	30	15.0
	学 業 中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下 校		0.0	17	17.3	12	20.3	29	14.5
私 用	観 光・ 娛 楽	2	4.7		0.0	4	6.8	6	3.0
	ド ラ イ ブ	2	4.7	1	1.0	1	1.7	4	2.0
	散 歩		0.0	4	4.1	5	8.5	9	4.5
	飲 食	4	9.3	7	7.1	2	3.4	13	6.5
	買 物	13	30.2	12	12.2	7	11.9	32	16.0
	訪 問	1	2.3	2	2.0		0.0	3	1.5
	帰 省	2	4.7	3	3.1		0.0	5	2.5
	遊 戯(路 上)	2	4.7	7	7.1		0.0	9	4.5
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	10	23.3	33	33.7	17	28.8	60	30.0
調 査 不 能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		43	100.0	98	100.0	59	100.0	200	100.0

※通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち57.5%が交差点で事故に遭っている。

学齢と道路形状で見ると、小学生の交差点における事故が57人と最も多い。

特に、小学生歩行者の交差点における事故が29人と多くなっている。

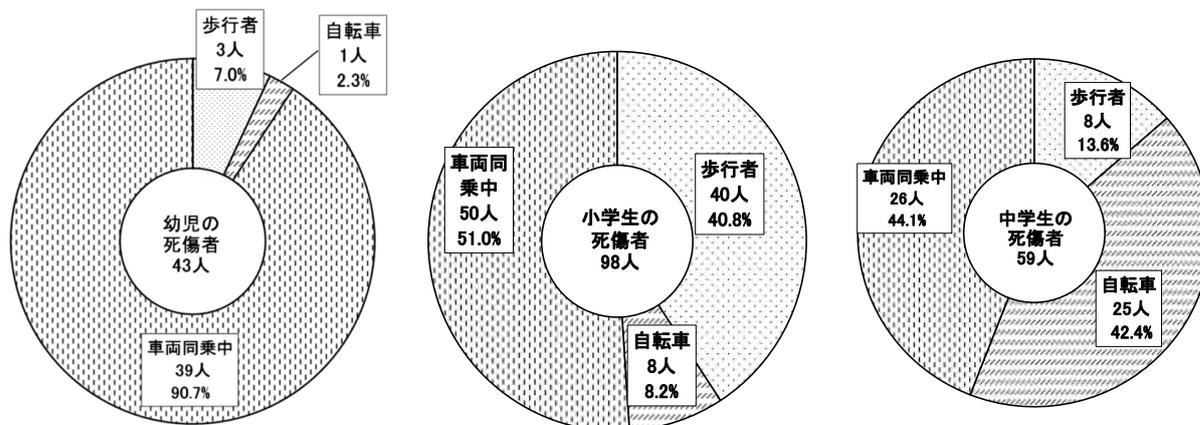
形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点		35	21	59	115
	構成率(%)	30.4	18.3	51.3	
単 路		13	13	45	71
	構成率(%)	18.3	18.3	63.4	
駐 車 場 等		3		11	14
	構成率(%)	21.4	0.0	78.6	
合 計		51	34	115	200
	構成率(%)	25.5	17.0	57.5	

(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	1		18	19		1	18	19	2		3	5
小 学 生	29	4	24	57	10	4	19	33	1		7	8
中 学 生	5	17	17	39	3	8	8	19			1	1
合 計	35	21	59	115	13	13	45	71	3	0	11	14

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く90.7%を占め、小学生についても51.0%と比率が高くなっている。



ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から1km以内での事故が66.6%を占め、自転車乗車中については自宅から1km以内での事故が66.8%を占めている。

(単位：人・%)

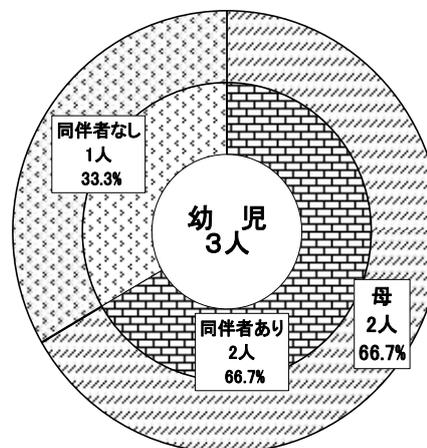
区分 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計		合計	
	構成率 (%)																	
50 m 以下	1	33.3	8	20.0		0.0	9	17.6	-		0.0	2	8.0	2	6.1	11	13.1	
100 m 以下	1	33.3	1	2.5		0.0	2	3.9	-		2	25.0	1	4.0	3	9.1	5	6.0
500 m 以下	1	33.3	7	17.5	2	25.0	10	19.6	-		0.0	5	20.0	5	15.2	15	17.9	
1 km 以下		0.0	11	27.5	2	25.0	13	25.5	-		6	75.0	6	24.0	12	36.4	25	29.8
2 km 以下		0.0	5	12.5	4	50.0	9	17.6	-		0.0	4	16.0	4	12.1	13	15.5	
2 km 超過		0.0	8	20.0		0.0	8	15.7	-		0.0	7	28.0	7	21.2	15	17.9	
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	-		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	3	100.0	40	100.0	8	100.0	51	100.0	0	-	8	100.0	25	100.0	33	100.0	84	100.0

※自転車同乗者1人除く

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者3人のうち、「同伴者あり」は2人で、「同伴者なし」は1人となっている。

同伴者は母親となっている。



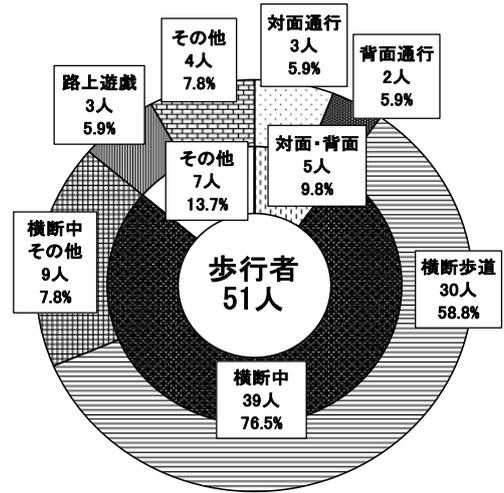
※自転車同乗者1人除く

(8) 事故類型

ア 歩行者

事故類型別では横断中が39人と多く、歩行者被害の76.5%を占め、中でも横断歩道での傷者が30人と多い。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機のない横断歩道以外の場所で小学生の傷者が多くなっている。



(単位：人)

横断場所 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児				
小学生	11	12	1	8
中学生	2	5		

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が21人で、自転車乗用中傷者の61.8%を占め最も多い。

また、道路形状別では、交差点での傷者が21人と多く、自転車乗用中傷者の61.8%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状等 事故類型	交差点		計	その他	合計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人対車両			0		0	0.0						
車対車	正面衝突		0	1	1	2.9						1
	追突		0		0	0.0						
	出会い頭	14		14	7	21	61.8		1	3	2	11
	追越・追抜			0		0	0.0					
	転回・後退時			0	1	1	2.9				1	
	進路変更・すれ違い時			0		0	0.0					
	右折時	3		3		3	8.8			1		2
	左折時	4		4	4	8	23.5				1	4
その他			0		0	0.0						
計	21	0	21	13	34	100.0	0	1	4	4	17	
車両単独			0		0	0.0						
列車			0		0	0.0						
合計	21	0	21	13	34	100.0	0	1	4	4	17	

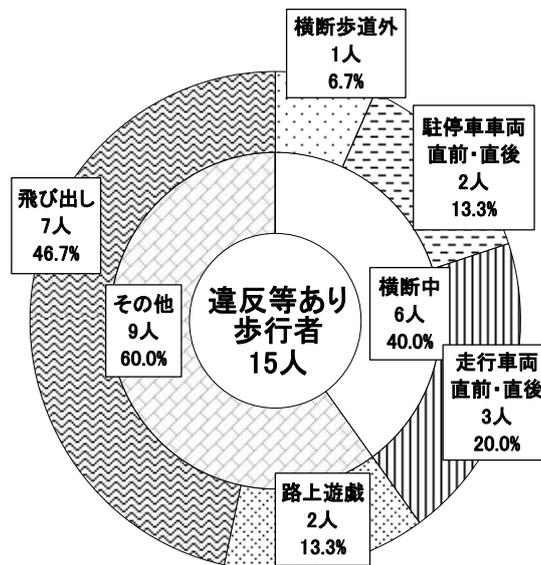
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者51人のうち、何らかの違反が認められた者は15人で、子供の歩行者被害の29.4%を占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが7人と最も多く、違反のあった子供の歩行者被害の46.7%を占めている。

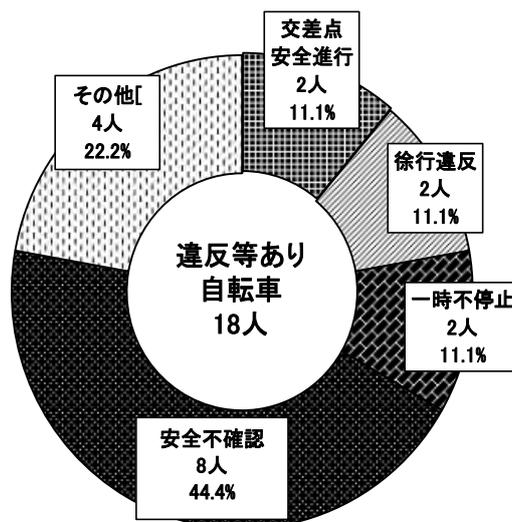
歩 行 者	幼 児	1人 33.3%	2人 66.7%	■違反あり □違反なし
	小 学 生	13人 32.5%	27人 67.5%	
	中 学 生	1人 17.5%	7人 87.5%	
	子 ども 以 外	70人 16.7%	348人 83.3%	



イ 自転車

自転車の傷者34人のうち、何らかの違反が認められたのは18人で自転車傷者数の52.9%を占めている。違反の内容をみると安全不確認8人（44.4%）で最も多くなっている。

自 転 車	幼 児	0人 0.0%	0人 0.0%	■違反あり □違反なし
	小 学 生	4人 50.0%	4人 50.0%	
	中 学 生	14人 56.0%	11人 44.0%	
	子 ども 以 外	152人 52.1%	140人 47.9%	



※自転車同乗者1名除く

5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概 況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 7件 (前年比 +3件 75.0%増)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

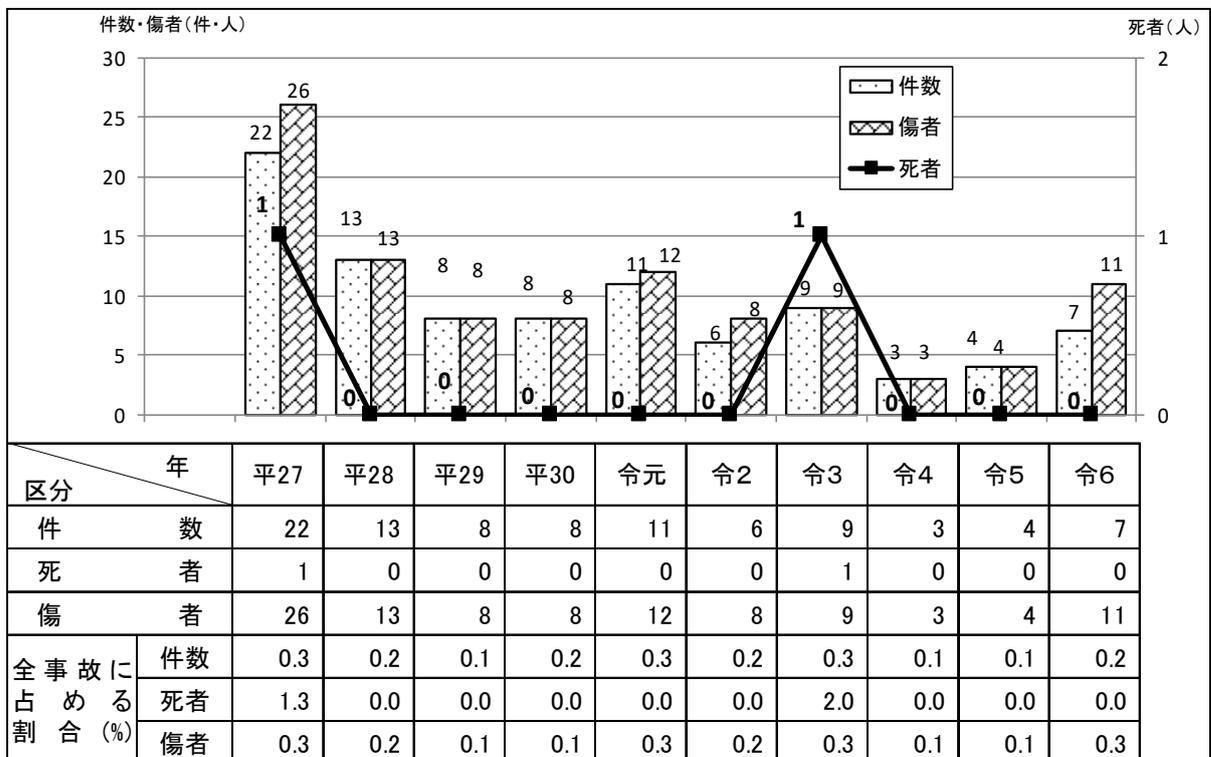
傷者数 11人 (前年比 +7人 175.0%増)

で、前年より発生件数、傷者数は増加したが死者はいなかった。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成27年の22件で、令和4年の3件は最多だった平成27年と比べると86.4%減少している。

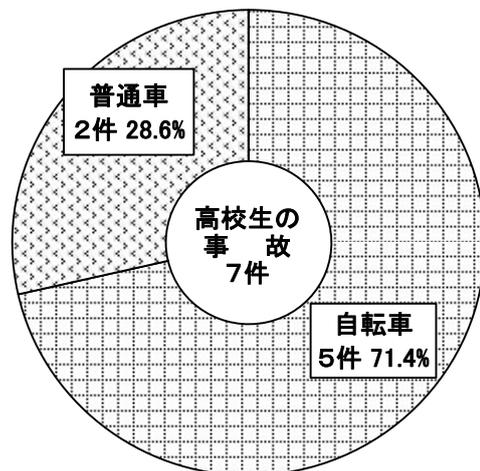
死者は、平成27年、令和3年が1人となっている。

(単位：件・人・%)



イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が5件で71.4%を占めている。



ウ 違反別

安全運転義務違反による事故は4件で高校生の事故の57.1%を占め、うち前方不注意が3件と高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	1	14.3	205	6.6	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	15	0.5
	最高速度		0.0		0.0		ハンドル・ブレーキ		0.0	179	5.8
	通区・追越		0.0	46	1.5		前方不注意	3	42.9	707	22.9
	歩行者妨害等		0.0	186	6.0		動静不注意		0.0	426	13.8
	一時不停止	1	14.3	236	7.6		安全不確認		0.0	691	22.4
	酒酔い運転		0.0	3	0.1		安全速度	1	14.3	22	0.7
	計	2	28.6	676	21.9		その他		0.0	32	1.0
横断禁止等		0.0	7	0.2	計	4	57.1	2,057	66.7		
右・左折違反		0.0	11	0.4	その他		0.0	44	1.4		
優先通行妨害等		0.0	131	4.2	合計	7	100.0	3,086	100.0		
交差点安全進行	1	14.3	145	4.7	無免許(内数)		0.0	15	0.5		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、安全運転義務違反以外で全事故より高い割合になっている。

違反	悪質違反		安全運転義務違反		その他	
区分	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
高校生による事故	2件	28.6%	4件	57.1%	1件	14.3%
全事故	676件	21.9%	2,057件	66.7%	353件	11.4%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自動車で2件、自転車で5件発生し、うち交差点において5件発生し、全事故の71.4%を占める。

(単位：件)

道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
	付近(内数)				右	左
当事者						
自動車	2			2		
二輪車	小型二輪			0		
	軽二輪			0		
	原付二種			0		
	原付			0		
計	0	0	0	0	0	0
自転車	3	0	2	5		
歩行者				0		
合計	5	0	2	7	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害に遭った高校生は

死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

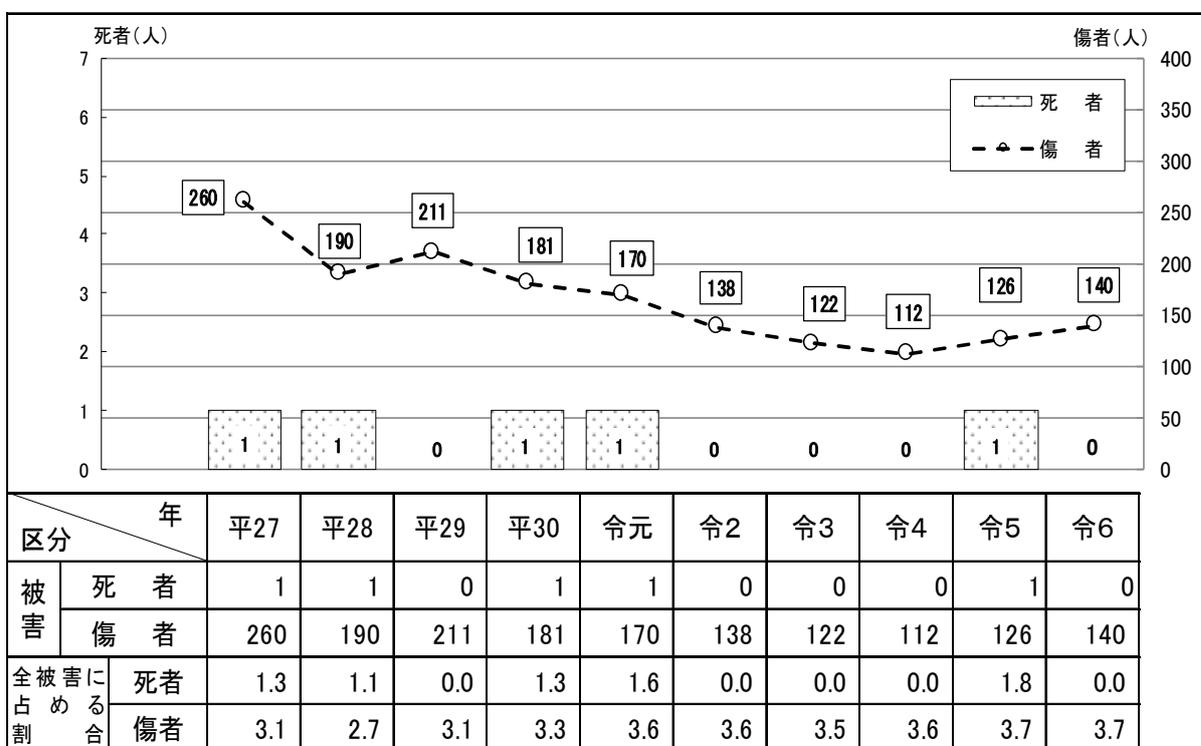
傷者数 140人 (前年比 +14人 11.1%増)

で死者は減少し、傷者数で増加した。

過去10年間の推移をみると、死者については、平成27年、平成28年、平成30年、令和元年、令和5年にそれぞれ1人となっている。

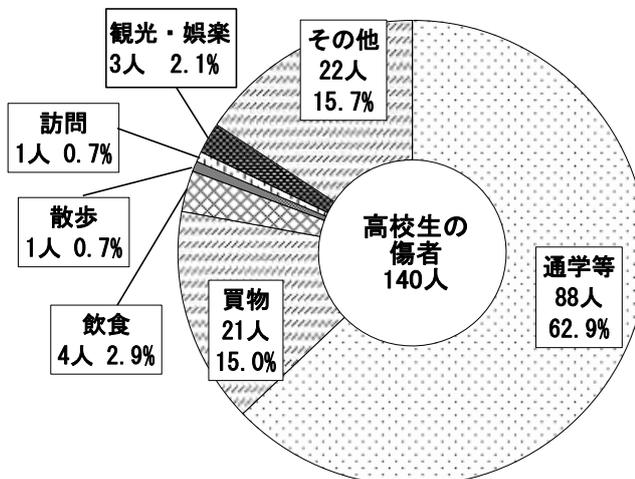
傷者が最も多いのは平成27年の260人で、最も少ないのは令和4年の112人となっており、傷者数を比較すると令和4年は平成27年から約56.9パーセント減少している。

(単位：人・%)



イ 通行目的

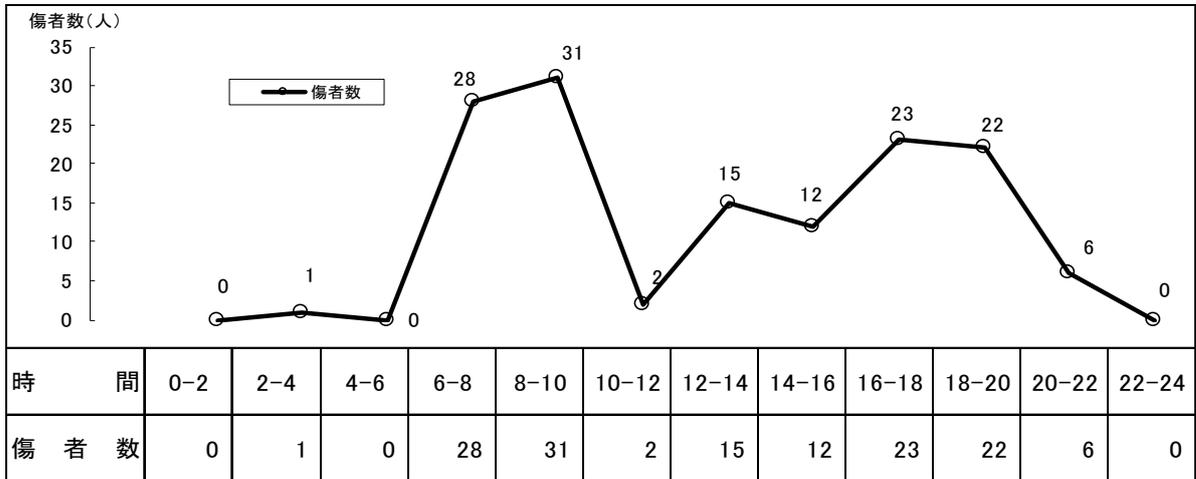
通学等の傷者は88人で高校生全傷者の62.9%を占め最も多い。



※通行目的が道路外の人等は除く

ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯の6～10時が59人、16～20時が45人と多く、この時間帯の傷者は、高校生死傷者の81.4%を占めている。(単位：人)



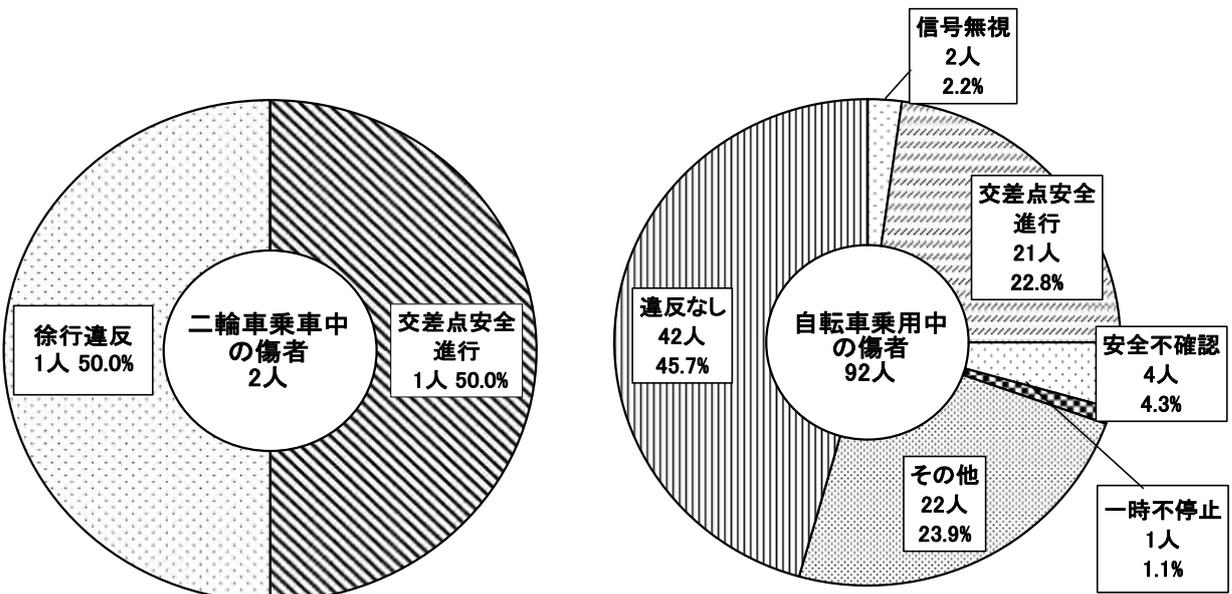
エ 状態別

高校生の傷者は自転車乗用中が92人と最も多く高校生全傷者の65.7%を占め、次いで自動車同乗中の29人(20.7%)、歩行中の16人(11.4%)の順となっている。(単位：人・%)

区分	状態	自 動 車		自動二輪車		原 付 乗 車 中	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
		運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中					
死 者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷 者		0	29	2	0	1	92	16	0	140
	構成率(%)	0.0	20.7	1.4	0.0	0.7	65.7	11.4	0.0	100.0

自転車の違反状況をみると、54.3%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、徐行違反1人と交差点安全進行義務違反1人である。

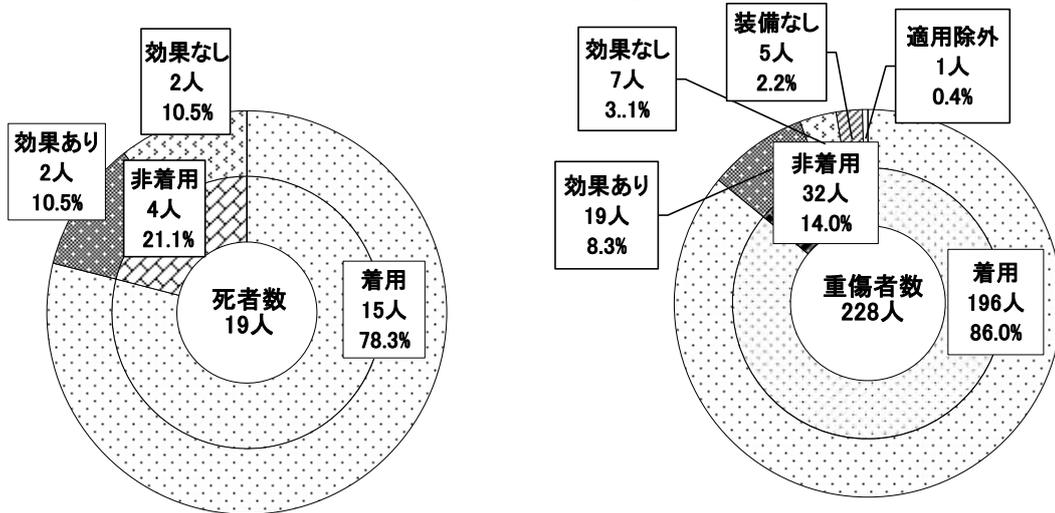


6 自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、軽傷者、重傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者4人中2人(50.0%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

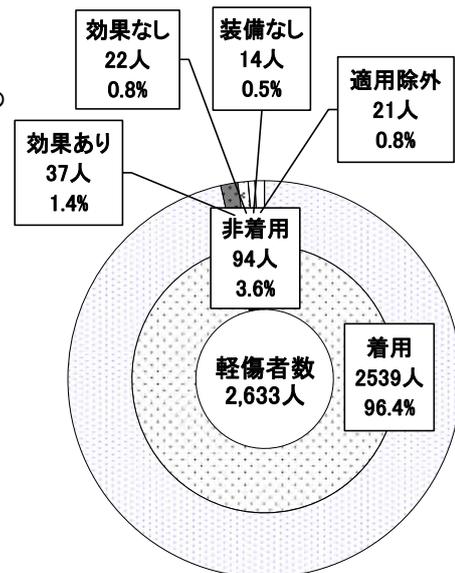


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
 損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
 効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
 怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

死者の着用率は、運転席が76.9%、助手席が83.3%であった。※後部席は死者0人

傷者の着用率は、運転席が98.0%、助手席が96.9%、後部席が73.7%である。



座席	死者	着用	非着用
	13人	10人 76.9%	3人 23.1%
運転席	傷者	2,164人 98.0%	44人 2.0%
	2,208人		
助手席	死者	5人 83.3%	1人 16.7%
	6人		
助手席	傷者	375人 96.9%	12人 3.1%
	387人		
後部席	死者	0人 0.0%	
	0人		
後部席	傷者	196人 73.7%	70人 26.3%
	266人		

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、40歳代が66.7%と最も低く、次いで70歳以上が72.7%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が88.9%と最も低く、25～29歳が97.9%と最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	25	24	96.0	58	55	94.8	107	90	84.1	190	169	88.9
20～24歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	150	145	96.7	34	33	97.1	18	12	66.7	202	190	94.1
25～29歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	176	175	99.4	41	41	100.0	19	15	78.9	236	231	97.9
30歳代	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	440	434	98.6	60	60	100.0	19	12	63.2	519	506	97.5
40歳代	死 者	1	1	100.0	2	1	50.0			-	3	2	66.7
	傷 者	509	495	97.2	53	48	90.6	19	14	73.7	581	557	95.9
50歳代	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	423	417	98.6	41	39	95.1	22	13	59.1	486	469	96.5
60～64歳	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	150	146	97.3	15	15	100.0	11	8	72.7	176	169	96.0
65～69歳	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	122	119	97.5	27	27	100.0	12	9	75.0	161	155	96.3
70歳以上	死 者	7	4	57.1	4	4	100.0			-	11	8	72.7
	傷 者	213	209	98.1	58	57	98.3	39	23	59.0	310	289	93.2
合 計	死 者	13	10	76.9	6	5	83.3	0	0	-	19	15	78.9
	傷 者	2,208	2,164	98.0	387	375	96.9	266	196	73.7	2,861	2,735	95.6

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、20～22時が0%、10～12時が33.3%と低くなっている。傷者は18～20時が98.4%と最も高く、0～2時が80.0%と最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	19	17	89.5	6	6	100.0	5	1	20.0	30	24	80.0
2～4	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	17	15	88.2	6	6	100.0	3		0.0	26	21	80.8
4～6	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	34	31	91.2	5	4	80.0	2	1	50.0	41	36	87.8
6～8	死 者			-	1	1	100.0			-	1	1	100.0
	傷 者	261	257	98.5	24	24	100.0	17	12	70.6	302	293	97.0
8～10	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0			-	2	2	100.0
	傷 者	290	287	99.0	27	27	100.0	39	33	84.6	356	347	97.5
10～12	死 者	3	1	33.3			-			-	3	1	33.3
	傷 者	290	285	98.3	52	51	98.1	30	24	80.0	372	360	96.8
12～14	死 者			-	2	2	100.0			-	2	2	100.0
	傷 者	282	275	97.5	57	57	100.0	29	23	79.3	368	355	96.5
14～16	死 者	4	4	100.0	1	1	100.0			-	5	5	100.0
	傷 者	258	252	97.7	60	54	90.0	51	30	58.8	369	336	91.1
16～18	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	375	370	98.7	63	62	98.4	42	33	78.6	480	465	96.9
18～20	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	237	235	99.2	45	44	97.8	24	22	91.7	306	301	98.4
20～22	死 者	1		0.0	1		0.0			-	2	0	0.0
	傷 者	105	102	97.1	25	23	92.0	19	15	78.9	149	140	94.0
22～24	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	40	38	95.0	17	17	100.0	5	2	40.0	62	57	91.9
合 計	死 者	13	10	76.9	6	5	83.3	0	0	-	19	15	78.9
	傷 者	2,208	2,164	98.0	387	375	96.9	266	196	73.7	2,861	2,735	95.6

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 33人（前年比 +12人 57.1%増）

で、死者の0人であったが傷者数は増加した。

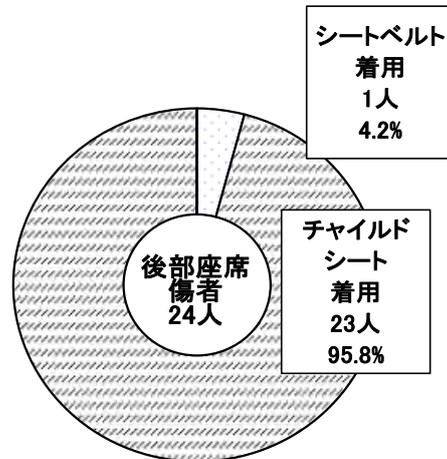
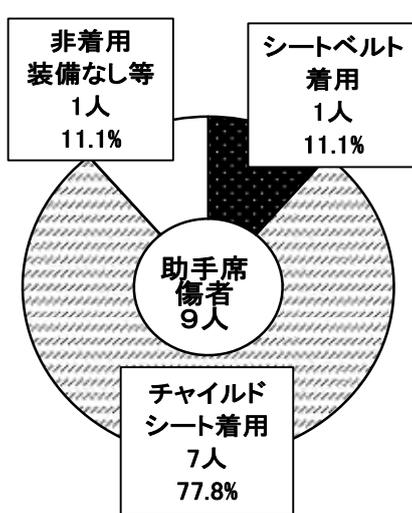
乗車位置別死傷者数は、助手席が9人（うち死者0人）、後部座席が24人（うち死者0人）となっている。

【助手席】 (単位：人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	7		
	計	8	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等		1		1
合計		9	0	1

【後部座席】 (単位：人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	23		1
	計	24	0	1
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等				
合計		24	0	1



効果あり	0人
効果なし	0人
装備なし	1人

効果あり	0人
効果なし	0人
装備なし	0人

死亡	0人
重傷	1人

死亡	0人
重傷	1人

7 青年運転者の事故

(1) 概況

青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 391件（前年比 +32件 8.9%増）

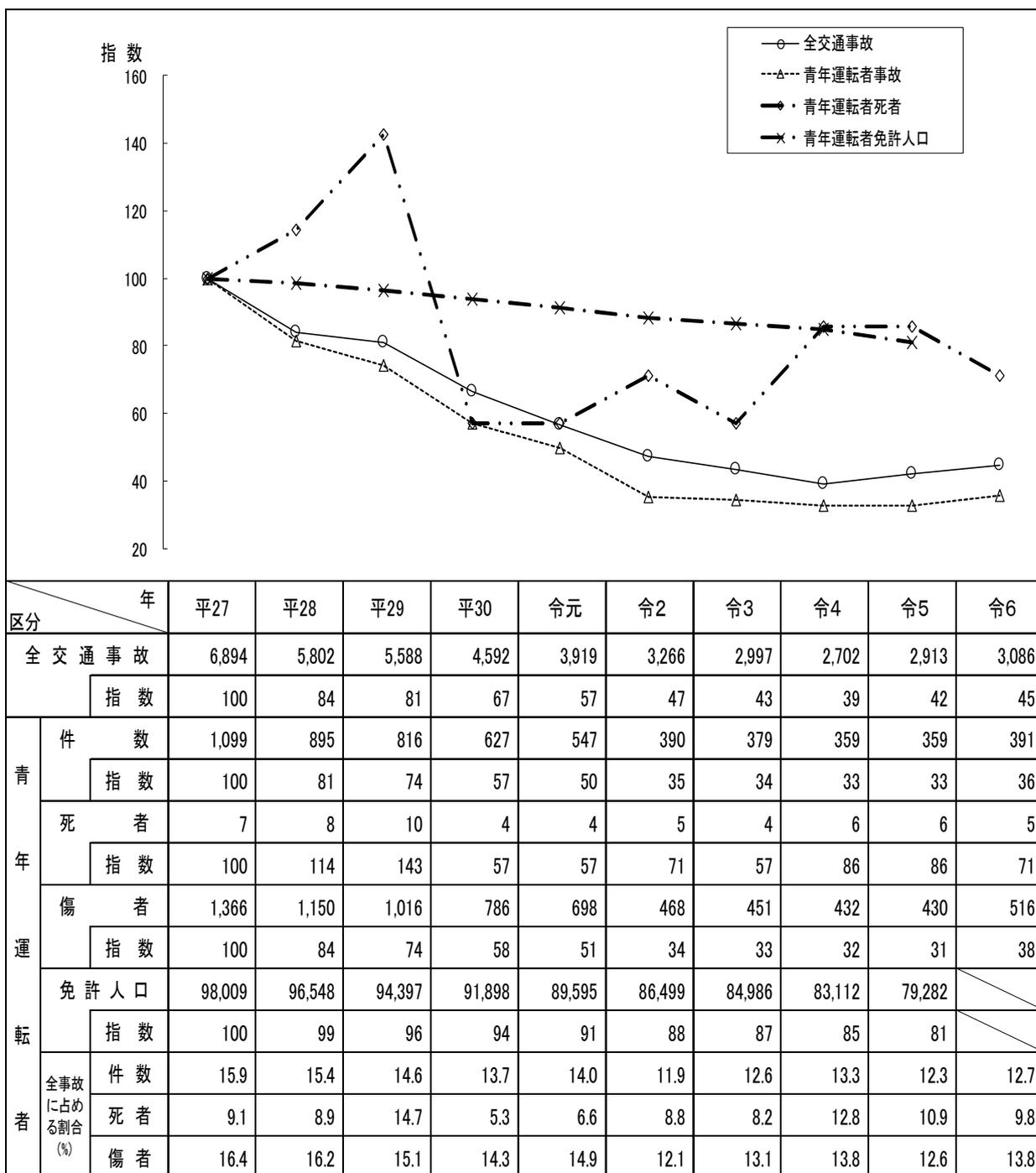
死者数 5人（前年比 +1人 25.0%増）

傷者数 516人（前年比 +86人 20.0%増）

で、前年より発生件数、死者数、傷者数でそれぞれ増加した。

全事故に占める割合は、件数が12.7%、死者数が9.8%、傷者数が13.8%となっている。

（単位：件・人・%）



※青年運転者の免許人口については、令和5年までの表示となります。

(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が192件で最も多く、青年運転者の49.1%を占めている。

違反別では、前方不注意が110件で最も多く28.1%を占めている。

悪質違反による事故は69件で青年運転者の17.6%を占め、うち信号無視が29件と最も多く、次いで一時不停止が27件となっている。

(単位：件)

違反	車種	自動車						二輪車				合計						
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特	殊	小	二		軽	二	原	二	原	付
悪質違反	信号無視		16	9	1	1	1			1								29
	最高速度																	0
	通区・追越		3	2														5
	歩行者妨害等		3	5														8
	一時不停止		13	14														27
	酒酔い運転																	0
小計		0	35	30	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	69	
横断禁止等																		0
右折違反			1															1
左折違反																		0
優先通行妨害等			10	12										1				23
交差点安全進行			9	6			2											17
徐行違反			1	3			1											5
過労運転			3	1					1									5
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作		17	13			1											31
	前方不注意		53	48	2	1	4			1			1					110
	動静不注意		23	36	1	1	4			1								66
	安全不確認		34	13	1	3	2											53
	安全速度		2															2
	その他		2	5														
小計		0	131	115	4	6	10	0	2	0	1	0	0	0	0	0	269	
その他			2															2
合計		0	192	167	5	10	12	0	3	0	2	0	2	0	0	0	391	

(3) 時間別・道路別

時間別では、16～18時が76件と最も多く、次いで18～20時の72件となっている。

道路別では、国道が131件と最も多く、次いで市町村道が128件となっている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国道	4号	4	1		5	2	1	3	6	6	10	
6号					3	2				3	3	1	2	14
13号						1			1	1	2			5
49号				1	2	4	5	1	3	6			3	25
三桁			1		4	6	4	6	2	8	7	5	1	44
計		4	2	1	14	15	10	10	12	24	22	11	6	131
県道		4	1	2	19	10	3	7	18	23	19	7	2	115
市町村道		3	2	4	19	15	10	7	3	24	28	8	5	128
高速道							1			2		1		4
その他					2			1	1	3	3	1	2	13
合計		11	5	7	54	40	24	25	34	76	72	28	15	391

(4) 事故類型別

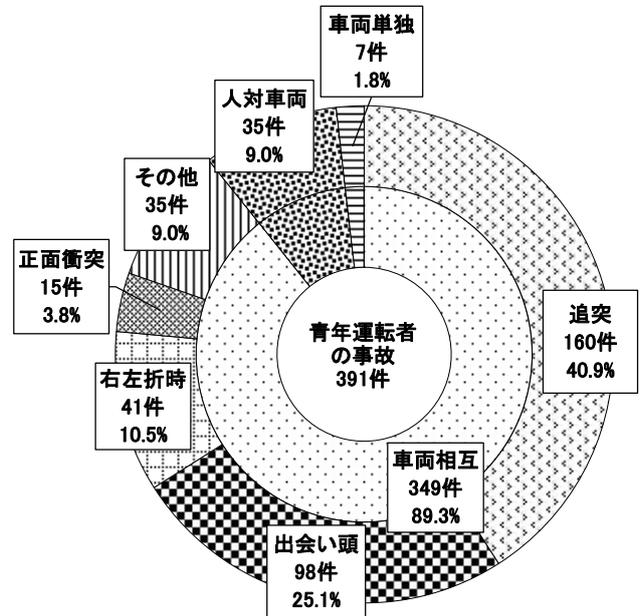
車両相互が349件で青年運転者事故の89.3%を占めている。

特に、

追突：160件（40.9%）

出会い頭：98件（25.1%）

が多く、両事故類型を合わせると258件で車両相互の73.9%を占めている。

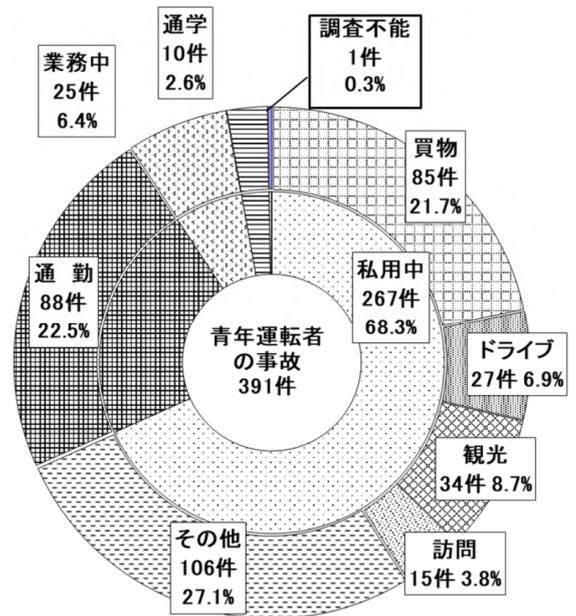


(5) 通行目的別

私用中が267件で青年運転者事故の68.3%を占めている。

特に、買物が85件と多く、私用中事故の31.8%を占め、次いで観光が34件、ドライブが27件となっている。

また通勤時の事故も88件発生し、青年運転者事故の22.5%を占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、時速50キロメートル以下が343件で最も多く、青年運転者事故の87.7%を占めている。

(単位：件)

速度	車種	自動車											二輪車					合計
		大乗	中乗	準中型	普通	軽乗	大乗	貨中	準中型	普通	軽貨	特種	小	二輪	軽二輪	原付		
停止中																		0
50 km/h以下					170	147	1	1	2	9	11						2	343
60 km/h以下					12	13			1		1		1	1				29
70 km/h以下					3	1							1					5
80 km/h以下					3	4				1								8
90 km/h以下																		0
100 km/h以下					2													2
101 km/h以上					2													2
調査不能						2												2
合計		0	0	0	192	167	1	1	3	10	12	0	2	1	0	2		391

(7) 人的原因別

発見の遅れが276件と多く、青年運転者による事故の70.6%を占めている。

このうち前方不注意が166件と最も多くなっており、発見の遅れの60.1%を占めている。

交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)		
合 計	件	数	391	死	者	5
	傷	者	516			
発見の遅れ 計				件	数	276
	傷	者	373	死	者	4
前方不注意 計				件	数	166
	傷	者	229	死	者	4
内在的(漫然等) 計				件	数	76
	傷	者	103	死	者	1
居眠り運転	件	数	8	死	者	0
	傷	者	17			
ラジオ・ステレオを聴いていた	件	数		死	者	
	傷	者				
雑談や携帯電話等で話していた	件	数	3	死	者	0
	傷	者	5			
その他、考え事等の漫然運転	件	数	65	死	者	1
	傷	者	81			
外在的(脇見等) 計				件	数	90
	傷	者	126	死	者	3
物を落とした、物を取ろうとした	件	数	10	死	者	0
	傷	者	10			
同乗者、同乗の動物等に脇見	件	数	3	死	者	0
	傷	者	6			
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件	数	11	死	者	1
	傷	者	19			
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件	数	8	死	者	0
	傷	者	11			
雑誌、地図帳等を見ていた	件	数		死	者	
	傷	者				
道、案内標識等を探して脇見	件	数	8	死	者	0
	傷	者	11			
風景、地物等に脇見	件	数	21	死	者	1
	傷	者	26			
他の車、歩行者に脇見	件	数	12	死	者	0
	傷	者	13			
バックミラーやドアミラーを見ていた	件	数		死	者	
	傷	者				
その他脇見	件	数	17	死	者	1
	傷	者	30			
安全不確認 計				件	数	110
	傷	者	144	死	者	0
安全確認をしなかった	件	数	50	死	者	0
	傷	者	71			
安全確認が不十分だった	件	数	60	死	者	0
	傷	者	73			

交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)		
判断の誤り等 計				件	数	82
	傷	者	102	死	者	0
動静不注意 計				件	数	73
	傷	者	91	死	者	0
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件	数	1	死	者	0
	傷	者	1			
他の危険を避けようとして注視を怠った	件	数	2	死	者	0
	傷	者	2			
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件	数	70	死	者	0
	傷	者	88			
予測不適 計				件	数	3
	傷	者	3	死	者	0
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件	数	3	死	者	0
	傷	者	3			
相手がルールを守ると思った	件	数		死	者	
	傷	者				
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件	数		死	者	
	傷	者				
他の事故(危険)を避けようと思った	件	数		死	者	
	傷	者				
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件	数		死	者	
	傷	者				
交通環境 計				件	数	6
	傷	者	8	死	者	0
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件	数	2	死	者	0
	傷	者	3			
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件	数	1	死	者	0
	傷	者	1			
交通規制に対する認識を誤った	件	数	2	死	者	0
	傷	者	3			
交通安全施設に対する認識を誤った	件	数	1	死	者	0
	傷	者	1			
障害物等に対する認識を誤った	件	数		死	者	
	傷	者				
その他の交通環境に対する認識を誤った	件	数		死	者	
	傷	者				
操作上の誤り(操作不適) 計				件	数	33
	傷	者	41	死	者	1
ブレーキとアクセルの踏み違い	件	数	2	死	者	0
	傷	者	3			
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件	数	10	死	者	0
	傷	者	13			
急ブレーキをかけた	件	数	1	死	者	0
	傷	者	1			
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件	数	2	死	者	0
	傷	者	3			
ハンドルの操作不適	件	数	10	死	者	1
	傷	者	13			
ギヤの入れ違い	件	数		死	者	
	傷	者				
ブレーキをかけながらハンドル操作	件	数	1	死	者	0
	傷	者	1			
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件	数		死	者	
	傷	者				
その他の操作不適	件	数	7	死	者	0
	傷	者	7			
調査不能				件	数	0
	傷	者	0	死	者	0

8 高齢者の事故（65歳以上）

(1) 高齢運転者による事故

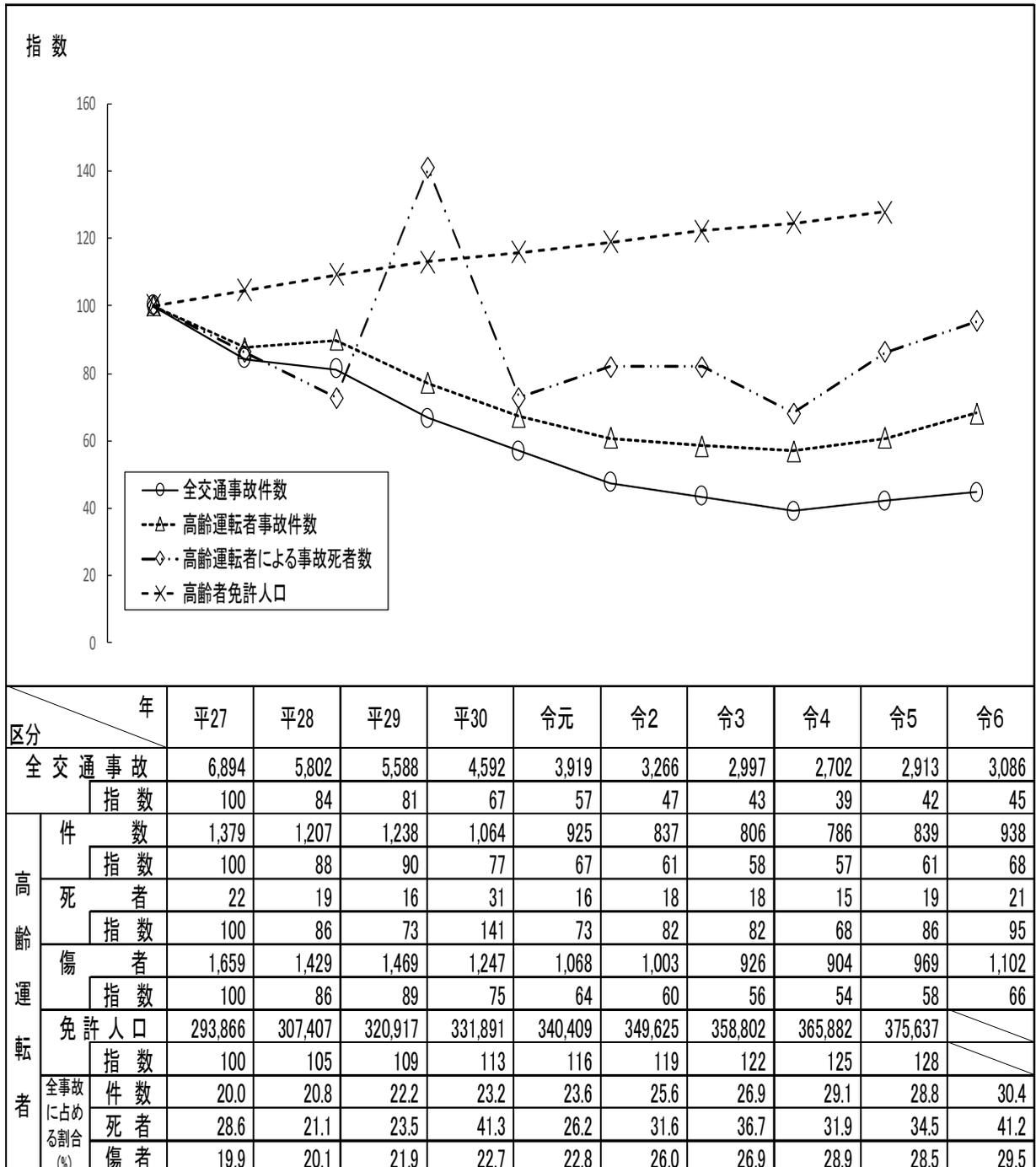
ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	938件	（前年比	+99件	11.8%増）
死者数	21人	（前年比	+2人	10.5%増）
傷者数	1,102人	（前年比	+133人	13.7%増）

で、前年より発生件数、死者数、傷者数ともに増加した。

（単位：件・人・%）



※高齢運転者の免許人口については、令和5年までの表示となります。

イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が192件と最も多く、次いで14～16時の158件、12～14時の145件の順となっている。

8時～18時までの発生が772件と高齢運転者事故の82.3%を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、610件と高齢運転者事故の65.0%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国	4号	1	1	1	3	6	9	8	10	9	2			50	40	10
	6号			1	2	5	8	7	2	4	1	2		32	27	5
	13号						2	2	1	1	1			7	6	1
	49号				4	3	6	7	3	7	4	1		35	26	9
道	三桁		1	2	7	13	26	17	23	15	9	2		115	96	19
	計	1	2	4	16	27	51	41	39	36	17	5	0	239	195	44
県道			1	6	22	31	53	36	34	38	17	3	1	242	200	42
市町村道			2	5	23	63	68	52	65	55	28	7		368	315	53
高速道					1	1	1							3	3	
その他					1	15	19	16	20	11	2	1	1	86	80	6
合計		1	5	15	63	137	192	145	158	140	64	16	2	938	793	145

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が404件で、高齢運転者事故の43.1%を占め、次いで軽乗用車の344件、軽貨物車の141件と続いている。

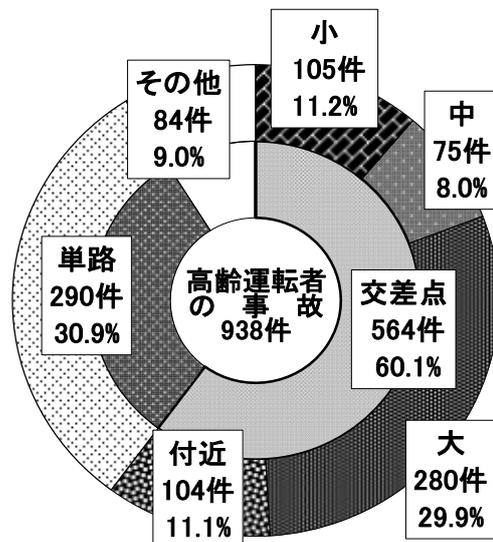
(単位：件)

年齢	車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳		2	128	92	18	7	27		1		1	276
70歳代			194	174	7	4	67	1		2	1	450
80歳以上			82	78	1	2	47			1	1	212

エ 道路形状別

交差点での事故は564件で、高齢運転者事故の60.1%を占めている。

特に交差点（大）での発生が多く、交差点事故全体の49.6%を占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が257件と最も多く、高齢運転者事故の27.4%を占め、次いで前方不注意が179件となっている。

悪質違反は241件で、一時不停止が86件と最も多く、次いで歩行者妨害等の70件、信号無視の69件の順に多い。

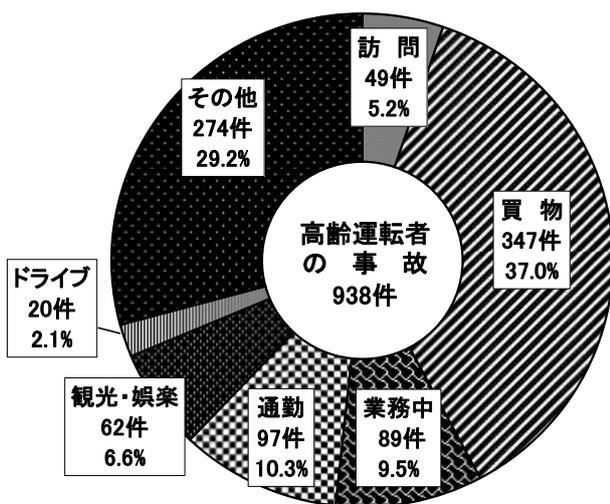
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は25.7%となっており、全年齢運転者の交通事故に占める悪質違反の割合21.9%と比較すると3.8ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折 違 反	左 折 違 反	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 計	そ の 他	合 計		
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ 操 作	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	安 全 速 度				そ の 他	
件 数	69		16	70	86		241	1	4		39	44	3	58	179	87	257	1	15	597	9	938
構成率(%)	7.4	0.0	1.7	7.5	9.2	0.0	25.7	0.1	0.4	0.0	4.2	4.7	0.3	6.2	19.1	9.3	27.4	0.1	1.6	63.6	1.0	100.0

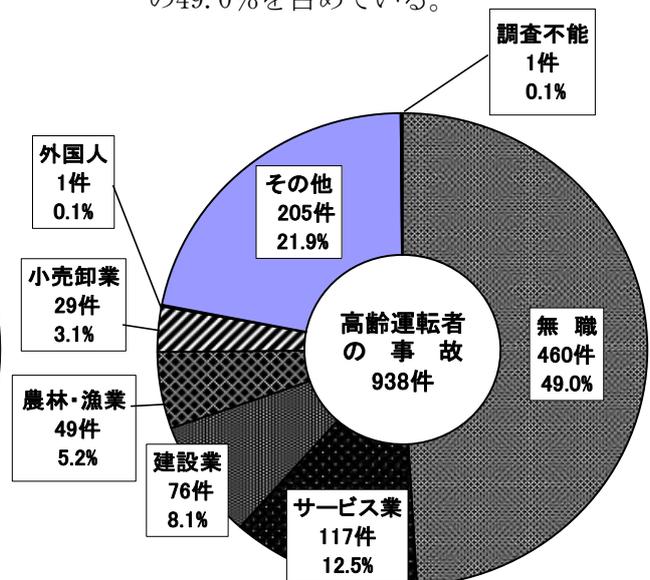
カ 通行目的別

買物が347件と多く、高齢運転者事故の37.0%を占めている。



キ 職業別

無職が460件と最も多く、高齢運転者の49.0%を占めている。



(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

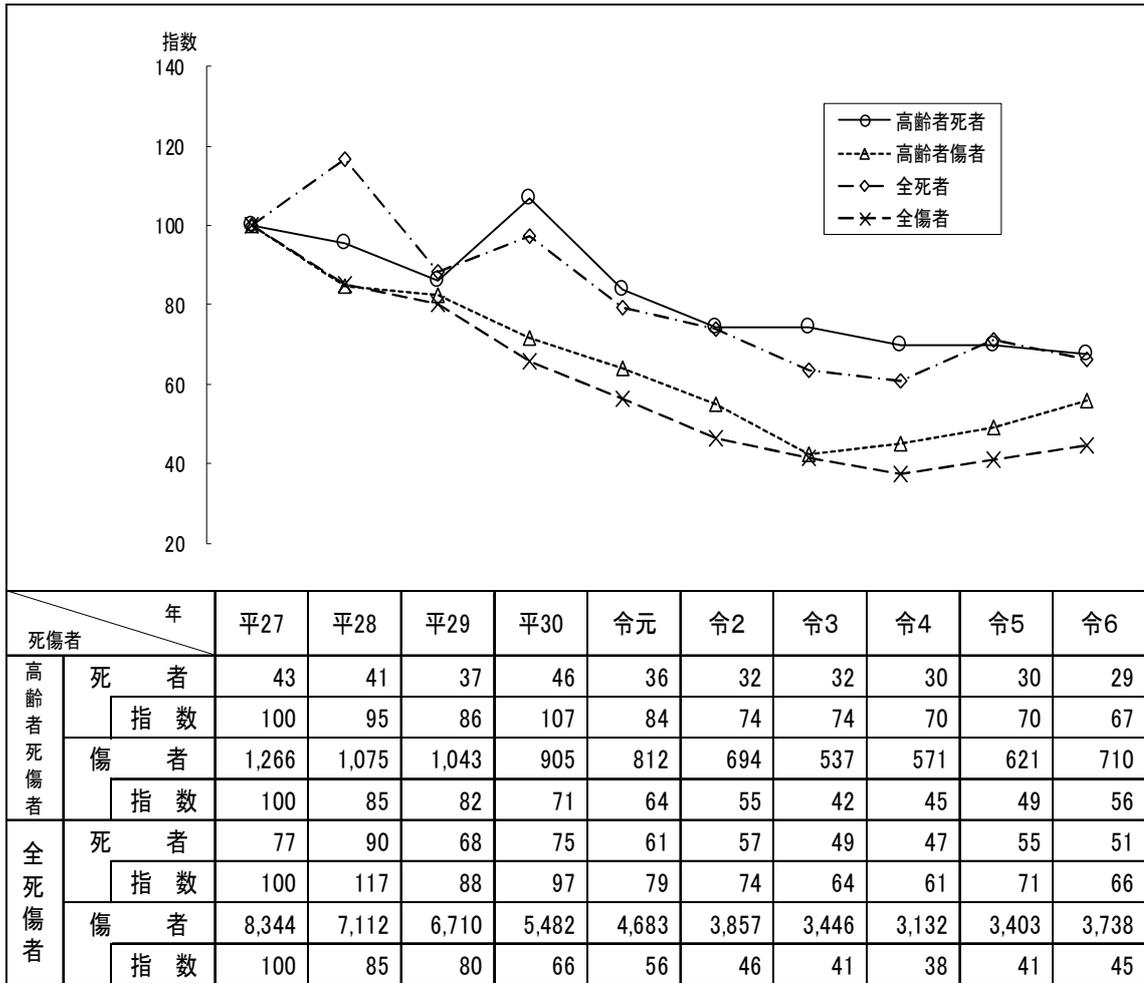
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 29人（前年比 -1人 3.3%減）

傷者数 710人（前年比 +89人 14.3%増）

で、傷者数は増加し、死者数は減少した。

（単位：人）



イ 道路別

市町村道での死傷者が多く、死者は7人で高齢者死者の24.1%、傷者は277人で高齢者傷者の39.0%を占めている。

（単位：人・%）

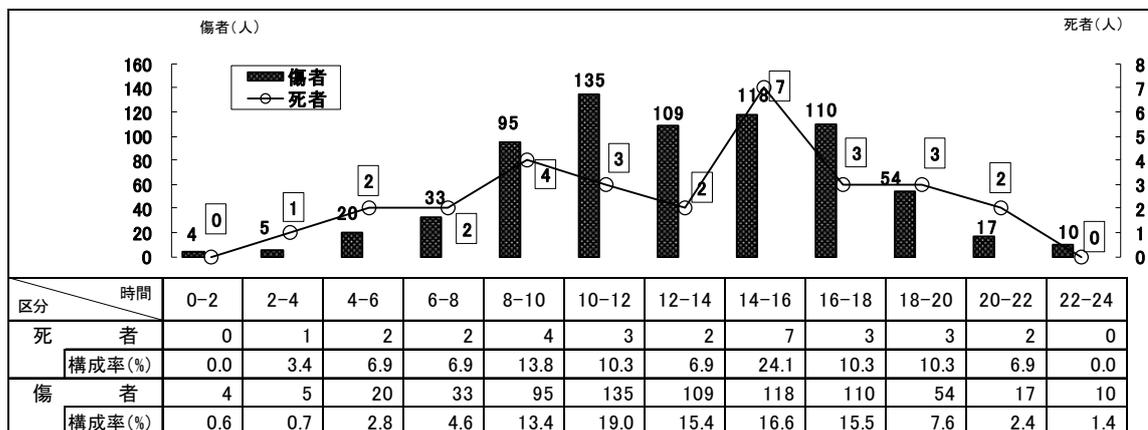
区分	道路	国 道					計	県 道	市町村道	高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁						
死 者			1		1	10	12	9	7		1	29
	構成率(%)	0.0	3.4	0.0	3.4	34.5	41.4	31.0	24.1	0.0	3.4	100.0
傷 者		44	13	5	21	102	185	195	277	8	45	710
	構成率(%)	6.2	1.8	0.7	3.0	14.4	26.1	27.5	39.0	1.1	6.3	100.0

ウ 時間別

死者は14～16時の7人が最も多く、高齢者死者の24.1%を占め、次いで8～10時の4人の順となっている。

傷者は10～12時の135人が最も多く、高齢者傷者の19.0%を占め、次いで14～16時の118人、16～18時の110人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の11人が最も多く、高齢死者の37.9%を占め、次いで四輪運転の8人の順となっている。

傷者は四輪運転者の335人が最も多く、次いで歩行者の167人の順となっている。

(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者			32	5	69	6	66	11	167
自転車			7	1	27	3	22	4	56
原付		1	2		2		4	1	8
自二		1	4		4			1	8
四輪運転		1	122	2	167	5	46	8	335
四輪同乗			39	1	64	3	33	4	136
その他								0	0
合計		3	206	9	333	17	171	29	710

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは6人で高齢歩行者死者の54.5%を占め、横断歩道外横断が5人と多い。傷者のうち何らかの違反があったのは27人で16.3%を占め、横断歩道外横断が17人と多くなっている。

(単位：人)

違反	違反あり								違反なし	合計	
	信号無視	通行区分	横断				酩酊・徘徊	その他			
			横歩道外	斜め横断	駐車車両	走直前直後					横止断場禁所
死者			5						1	5	11
傷者	1	2	17		2			2	3	139	166

(イ) 自転車

死者のうち、何らかの違反があったのは3人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは27人で48.2%を占め、うち交差点安全進行が10人と多い。

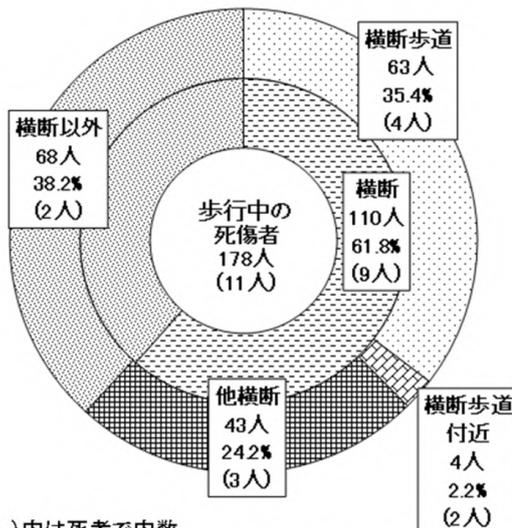
(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安全進点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者	1					1			1	1	4
傷者					10	3		8	6	29	56

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

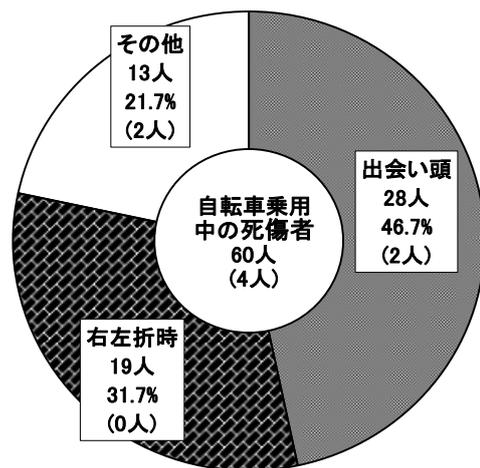
横断が110人と多く、歩行中死傷者の61.5%を占めている。



*1 ()内は死者で内数
*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

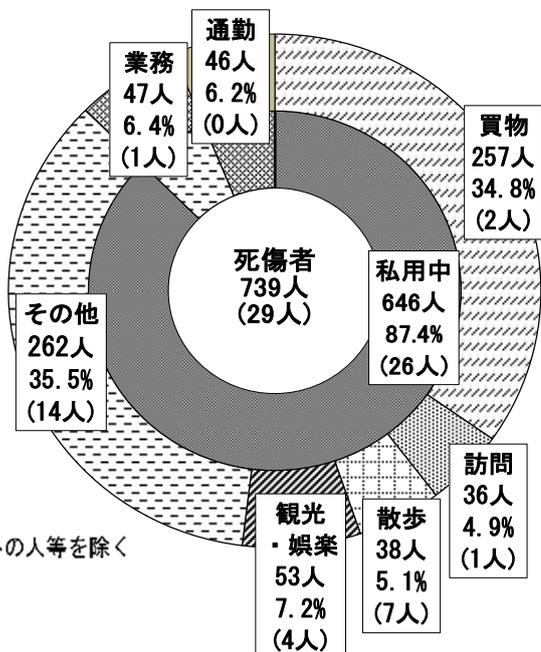
(イ) 自転車

出会い頭事故が28人と多く、自転車事故死傷者の46.7%を占めている。



キ 通行目的別

買物が257人と最も多く、高齢者の死傷者全体の34.8%を占め、次いで観光・娯楽と続いている。



*1 ()内は死者で内数
*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9 初心運転者の事故

(1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 109件（前年比 +9件 9.0%増）

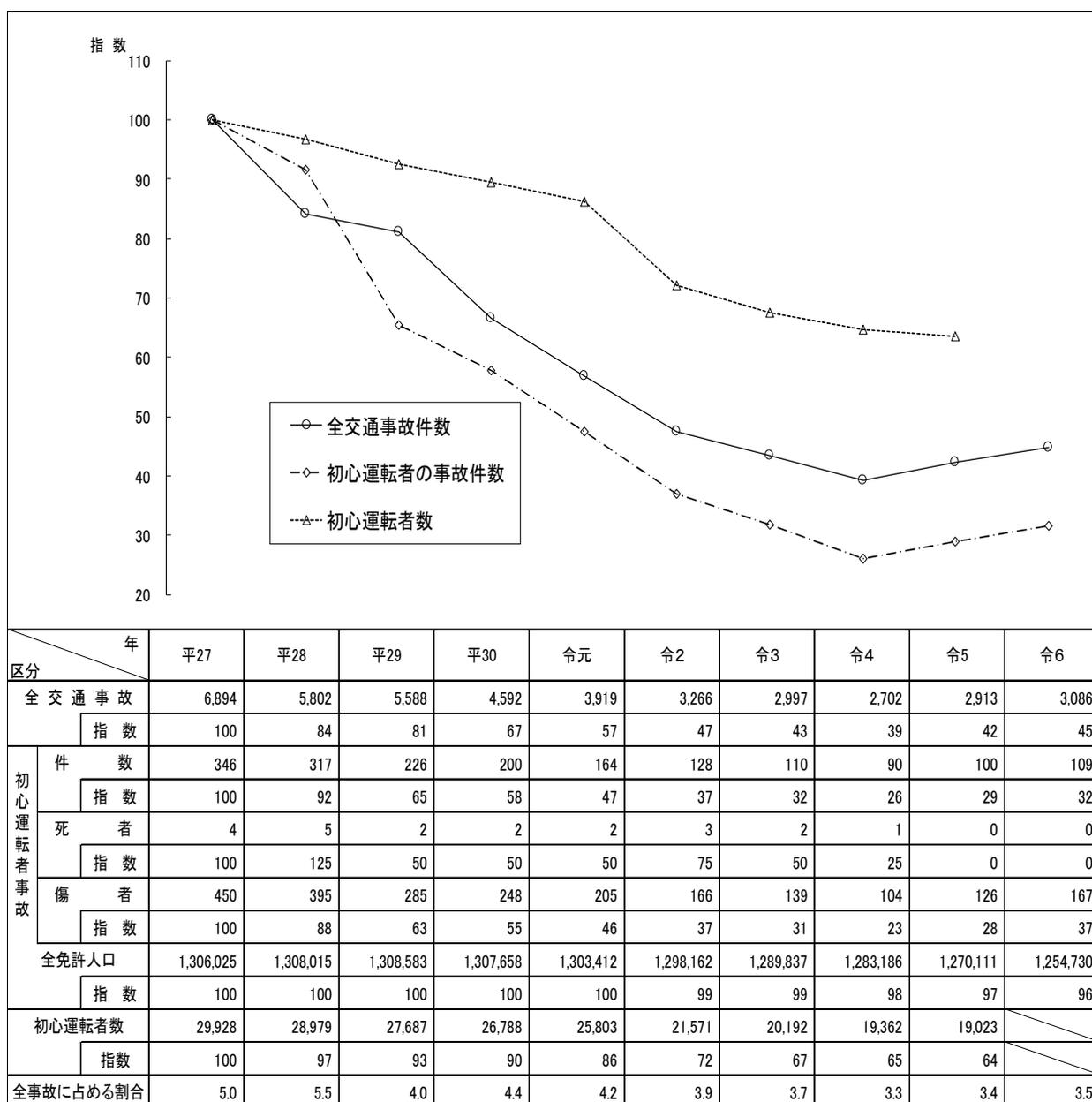
死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 167人（前年比 +41人 32.5%増）

で、前年より発生件数、傷者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合もおおよそ減少傾向にある。

（単位：件・人・％）

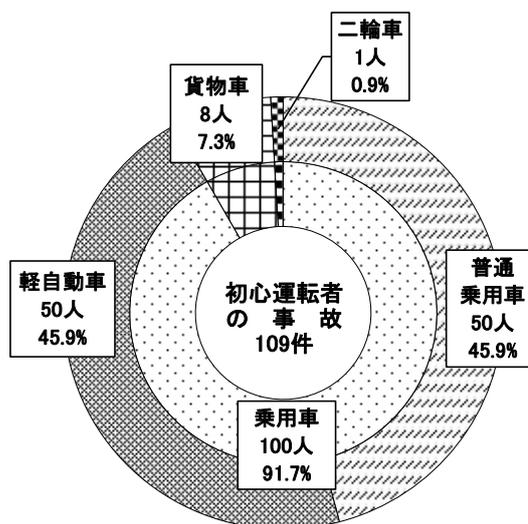


※初心運転者数については、令和5年までの表示となります

(2) 車種別

乗用車が100件で初心運転者事故の91.7%を占める。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪車による事故8件のうち1件は初心運転者の事故で、その割合は12.5%であった。



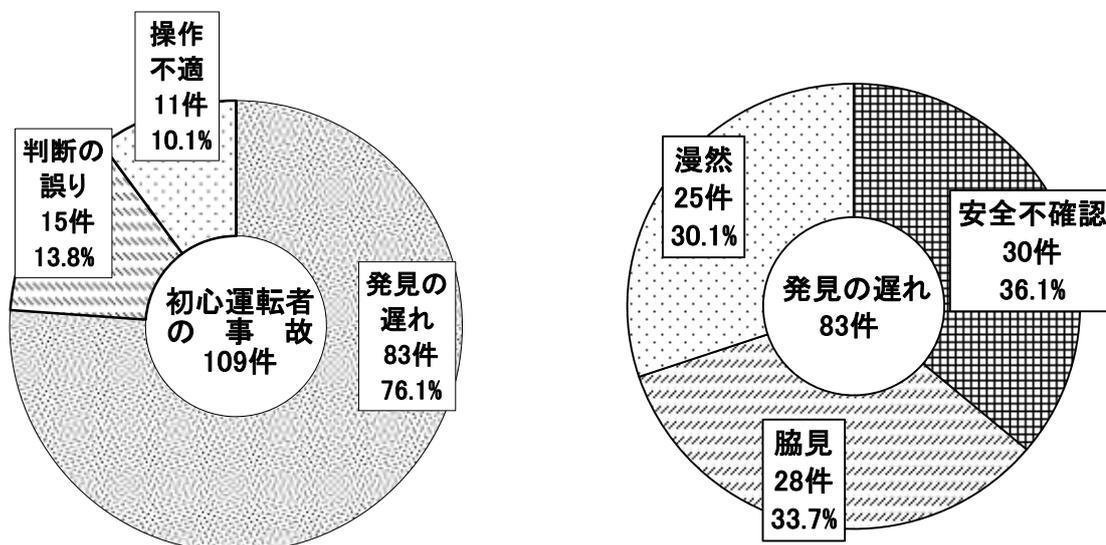
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型・準中乗用車	0	0.0
普通乗用車	50	3.3
軽乗用車	50	4.9
普通貨物車	3	3.1
軽貨物車	3	1.2
大型・中型・準中貨物車	2	1.6
特殊車	0	0.0
小型二輪車	1	12.5
軽二輪車	0	0.0
二種原付	0	0.0
原付	0	0.0

(3) 人的原因

発見の遅れが83件で最も多く、初心運転者事故の76.1%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が30件と最多で、脇見が28件、漫然が25件となっている。



(4) 違反別

前方不注意が34件で初心運転者事故の31.2%を占め最も多く、次いで多いのが安全不確認の16件となっている。

悪質違反は21件で同事故の19.3%を占め、うち信号無視が9件で最も多く、次いで一時不停止が8件となっている。両違反を合わせると17件で悪質違反の81.0%を占めている。

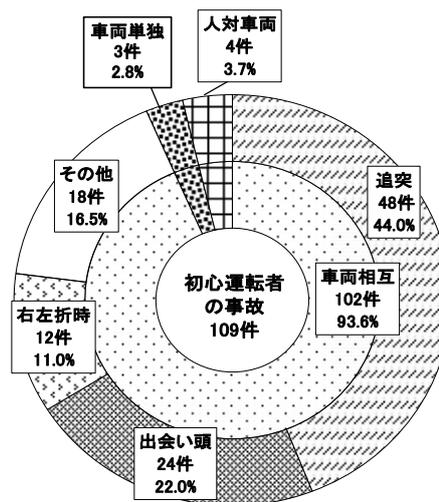
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		9	8.3	安全運転義務違反	徐行違反		1	0.9
	最高速度			0.0		過労運転		3	2.8
	通区・追越		2	1.8		ハンドル操作不適		2	1.8
	歩行者妨害等		2	1.8		ブレーキ操作不適		7	6.4
	一時不停止		8	7.3		前方不注意		34	31.2
	酒酔い運転			0.0		動静不注視		13	11.9
計			21	19.3	安全不確認		16	14.7	
横断禁止等				0.0	安全速度			0.0	
車間距離不保持				0.0	予測不適			0.0	
進路変更禁止				0.0	その他		2	1.8	
右・左折違反			1	0.9	計		74	67.9	
優先通行妨害等			4	3.7	その他		1	0.9	
交差点安全進行			4	3.7	合計		109	100.0	

(5) 事故類型別

車両相互の事故が102件で初心運転者事故の93.6%を占めている。

その中でも追突が48件と多く、次いで出会い頭が24件と続いており、両事故で66.0%を占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、買物が22件で初心運転者事故の20.2%を占めており、年齢別では19歳未満の事故が68件(62.4%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転		1	0.9	青年	16～19歳		68	62.4
	業務目的		5	4.6		20～24歳		26	23.9
通勤等	出勤		9	8.3	計			94	86.2
	退社		12	11.0	25～29歳		3	2.8	
	通学		6	5.5	30歳代		1	0.9	
私用	観光・娯楽		12	11.0	40歳代		5	4.6	
	ドライブ		4	3.7	50歳代		3	2.8	
	散歩			0.0	60～64歳		2	1.8	
	飲食		5	4.6	計		14	12.8	
	買い物		22	20.2	高齢者	65～69歳			0.0
	訪問		4	3.7	70歳代			0.0	
その他	帰省		2	1.8	80歳以上		1	0.9	
	その他		27	24.8	計		1	0.9	
調査不能				0.0	合計			109	100.0
合計			109	100.0	(内数)高校生				0.0

10 飲酒運転の事故

(注)各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

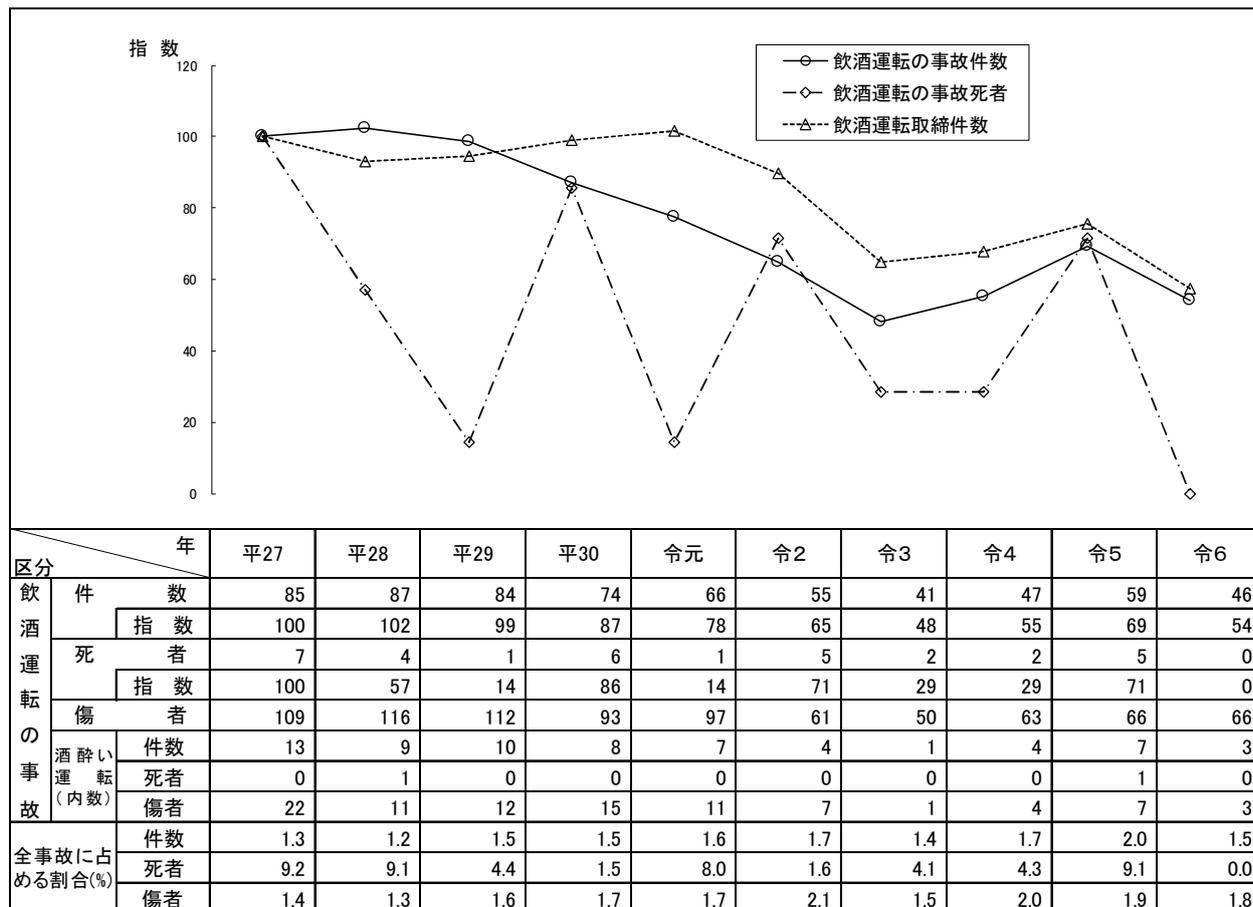
(1) 概況

第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

発生件数	46件	(前年比	-13件	22.0%減)	うち酒酔い	3件	前年比	-4件
死者数	0人	(前年比	-5人	100.0%減)	うち酒酔い	0人	前年比	-1人
傷者数	66人	(前年比	±0人	増減なし)	うち酒酔い	3人	前年比	-4人

で、前年より発生件数、死者数ともに減少した。

(単位：件・人・%)



区分		年	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
飲酒運転の事故	件数		85	87	84	74	66	55	41	47	59	46
	指数		100	102	99	87	78	65	48	55	69	54
	死者		7	4	1	6	1	5	2	2	5	0
	指数		100	57	14	86	14	71	29	29	71	0
	傷者		109	116	112	93	97	61	50	63	66	66
	酒酔い運転(内数)	件数		13	9	10	8	7	4	1	4	7
	死者		0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	傷者		22	11	12	15	11	7	1	4	7	3
全事故に占める割合(%)	件数		1.3	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	1.4	1.7	2.0	1.5
	死者		9.2	9.1	4.4	1.5	8.0	1.6	4.1	4.3	9.1	0.0
	傷者		1.4	1.3	1.6	1.7	1.7	2.1	1.5	2.0	1.9	1.8

(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは3月の8件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	1	3	① 8	5	4		3	4	1	7	② 5	5	③ 46
	全事故に占める割合	0.5	1.4	3.5	2.2	1.7	0.0	1.4	1.3	0.4	2.3	1.6	1.4	1.5
死者	死者													0
傷者	傷者	2	3	① 11	7	7		4	7	1	11	② 5	8	③ 66

(3) 曜日・時間別

土曜日が14件と最も多く、次いで水曜日が8件となっている。

時間別では、20～22時が8件と多く、次に22～24時が7件と多い。

(単位：件・%)

時間	曜日							合計	
	日	月	火	水	木	金	土	全事故に占める割合	
0～2	2	1		1			3	5	21.7
2～4	4	2				1	1	4	13.8
4～6	6			1			2	3	5.3
6～8	8	2	1					4	12.2
8～10	10		1		1		2	4	10.0
10～12	12		1		1			2	5.0
12～14	14							0	0.0
14～16	16				1		① 1	① 2	0.5
16～18	18	1					① 1	① 2	0.4
18～20	20		1	1	1	2		5	1.4
20～22	22				1	① 2	3	① 8	5.6
22～24	24	1			3	① 1	1	① 7	10.0
合計	7	2	4	8	① 5	6	② 14	③ 46	1.5
全事故に占める割合	2.0	0.4	0.9	1.8	1.1	1.2	3.1	1.5	

(4) 発生地別

市部で41件発生し、飲酒運転の89.1%を占めている。特にいわき市が多く、いわき市の18件で、市部の39.1%を占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	5		1	1	7	① 3	2	2	1	① 18	① 1		5	③ 46
死者														0
傷者	8		1	2	8	① 3	4	3	1	① 26	① 1		9	③ 66

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が19件で飲酒運転の41.3%を占めている。

(単位：件・人)

道路 区分	国 道						県 道			市 村 町 道	その他	合計	
	4号	6号	13号	49号	三桁	計	主 要 地 方 道	一 般 県 道	計				
件数	① 4		3	1	1	5	14	11	1	12	② 19	1	③ 46
死者							0			0			0
傷者	① 6		3	3	1	12	25	15	1	16	② 23	2	③ 66

(6) 事故類型別

(単位：件・人)

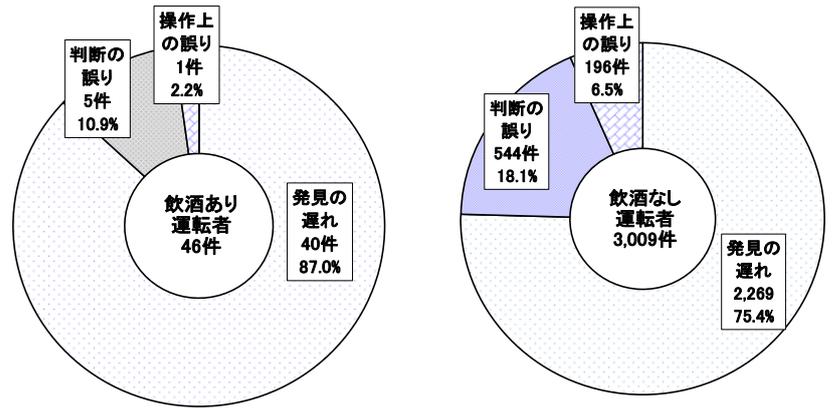
追突が最も多く、24件となっており、次いで出会い頭6件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数が全体の87.0% 傷者数が全体の90.9%と高い割合を占めている。

事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
人対車両	対面・背面歩行中		0.0			0.0
	横断中	3	6.5		3	1.2
	その他	1	2.2		1	0.9
計		4	8.7	0	4	0.9
車両相互	正面衝突	4	8.7		7	3.5
	追突	② 24	52.2		② 39	2.6
	出会い頭	6	13.0		6	0.7
	転回時		0.0			0.0
	右・左折時	① 3	6.5		① 3	0.9
	その他	3	6.5		5	0.9
計		40	87.0	0	60	1.6
車両単独	工作物衝突	2	4.3		2	4.9
	路外逸脱		0.0			0.0
	駐車車両衝突		0.0			0.0
	転倒		0.0			0.0
	その他		0.0			0.0
計		2	4.3	0	2	3.2
列車			0.0			0.0
合計	③	46	100.0	0	③ 66	1.5

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」の割合が11.6%高くなっている。



※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「深夜なので大丈夫と思った」が11件、次いで「酔いをさました」、「他に乗り物がなかった」がそれぞれ6件と多く、両項目で飲酒運転事故の49.9%を占めている。

(単位：件・人)

区分	動機	他に乗り物がた	なにかの困る	翌日の出勤	少しましな	飲しまし	酔いまし	車を置いていく	のりが不安	運転代行がた	深夜なので	大丈夫と思った	交差点がた	少なかった	その他不明	合計	飲酒運転のうち	
																	酒酔い運転	酒気帯び運転
件数		6	2	3	6					5	11	4	9	46			3	43
構成率(%)		13.0	4.3	6.5	13.0	0.0	10.9	23.9	8.7	19.6	100.0	6.5	93.5					
死者																0		
傷者		11	2	3	11					8	15	4	12	66			3	63

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く22件で47.8%を占めている。

飲酒場所は「自宅」が17件で37.0%を占めている。

(単位：件・人)

飲酒理由	飲酒場所	忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き等	晩酌等	その他不明	合計	構成率(%)
自宅	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	14	1	17			37.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18	2	24			
知人・友人宅	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
取引・勤務先	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1			2.2
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1			
料理店・キャバレー・パブ・スナック	件数	2	2	1	0	2	0	2	0	4	5	3	19			41.3
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	5	3	1	0	2	0	7	8	3	29					
その他の料理店	件数	0	1	0	0	2	0	2	0	2	0	0	5			10.9
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	2	0	0	2	0	4	0	0	8					
旅館・ホテル等の宿泊施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ドライブイン・酒類販売店等	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2			4.3
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2			
自動販売機付近	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他(不明)	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2			4.3
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2			
合計	件数	2	3	1	0	4	0	9	22	5	46					100.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	傷者	5	5	1	0	4	0	16	29	6	66					
件数の構成率(%)		4.3	6.5	2.2	0.0	8.7	0.0	19.6	47.8	10.9	100.0					

11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

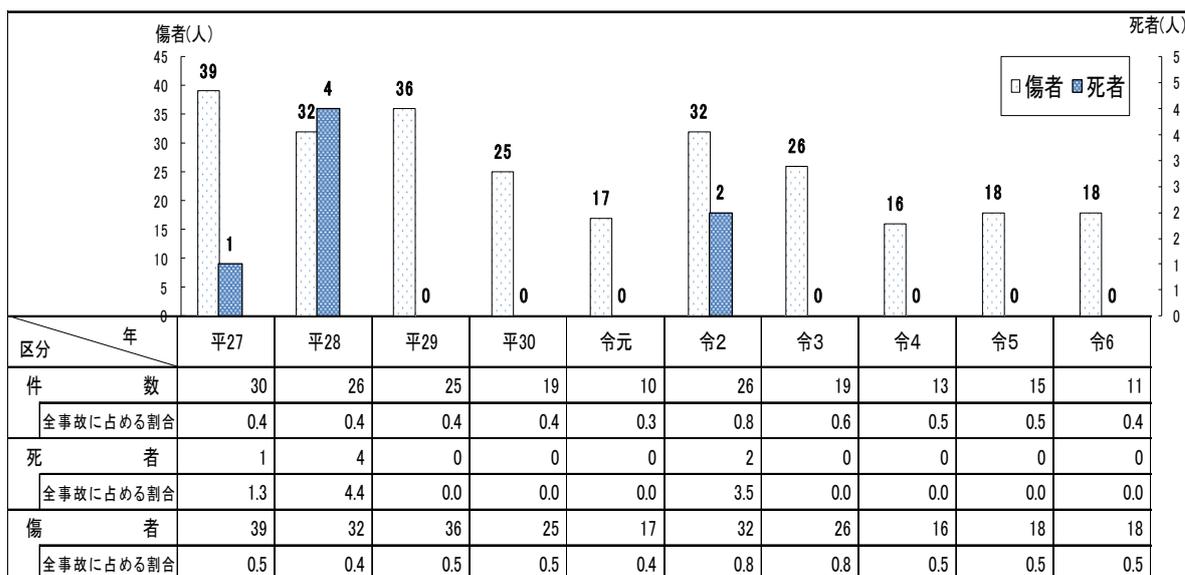
発生件数 11件（前年比 -4件 26.7%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 18人（前年比 ±0人）

で、前年より発生件数が減少し、死者数は0人であった。

（単位：件・人・%）



(2) 月別

8月に3件と最も多く発生しており、次いで4月に2件発生している。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数				1	2	1		1	3		1	1	1	11
死者														0
傷者				5	3	1		1	5		1	1	1	18

(3) 発生地別

市部での発生が多く、特にいわき市が最も多く5件で無免許運転事故の45.6%を占めている。

（単位：件・人）

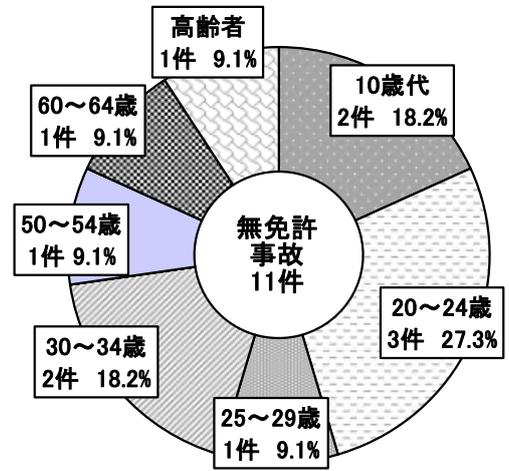
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数						1	1		1		5			3	11
死者															0
傷者						1	1		1		8			7	18

(4) 年齢別

20～24歳が3件（27.3%）で最も多く、次いで30～34歳が2件（18.2%）となっている。

（単位：件）

区分		件数	区分		件数
年齢			年齢		
10歳代	16歳未満		35～39歳		
	16歳		40～44歳		
	17歳		45～49歳		
	18歳		50～54歳	1	
	19歳	2	55～59歳		
	計	2	60～64歳	1	
20～24歳	3	高齢者	1		
25～29歳	1	合計	11		
30～34歳	2				

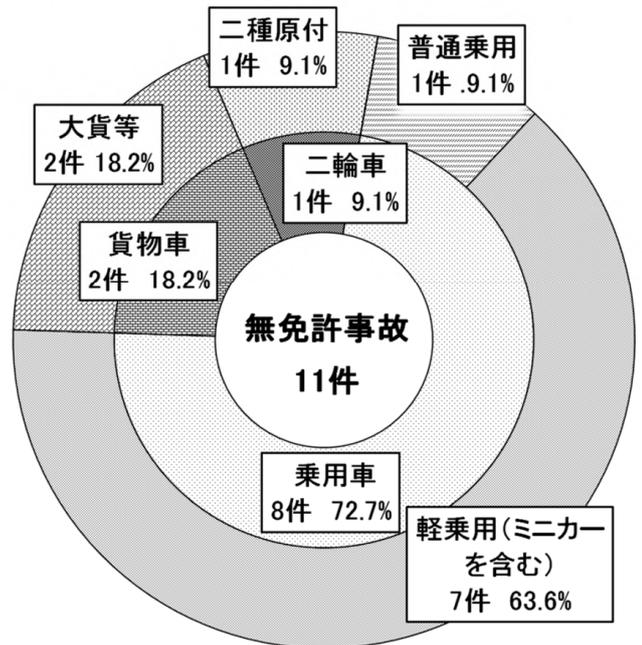


(5) 車種別

車種別では軽乗用車が7件、普通乗用車が1件となっており、乗用車が8件で全体の72.7%を占めている。

（単位：件・%）

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許の割合	
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	9	0.0
	普通	1	9.1	1,526	0.1
	軽(ミニカーを含む)	7	63.6	1,017	0.7
	計	8	72.7	2,552	0.3
貨物車	大型・中型・準中型	2	18.2	125	1.6
	普通	0	0.0	97	0.0
	軽	0	0.0	249	0.0
	計	2	18.2	471	0.4
特殊車(大型・小型)		0	0.0	2	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	8	0.0
	軽二輪	0	0.0	4	0.0
	二種原付	1	9.1	7	14.3
	原付	0	0.0	16	0.0
	計	1	9.1	35	2.9
合計		11	100.0	3,060	0.4



* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など26件を除く

(6) 職業別

建設業、サービス業がそれぞれ4件（36.4%）と多くなっている。

（単位：件）

職業 区分	職業 運輸 手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数				4	1			4		1	1	11
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	36.4	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	9.1	9.1	100

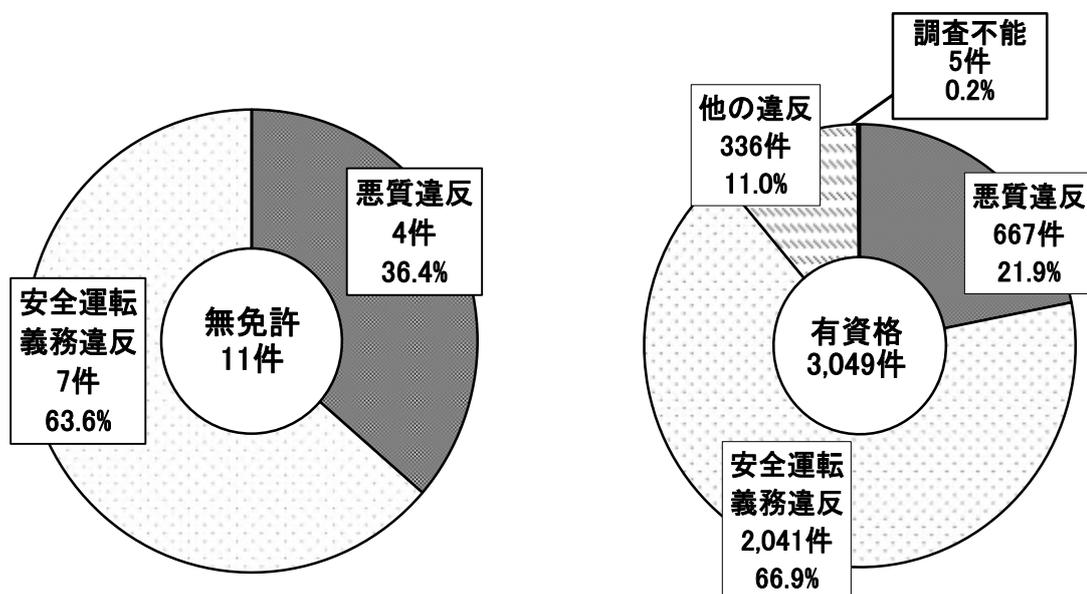
(7) 違反別・原因別

安全運転義務違反は7件で無免許運転全体の63.6%を占めており、うち動静不注視が3件（27.3%）、次いで安全不確認が2件（18.2%）と多い。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許運転は63.6%、有資格者運転は66.9%といずれも高い割合となっている。

（単位：件）

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信号無視	2	18.2	安全 運 転 義 務 違 反	過労運転		0.0
	最高速度		0.0		ハンドル・ブレーキ操作		0.0
	通区・追越		0.0		前方不注意	1	9.1
	歩行者妨害等		0.0		動静不注視	3	27.3
	一時不停止	2	18.2		安全不確認	2	18.2
	酒酔い運転		0.0		安全速度	1	9.1
計	4	36.4	その他			0.0	
車間距離不保持			0.0	計	7	63.6	
優先通行妨害等			0.0	その他		0.0	
交差点安全進行			0.0	合計	11	100.0	
左折違反			0.0	飲酒運転（内数）		0.0	



(8) 人的原因別

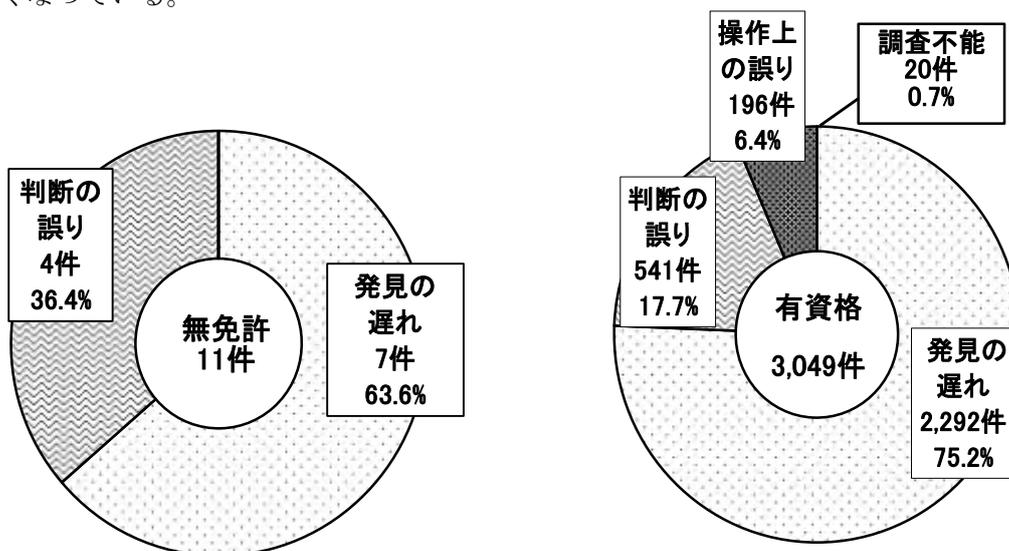
発見の遅れが7件で、無免許運転事故の63.6%を占め最も多い。

うち前方不注意が2件、安全不確認が5件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	11	予測不達	0
発見の遅れ	7	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意	2	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	1	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	1
その他、考え事等の漫然運転	1	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	1
外在的(脇見等)	1	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした		交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不達)	0
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	1	ハンドルの操作不達	
安全不確認	5	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	3	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	2	オートスピードコントロール装置等の操作不達	
判断の誤り等	4	その他の操作不達	
動静不注意	3	調査不能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	3		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では判断の誤りの構成率が18.7%高くなっている。



12 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数	35件	(前年比)	+16件	84.2%増)
死者数	6人	(前年比)	+2人	50.0%増)
傷者数	34人	(前年比)	+18人	112.5%増)

で、前年より発生件数、死者数、傷者数ともに増加した。

車種別にみると発生件数、傷者数は原付が多く、発生件数は全体の45.7%、傷者数は44.1%を占めている。

(単位：件・人)

区分 車種	本年					増減数			増減率(%)			
	件数	構成率(%)	死者数	構成率(%)	傷者数	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	8	22.9	2	33.3	8	23.5	4	0	6	100.0	0.0	300.0
軽二輪	4	11.4	1	16.7	5	14.7	0	0	1	0.0	0.0	25.0
二種原付	7	20.0	1	16.7	6	17.6	4	0	4	133.3	0.0	200.0
原付	16	45.7	2	33.3	15	44.1	8	2	7	100.0	—	87.5
合計	35	100.0	6	100.0	34	100.0	16	2	18	84.2	50.0	112.5

死亡事故率をみると小型二輪、軽二輪が高くなっている。

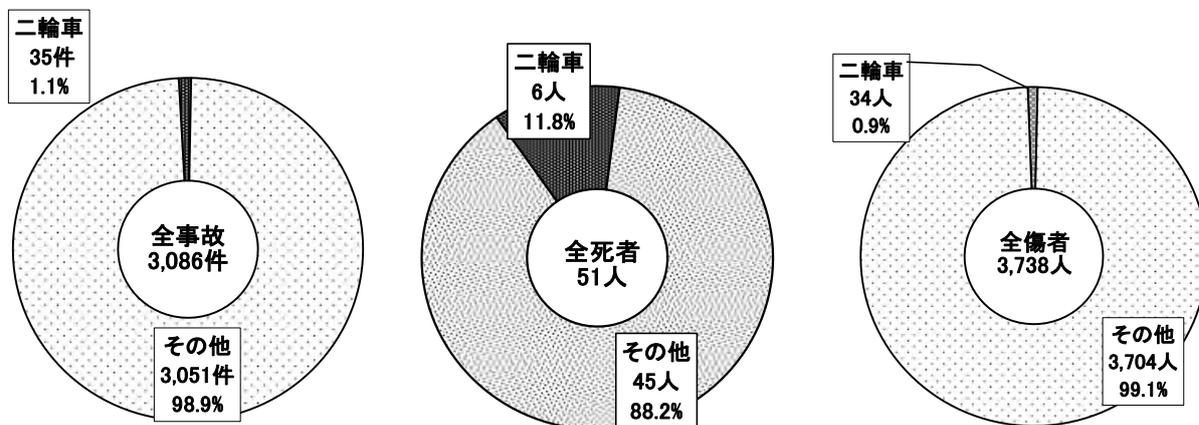
(単位：件・%)

区分 車種	普通乗用車						二輪車					合計
	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	
車種別事故件数	1,524	1,017	125	97	249	13	8	4	7	16	35	3,060
死亡事故件数	18	15	2	0	7	1	2	1	1	2	6	49
死亡事故率	1.2	1.5	1.6	0.0	2.8	7.7	25.0	25.0	14.3	12.5	17.1	1.6

(軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く)

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は1.1%であるのに対し、死者の構成率は11.8%と高くなっている。

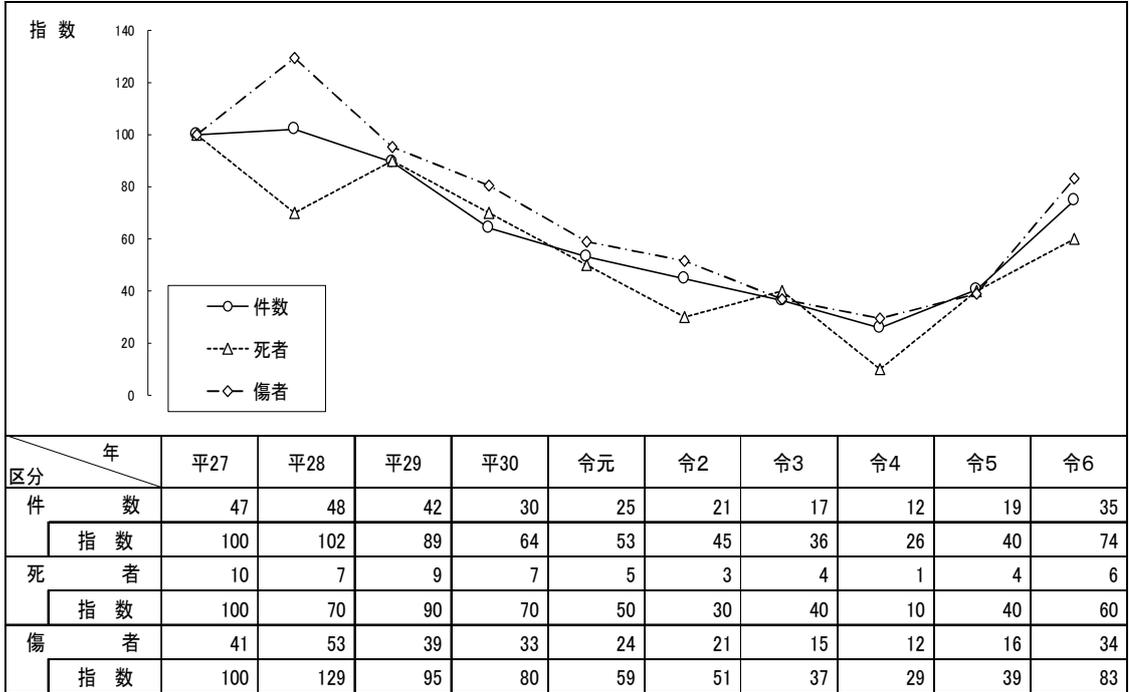


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

発生件数、死者数、傷者数ともに令和5年以降は増加している。

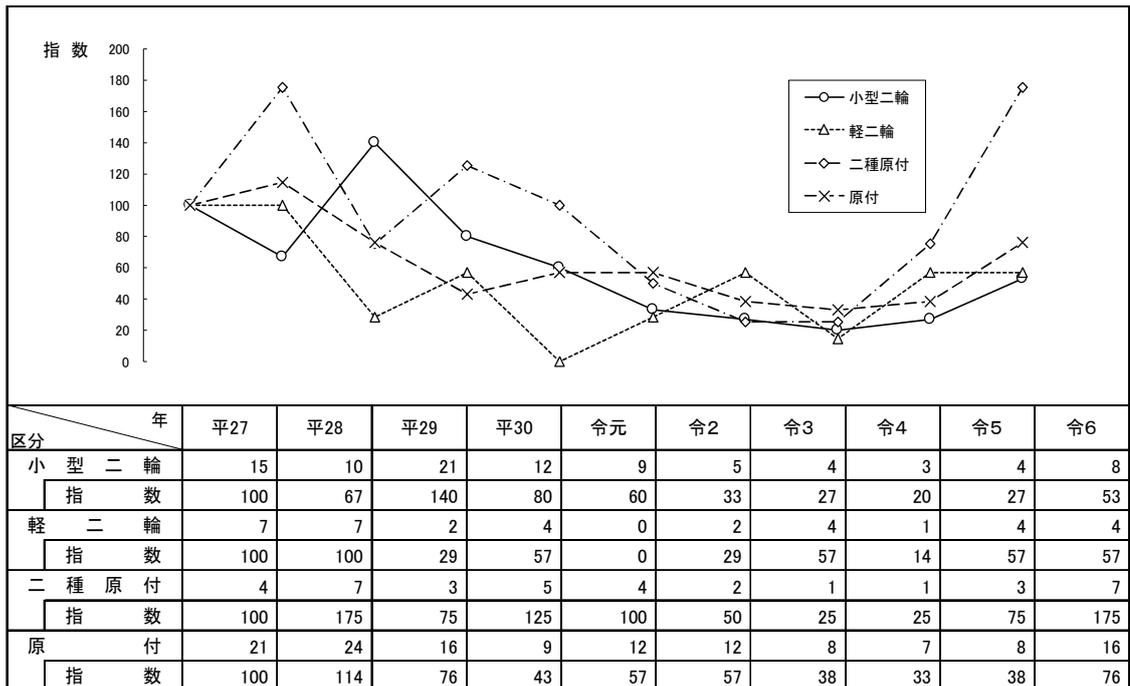
(単位：件・人)



(イ) 車種別交通事故発生件数

令和6年については、軽二輪以外で増加となっている。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、50歳代と高齢者で7件（20.0%）、60～64歳で6件（17.1%）となっている。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故			2	87	302	391	174	418	435	472	232	938	3,060
	構成率(%)	0.0	0.1	2.8	9.9	12.8	5.7	13.7	14.2	15.4	7.6	30.7	100.0
二輪車事故				2	3	5	2	5	3	7	6	7	35
	構成率(%)	0.0	0.0	5.7	8.6	14.3	5.7	14.3	8.6	20.0	17.1	20.0	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	2.3	1.0	1.3	1.1	1.2	0.7	1.5	2.6	0.7	1.1

*軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

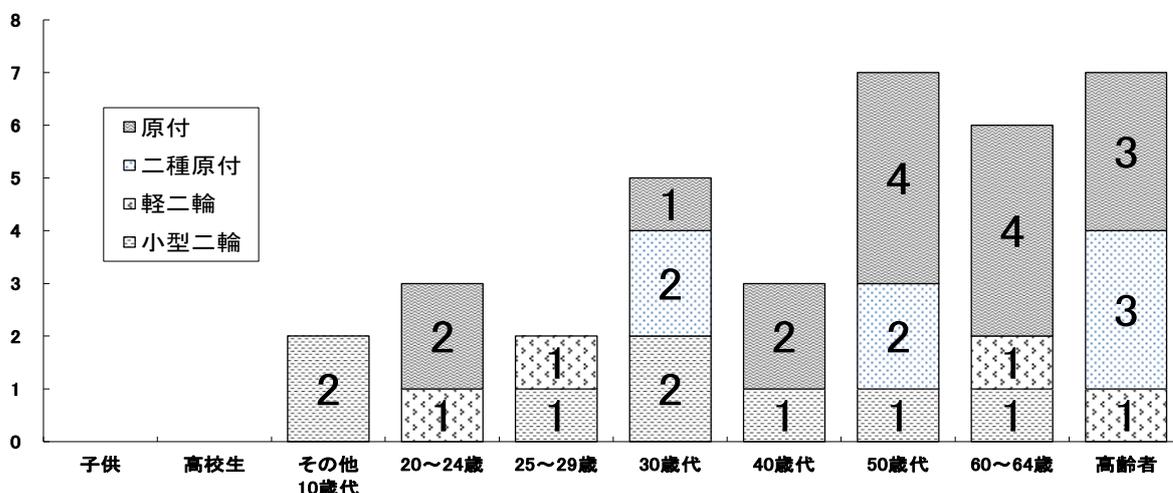
エ 年齢別・車種別

車種別では原付が多く、原付の年齢別では50歳代と60～64歳代で4件と多くなっている。

（単位：件）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪				2		2	1	2	1	1	1		8
	構成率(%)	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	100.0
軽二輪					1	1	1				1	1	4
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0
二種原付						0		2		2		3	7
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	100.0
原付					2	2		1	2	4	4	3	16
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	6.3	12.5	25.0	25.0	18.8	100.0

事故件数
(件)



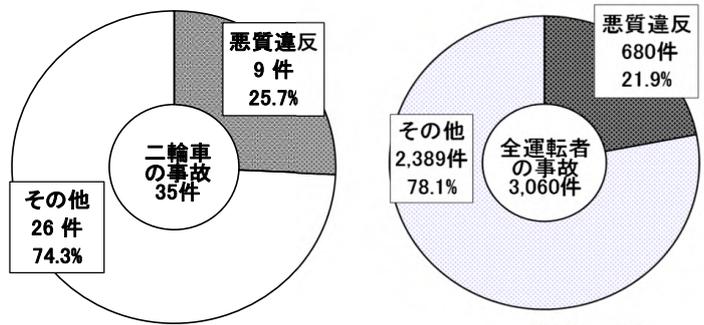
オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は60.0%を占めている。(単位：件)

経験年数	車種		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
			構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
1年未満	1		12.5		0.0		0.0		0.0	1	2.9	
1～2年	1		12.5		0.0		0.0	1	6.3	2	5.7	
2～3年	3		37.5		0.0		0.0		0.0	3	8.6	
3～4年			0.0	1	25.0		0.0		0.0	1	2.9	
4～5年	1		12.5		0.0		0.0	1	6.3	2	5.7	
10年未満			0.0	1	25.0		0.0	3	18.8	4	11.4	
10年以上	2		25.0	2	50.0	6	85.7	11	68.8	21	60.0	
無免許			0.0		0.0		1	14.3		1	2.9	
合計	8		100.0	4	100.0	7	100.0	16	100.0	35	100.0	

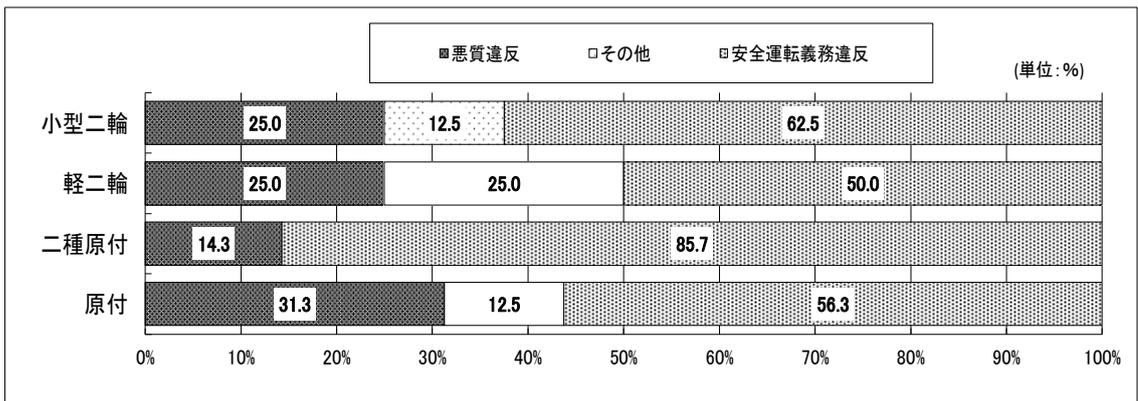
カ 車種別・違反別

二輪車事故について、悪質違反の割合が25.7%となっており、全運転者事故より3.8%高くなっている



(単位：件)

違反	車種		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
			構成率(%)									
悪質違反	信号無視	1	12.5	1	25.0		0.0	1	6.3	3	8.6	
	最高速度		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
	通区・追越	1	12.5		0.0		0.0		0.0	1	2.9	
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0	2	12.5	2	5.7	
	一時不停止		0.0		0.0	1	14.3	2	12.5	3	8.6	
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
計	2	25.0	1	25.0	1	14.3	5	31.3	9	25.7		
横断禁止等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0		
右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0		
優先通行妨害等		0.0	1	25.0		0.0	1	6.3	2	5.7		
交差点安全進行		0.0		0.0		0.0		1	6.3	1	2.9	
徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0		
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	12.5		0.0		0.0	1	6.3	2	5.7	
	前方不注意		0.0	1	25.0	3	42.9	2	12.5	6	17.1	
	動静不注意	2	25.0		0.0	1	14.3	3	18.8	6	17.1	
	安全不確認	1	12.5	1	25.0	1	14.3	3	18.8	6	17.1	
	安全速度		0.0		0.0	1	14.3		0.0	1	2.9	
その他	1	12.5		0.0		0.0		0.0	1	2.9		
計	5	62.5	2	50.0	6	85.7	9	56.3	22	62.9		
その他	1	12.5		0.0		0.0		0.0	1	2.9		
合計	8	100.0	4	100.0	7	100.0	16	100.0	35	100.0		



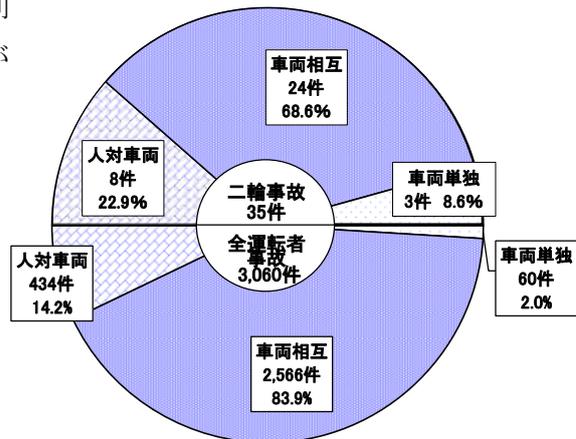
キ 車種別・事故類型別

(単位：件・%)

類型	車種	全運転車事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		構成率(%)											
人対車両	横断中	258	8.4	4	11.4	1	12.5	0	0.0	1	14.3	2	12.5
	対面・背面	62	2.0	3	8.6	0	0.0	0	0.0	1	14.3	2	12.5
	その他	114	3.7	1	2.9	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	計	434	14.2	8	22.9	1	12.5	1	25.0	2	28.6	4	25.0
車両相互	正面衝突	112	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追突	112	3.7	1	2.9	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	駐・停止中	827	27.0	4	11.4	1	12.5	0	0.0	1	14.3	2	12.5
	出会い頭	844	27.6	10	28.6	0	0.0	2	50.0	2	28.6	6	37.5
	追越・追抜	41	1.3	1	2.9	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	右折時	251	8.2	3	8.6	0	0.0	1	25.0	0	0.0	2	12.5
	左折時	86	2.8	1	2.9	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0
	その他	293	9.6	4	11.4	3	37.5	0	0.0	0	0.0	1	6.3
計	2,566	83.9	24	68.6	6	75.0	3	75.0	4	57.1	11	68.8	
車両単独	工作物衝突	40	1.3	2	5.7	1	12.5	0	0.0	1	14.3	0	0.0
	路外逸脱	4	0.1	1	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.3
	転倒	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	駐車車両衝突	10	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	5	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	60	2.0	3	8.6	1	12.5	0	0.0	1	14.3	1	6.3	
踏切	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	3,060	100.0	35	100.0	8	100.0	4	100.0	7	100.0	16	100.0	

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、二輪合計の類型別の方が

- ・人対車両・・・8.7%高い
- ・車両相互・・・15.3%低い
- ・車両単独・・・6.6%高い



ク 昼夜別・道路別

昼間の発生が57.1% (20件) と多くなっている。

道路別に対比すると、市町村道での発生が18件と最も多く51.4%を占める。

夜間に市町村道で9件と多く発生している。

(単位：件・%)

昼夜	国 道						計	県 道			市 村	町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
	4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁	計		主 要	一 般	道					
昼 間	1	1			2	4	3	3	6	9	1		20		
構成率(%)	5.0	5.0	0.0	0.0	10.0	20.0	15.0	15.0	30.0	45.0	5.0	0.0	100.0		
夜 間		1		1		2		4	4	9			15		
構成率(%)	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	26.7	26.7	60.0	0.0	0.0	100.0		
薄暮(内数)				1	1	2		3	3	4			9		
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3	33.3	44.4	0.0	0.0	100.0		
合 計	1	2	0	1	2	6	3	7	10	18	1	0	35		
構成率(%)	2.9	5.7	0.0	2.9	5.7	17.1	8.6	20.0	28.6	51.4	2.9	0.0	100.0		

ケ 道路線形別

二輪車事故のうち直線の平坦な場所で発生した事故が80.0%を占めている。

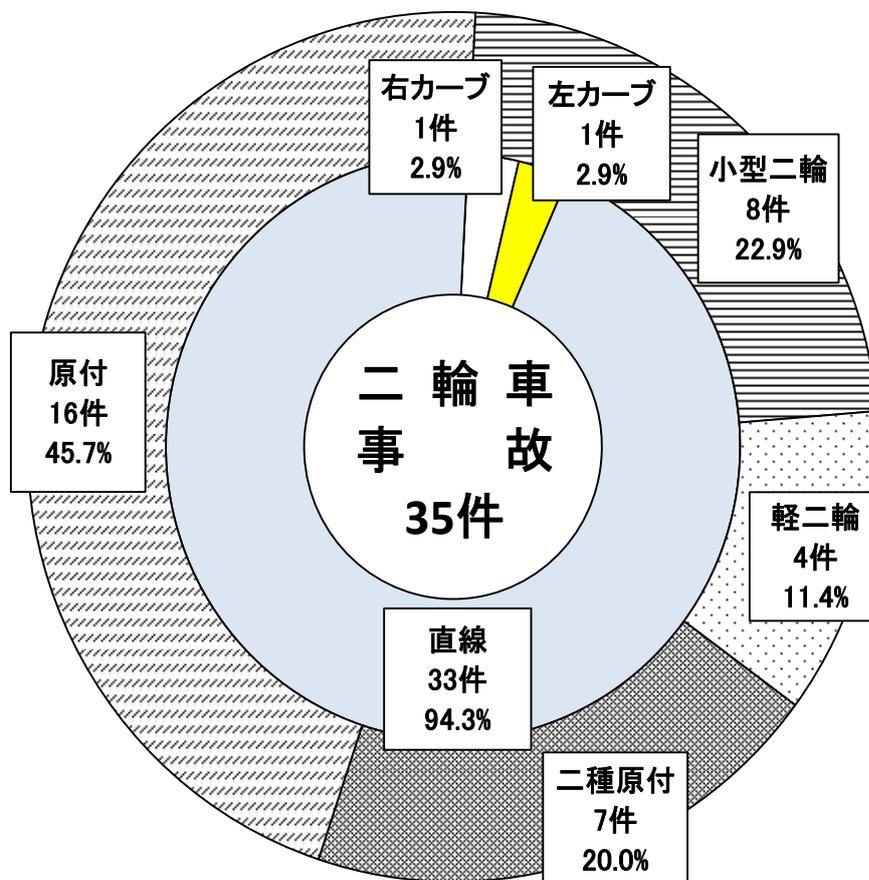
(単位：件)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	6	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	11	0.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	13	0.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	31	1.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	31	1.1	1	2.9		0.0		0.0	1	14.3		0.0
	左カーブ	44	1.6	1	2.9	1	12.5		0.0		0.0		0.0
直線	上り	67	2.4	3	8.6	1	12.5		0.0		0.0	2	12.5
	下り	105	3.7	2	5.7		0.0	1	25.0	1	14.3		0.0
	平坦	2,519	89.1	28	80.0	6	75.0	3	75.0	5	71.4	14	87.5
合計	右カーブ	50	1.8	1	2.9	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0
	左カーブ	86	3.0	1	2.9	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0

* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	2,827	100.0	35	100.0	8	22.9	4	11.4	7	20.0	16	45.7
-------	-------	-------	----	-------	---	------	---	------	---	------	----	------

* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2) 二輪車の死傷者

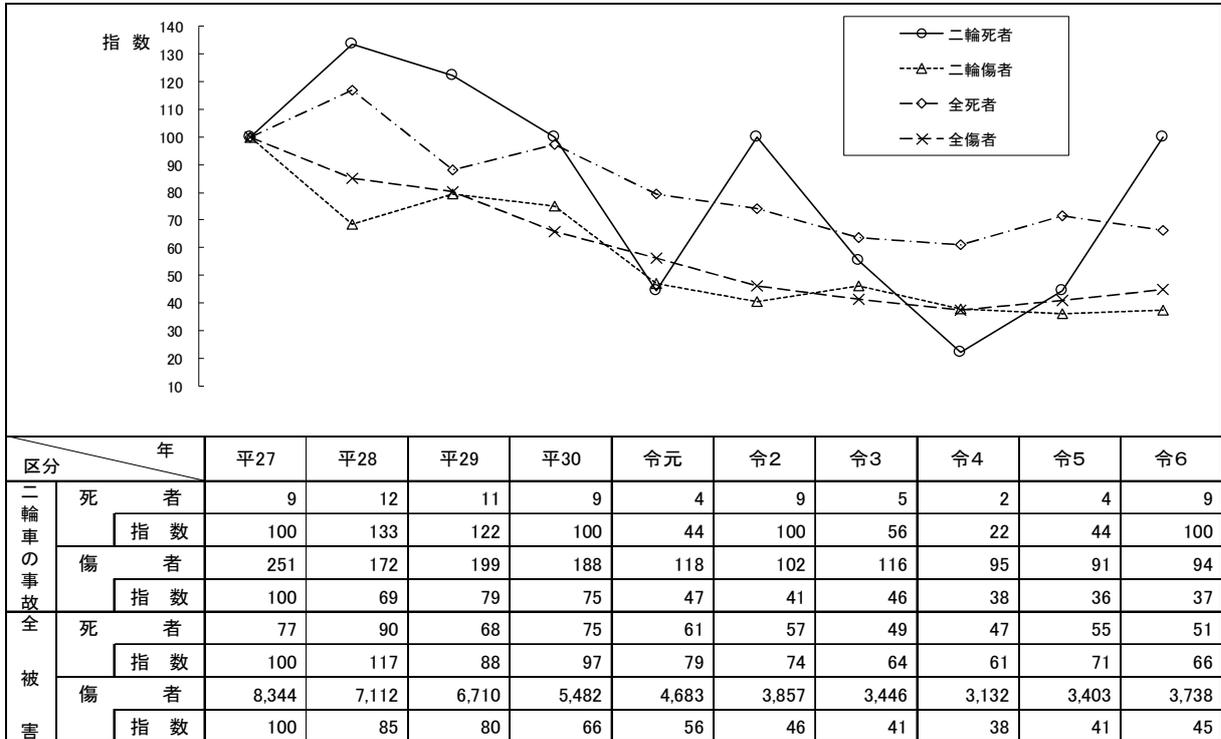
ア 概況

二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 9人（前年比 +5人 125.0%増）
 傷者数 94人（前年比 +3人 3.3%増）

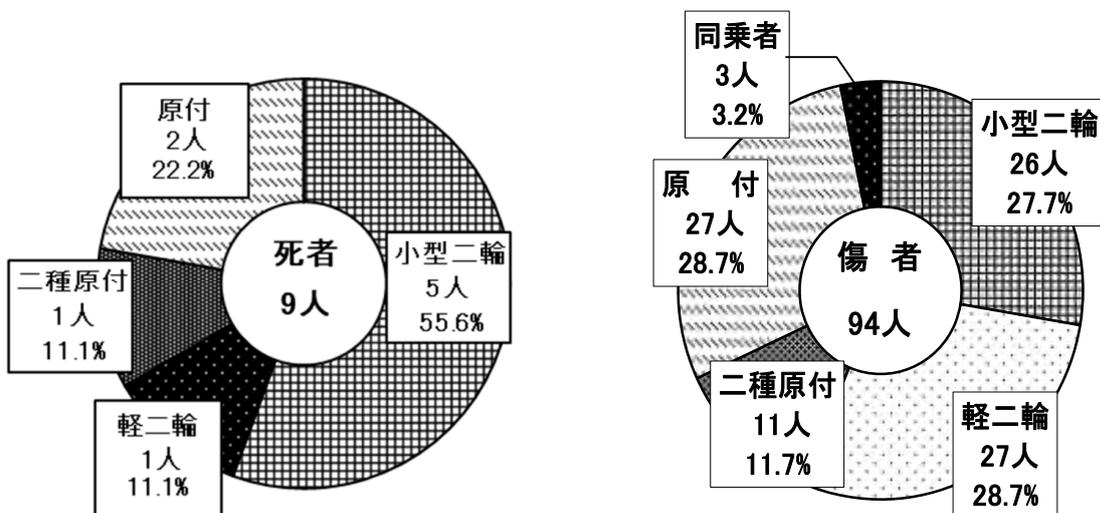
で、前年より死者数、傷者数ともに増加した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が5人で全体の55.6%を占めており、傷者は軽二輪と原付がそれぞれ27人で全体の28.7%を占めている。



ウ 年齢別

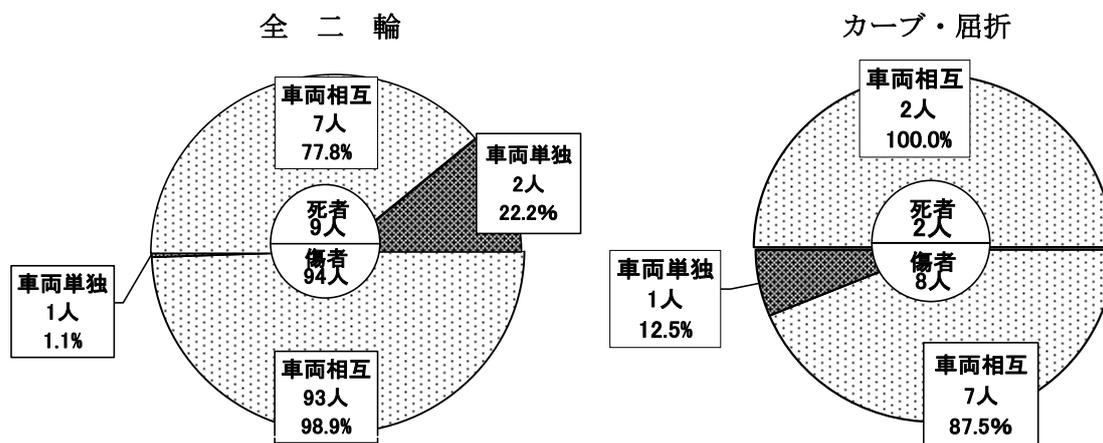
年齢別にみると、死者は50歳代が3人で33.3%を占め、傷者は40歳代が17人と18.1%を占めている。 (単位：人)

車種		年齢								合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	
二輪車	死者	0	1	0	1	1	3	1	2	9
	構成率(%)	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2	100
計	傷者	8	7	7	16	17	12	11	16	94
	構成率(%)	8.5	7.4	7.4	17.0	18.1	12.8	11.7	17.0	100.0
小型二輪	死者		1		1	1	1		1	5
	傷者	1	2	2	7	4	5	3	2	26
軽二輪	死者						1			1
	傷者	3	2	5	3	5	3	3	3	27
二種原	死者						1			1
	傷者	2	1		2	2		1	3	11
原付	死者							1	1	2
	傷者	2	1		3	5	4	4	8	27
同乗者	死者									0
	傷者		1		1	1				3

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両相互で7人、車両単独で2人となっており、傷者は車両相互で93人、車両単独で1人となっている。

カーブ・屈折では、死者は車両相互で2人、傷者は車両相互7人、車両単独で1人となっている。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は98.6%、原付の着用率は100.0%となっている。 (単位：人)

車種	区分	死者		傷者		合計	合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		7	100.0	67	98.5	74	98.6	
原付		2	100.0	27	100.0	29	100.0	
合計		9	100.0	94	98.9	103	99.0	

13 タクシーの事故

(1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数	18件	(前年比	-15件	45.5%減)
死者数	0人	(前年比	±0人)	
傷者数	25人	(前年比	-12人	32.4%減)

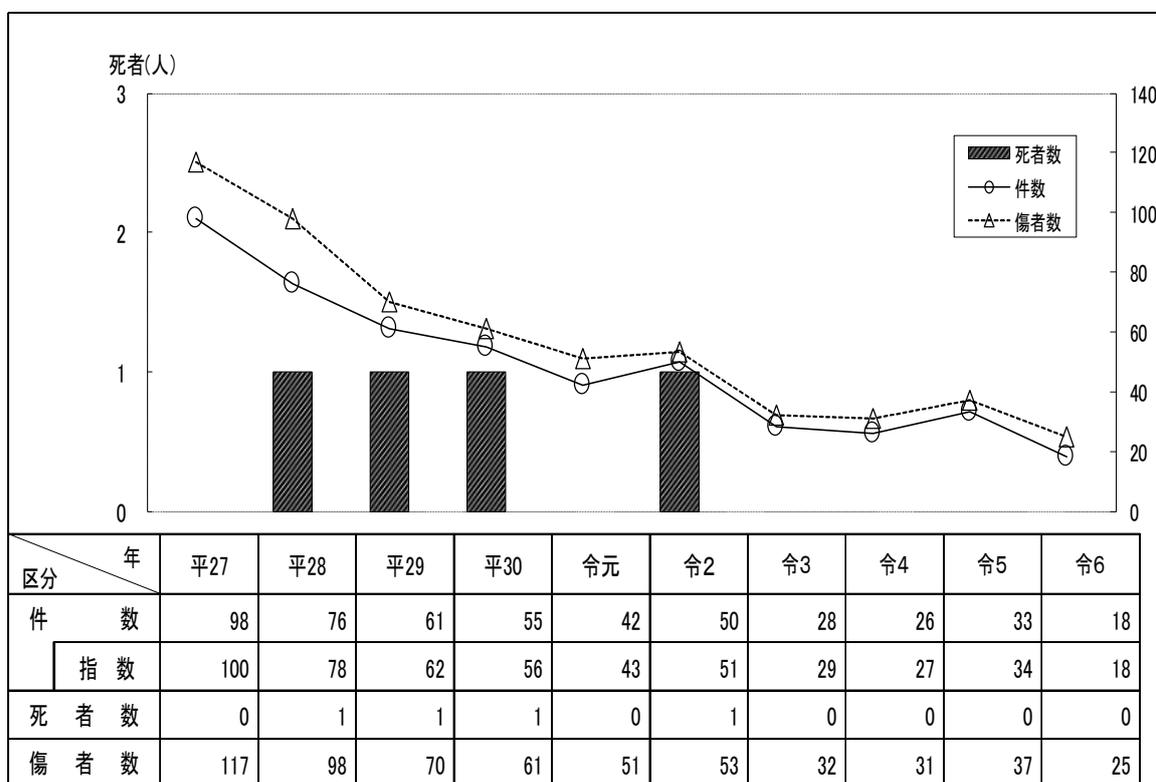
で、前年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数ともに前年より減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

発生件数	13件	(前年比	-1件	7.1%減)
死者数	0人	(前年比	±0人)	
傷者数	20人	(前年比	+4人	25.0%増)

で、前年に続き死者は0人で、発生件数は前年より減少し、傷者数は前年より増加した。

(単位：件・人)



(2) 月別

12月が4件、次いで1, 3, 4, 7, 11月が2件と多くなっている。(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	1	2	2	1		2	1	1		2	4	18
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	2	1	5	3	1		2	1	2		2	6	25

(3) 年齢別

高齢者が11件、60～64歳が3件の順に多く、60歳以上が87.8%を占めている。(単位：件)

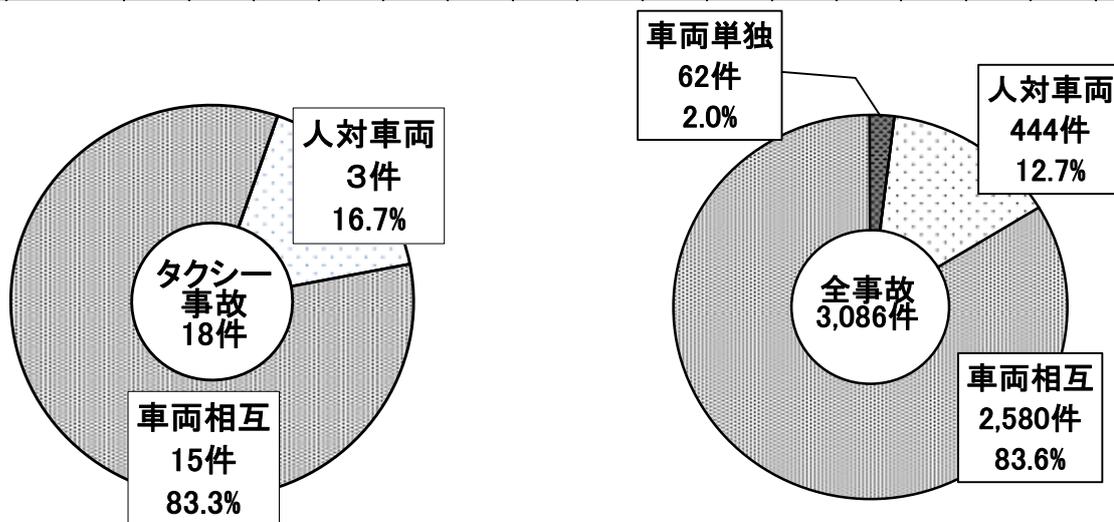
区分	年齢							合計
	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	
件数				2	2	3	11	18
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	16.7	61.1	100.0

(4) 事故類型別

車両相互の事故が15件(83.3%)と最も多く、うち出会い頭が5件で27.8%を占めている。全事故と比較すると、人対車両の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	人対車両			車両相互							車両単独			合計		
	通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工物衝突	路外逸脱	その他				
件数		1	2	3		4	5	2	3	1	15				0	18
構成率(%)	0.0	5.6	11.1	16.7	0.0	22.2	27.8	11.1	16.7	5.6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が10件と多く、55.6%を占めている。

悪質違反は4件のうち信号無視が2件と多くなっている。

(単位：件)

区分	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計	
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他			
件数	2		1	1			4		2	2		1	3	2	3	1	10		18
構成率(%)	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	5.6	16.7	11.1	16.7	55.6	5.6	100

14 バスの事故

(1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 7件 (前年比 +3件 75.0%増)

死者数 1人 (前年比 +1人 100.0%増)

傷者数 12人 (前年比 +4人 50.0%増)

で、発生件数、死者数、傷者数ともに増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

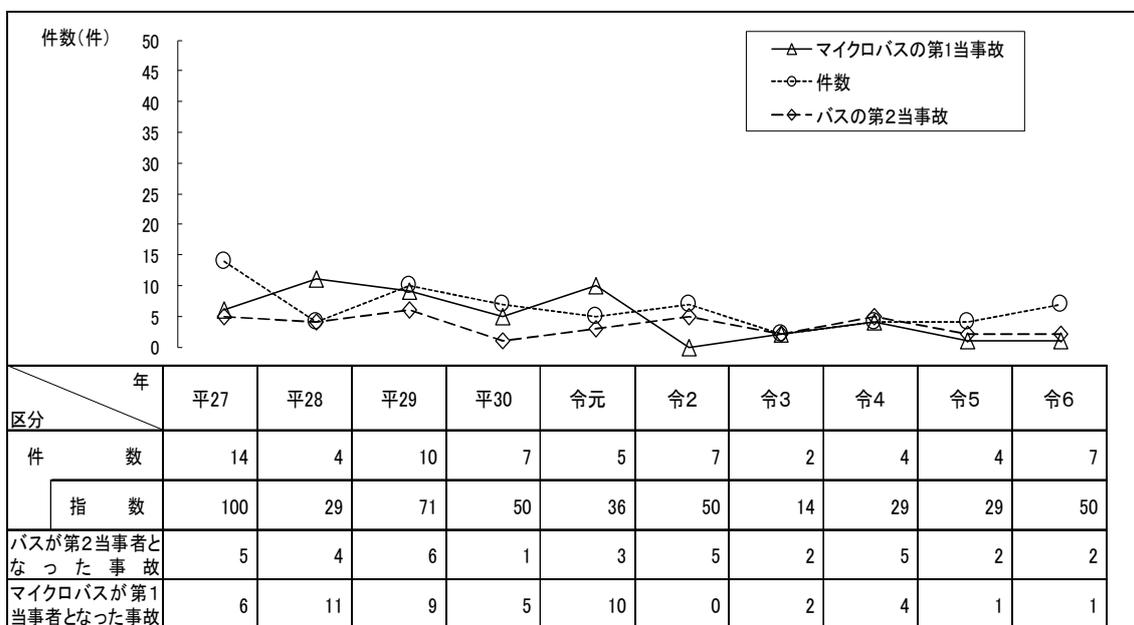
発生件数 2件 (前年比 ±0件)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 2人 (前年比 ±0件)

で、前年に続き死者数は0人で、発生件数、傷者数の増減はなかった。

(単位：件)



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 1件 (前年比 ±0件)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 1人 (前年比 ±0人)

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 1件 (前年比 +1件)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 1人 (前年比 +1人)

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、11月に2件、1月、2月、3月、4月、9月に1件ずつ発生し、2月は死亡事故が1件発生している。第2当事者になった事故は7月と9月に1件ずつ発生している。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数	1	1	1	1					1		2		7
	死者数		1											1
	傷者数	1		1	1					1		8		12
第2当事者	件数							1		1				2
	死者数													0
	傷者数							1		1				2

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスで6件（うち死亡事故1件）、貸切バスで1件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスで2件発生している。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者				計	第2当事者				計
		路線バス	貸切バス	自家用バス			路線バス	貸切バス	自家用バス		
	件数	6	1			7	2				2
	死者	1				1					0
	傷者	5	7			12	2				2

(4) 年齢別

第1当事者となった事故が50歳代で5件発生し、第2当事者となった事故は50歳代と60～64歳でそれぞれ1件発生している。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上(高齢者)	合計
		第1当事者				2	5		
第2当事者						1	1		2

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、市町村道で4件と最も多く発生しており、第2当事者となった事故は国道4号、市町村道でそれぞれ1件ずつ発生している。

(単位：件)

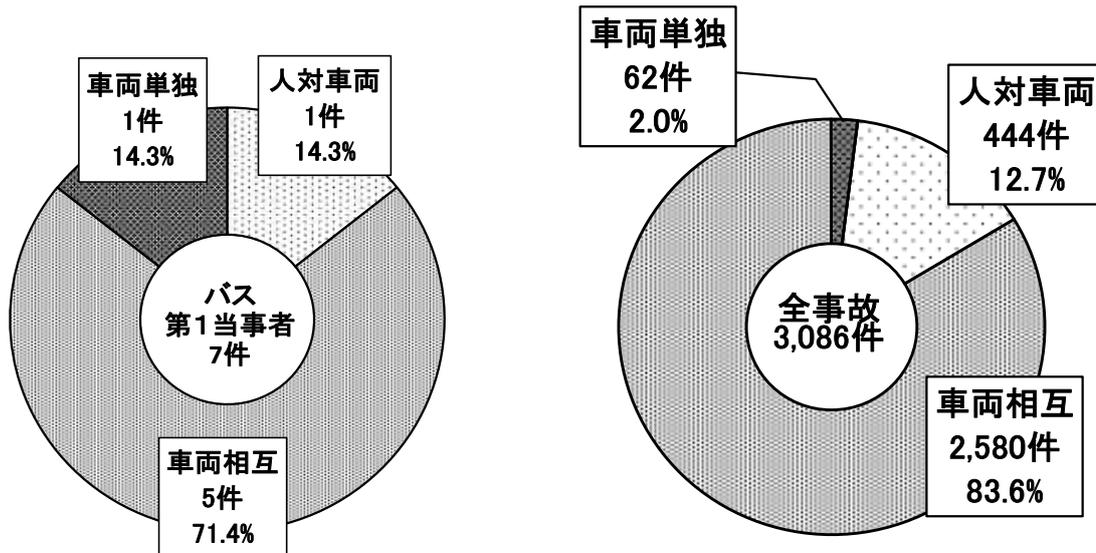
区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者						1	1		1	1	4	1		7
第2当事者		1							0	1				2

(6) 事故類型別

車両相互で5件発生しており、全体の71.4%を占めている。

(単位：件)

区分	人対車両			計	車両相互						計	車両単独			計		
	通行中	横断中	その他		正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他		工作物衝突	路外逸脱	その他			
件数			1	1		2				2	1	5			1	1	7
構成率(%)	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	71.4	0.0	0.0	14.3	14.3	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が7件となっており、うち安全不確認が3件と多い。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	交差点安全進行			0.0
	最高速度		0.0	過労運転			0.0
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	14.3
	歩行者妨害等		0.0		前方不注意	2	28.6
	一時不停止		0.0		動静不注意	1	14.3
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	3	42.9
	計	0	0.0		安全速度		0.0
	横断禁止等		0.0		その他		0.0
	車間距離不保持		0.0	反	計	7	100.0
	進路変更禁止		0.0	そ	の		0.0
	右・左折		0.0	他			0.0
	優先通行妨害等		0.0	歩	行	者	の
			0.0	違	反		0.0
			0.0	合	計	7	100

15 ダンプカーの事故

(1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	18件	(前年比)	-1件	5.3%減)
死者数	0人	(前年比)	±0人)	
傷者数	20人	(前年比)	-3人	13.0%減)

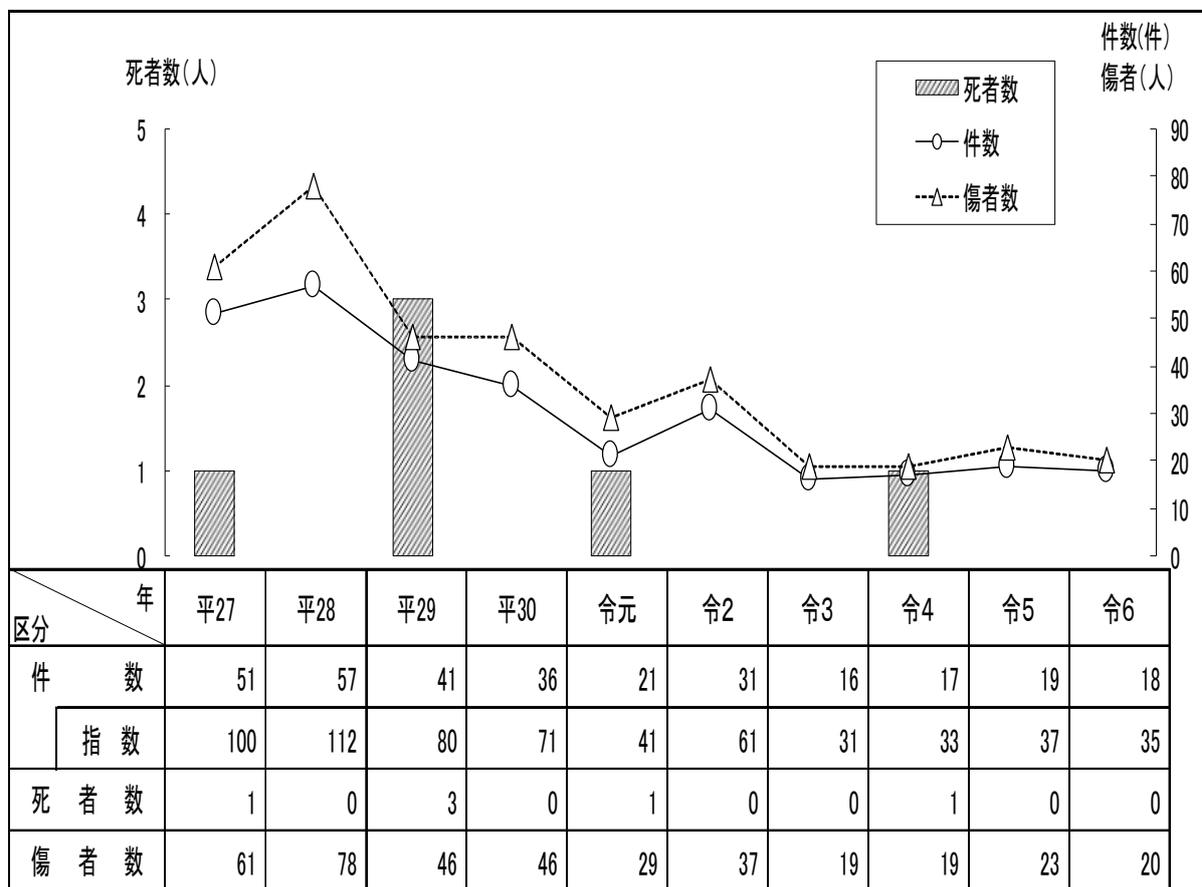
で、前年より発生件数、傷者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	9件	(前年比)	-1件	10.0%減)
死者数	0人	(前年比)	±0人)	
傷者数	11人	(前年比)	±0人)	

で、前年より発生件数は減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

5月で3件と最も多く発生している。

(単位：件・人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	2	1	2	3		2	2	1	1		2	18
死者数													0
傷者数	2	2	1	2	3		2	2	3	1		2	20

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代と50歳代がそれぞれ5件で最も多く、40歳代と50歳代で全体の55.6%を占めている。

また、免許経過年数では10年以上が17件でダンプ事故の94.4%を占めている。 (単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満									0
1～2年									0
2～3年									0
3～4年									0
4～5年								1	1
10年未満									0
10年以上				2	5	5	2	3	17
無免許									0
合計		0	0	2	5	5	2	4	18

(4) 違反別

安全運転義務違反12件でダンプ事故の66.7%を占めている。

悪質違反は歩行者妨害と一時不停止でそれぞれ2件と多くなっている。 (単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		構成率(%)	構成率(%)			構成率(%)	構成率(%)
悪質違反	信号無視	1	5.6	安全運転義務違反	交差点安全進行		0.0
	最高速度		0.0		徐行違反		0.0
	通区・追越	1	5.6		ハンドル・ブレーキ操作		0.0
	歩行者妨害等	2	11.1		前方不注意	4	22.2
	一時不停止	2	11.1		動静不注視	4	22.2
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	4	22.2
計		6	33.3	安全速度		0.0	
横断禁止等			0.0	その他		0.0	
車間距離不保持			0.0	計	12	66.7	
進路変更禁止			0.0	その他		0.0	
右・左折			0.0	歩行者の違反		0.0	
優先通行妨害等			0.0	合計	18	100.0	

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では77.8%、第2当事者では66.7%を占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第一当事者	事業用	4		4
	自家用	14		16
	合計	18	0	20

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第二当事者	事業用	3		3
	自家用	6		8
	合計	9	0	11

16 安全運転管理者選任事業所の事故

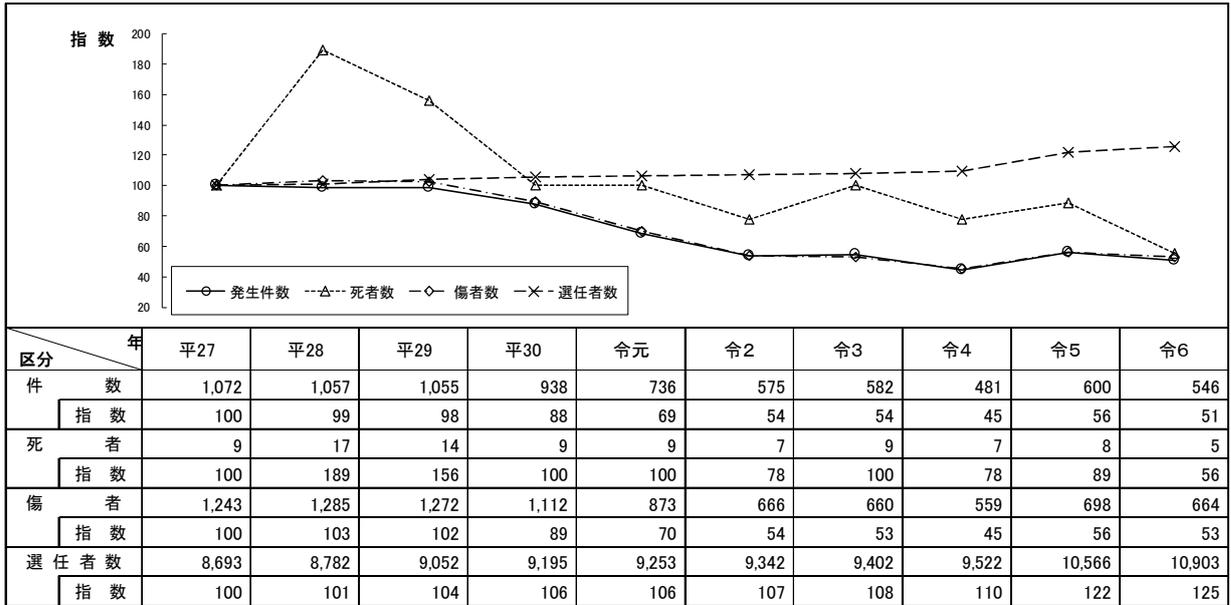
(1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

発生件数	546件	（前年比	-54件	9.0%減）
死者数	5人	（前年比	-3人	37.5%減）
傷者数	664人	（前年比	-34人	4.9%減）

で、前年より発生件数、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年12月末の数値

（単位：件・人・%）

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	288	52.7		338
	183	33.5		208
業務外	258	47.3	5	326
調査不能	0	0.0	0	0

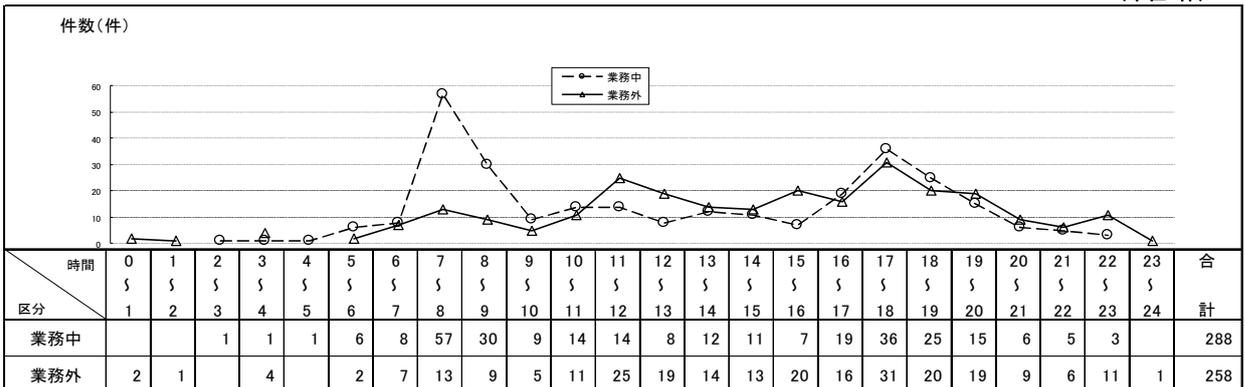
業務中が安管事業所事故の52.7%を占めている。

(2) 安管の事故特徴

ア 時間別

業務中については、午前7時から午前8時までが57件、業務外については、午後5時から午後6時までが31件と多くなっている。

（単位：件）



※業務中は通勤を含む

イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が146件で50.7%、次いで軽乗用車が78件で27.1%を占めている。

業務外では、普通乗用車が160件と最も多く62.0%を占めている。(単位：件)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車					合計
		大 中	型 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通		軽	計	小 型	軽	二 種	
業務中		5	146	78	229	21	18	17	56	1		1		1	2	288
	構成率(%)	1.7	50.7	27.1	79.5	7.3	6.3	5.9	19.4	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.7	100
業務外			160	84	244		2	9	11		1		1	1	3	258
	構成率(%)	0.0	62.0	32.6	94.6	0.0	0.8	3.5	4.3	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	1.2	100

(イ) 用途別

業務中、業務外ともに自家用(その他)で最も多く、業務中事故では95.5%、業務外事故では100.0%を占めている。

(単位：件)

区分	車種	事業用	自 家 用				計	その他	合計	
			レンタカー	スクールバス	代行 運転	その他				
業務中		12	6		1	2	266	275	1	288
	構成率(%)	4.2	2.1	0.0	0.3	0.7	92.4	95.5	0.3	100
業務外			2				256	258		258
	構成率(%)	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	99.2	100.0	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、業務中では追突が32.6%、業務外では出会い頭が25.6%を占めている。

(単位：件)

区分	類型	人 対 車 両			車 両 相 互						車 両 単 独			列 車	合 計		
		横 断	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱			そ の 他	計
業務中		28	20	48	8	94	76	8	31	18	235	4		1	5	288	
	構成率(%)	9.7	6.9	16.7	2.8	32.6	26.4	2.8	10.8	6.3	81.6	1.4	0.0	0.3	1.7	0.0	100
業務外		18	22	40	13	62	66	12	38	22	213	2		3	5	258	
	構成率(%)	7.0	8.5	15.5	5.0	24.0	25.6	4.7	14.7	8.5	82.6	0.8	0.0	1.2	1.9	0.0	100

エ 違反別

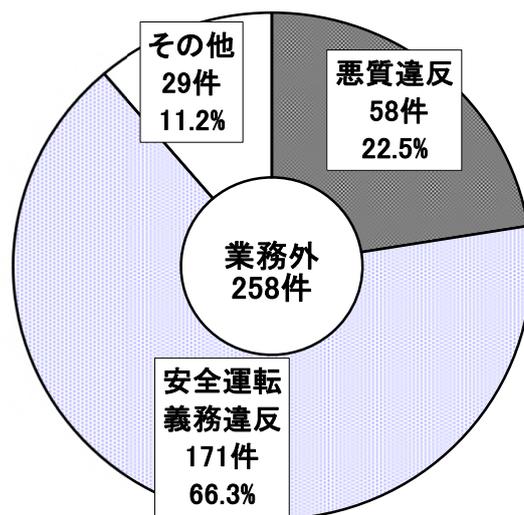
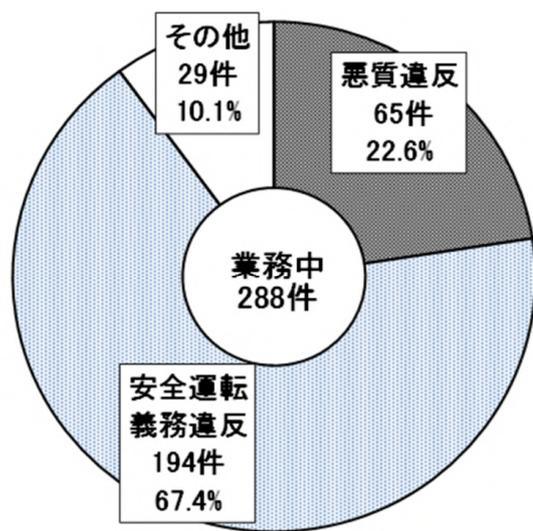
業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、どちらも約7割を占めている。
 悪質違反では、業務中が歩行者妨害、業務外が一時不停止の占める割合が高い。

(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	21	7.3	23	8.9	安全運転義務違反	徐行違反	1	0.3		0.0
	最高速度		0.0		0.0		過労運転		0.0	3	1.2
	通区・追越	5	1.7	6	2.3		ハンドル・ブレーキ操作	19	6.6	16	6.2
	歩行者妨害等	22	7.6	12	4.7		前方不注意	55	19.1	64	24.8
	一時不停止	17	5.9	16	6.2		動静不注意	48	16.7	27	10.5
	酒酔い運転		0.0	1	0.4		安全不確認	65	22.6	63	24.4
	計	65	22.6	58	22.5	安全速度	3	1.0		0.0	
横断禁止等			0.0	3	1.2	予測不適	1	0.3		0.0	
車間距離不保持			0.0		0.0	その他	3	1.0	1	0.4	
進路変更禁止			0.0		0.0	計	194	67.4	171	66.3	
右・左折			0.0	1	0.4	安全不確認ドア開放	1	0.3		0.0	
優先通行妨害等	10	3.5	9	3.5	その他	1	0.3		4	1.6	
交差点安全進行	16	5.6	9	3.5	合計	288	100.0	258	100.0		

(単位：件)

(単位：件)



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

(単位：件)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)
発見の遅れ		205	71.2	204	79.1
判断の誤り等		60	20.8	35	13.6
操作上の誤り		21	7.3	18	7.0
調査不能		2	0.7	1	0.4
合計		288	100	258	100

17 県外居住者の事故

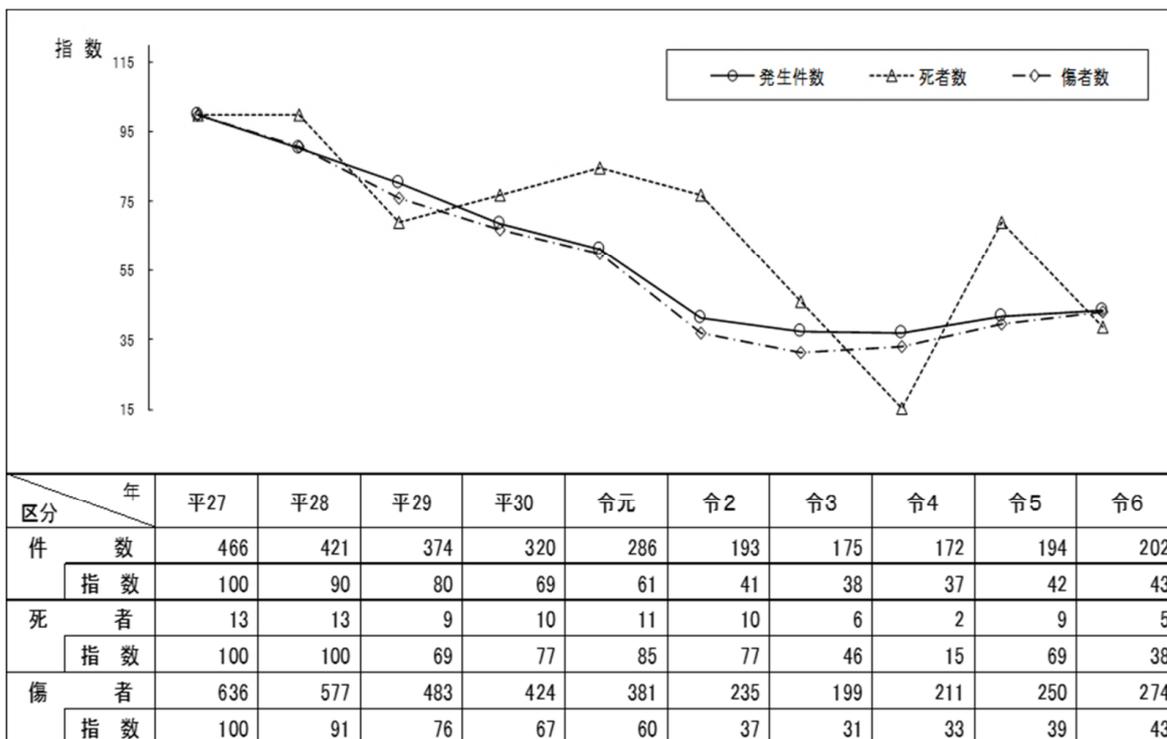
(1) 概況

県外運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	202件	(前年比)	+8件	4.1%増)
死者数	5人	(前年比)	-4人	44.4%減)
傷者数	274人	(前年比)	+24人	9.6%増)

で、前年より発生件数、傷者数は増加したが死者数は減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

12月が24件で最も多く、次いで11月が23件となっている。

原付以上の事故に占める割合で見ると、1月が8.2%で最も高く、最も低い7月(3.7%)と比較すると4.5ポイントの差となっている。

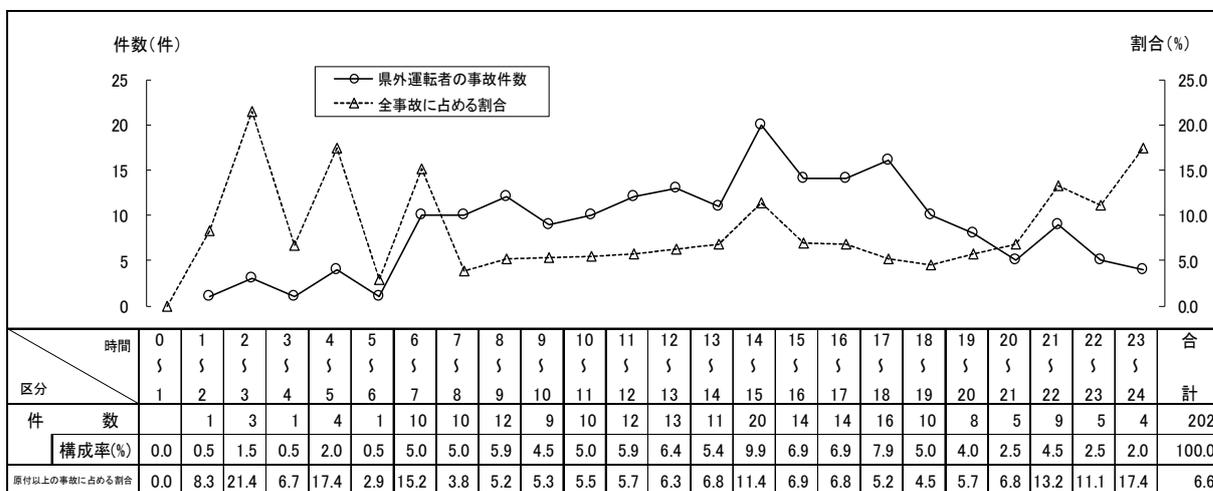
(単位：件・人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
	原付以上の事故		219	215	229	223	233	205	214	296	254	299	311	362	3,060
県外運転者	件数	18	12	17	15	16	13	8	22	16	18	23	24	202	
	全事故に占める割合	8.2	5.6	7.4	6.7	6.9	6.3	3.7	7.4	6.3	6.0	7.4	6.6	6.6	
	死者				2	1									3
	傷者	19	12	20	19	27	16	10	33	22	25	36	35	274	

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、14～15時の20件、次いで17～18時の16件の順となっている。
また、原付以上の事故に占める割合でみると、2～3時の21.4%が最も高い。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が81件で、県外居住者事故の40.1%を占めている。

特に、三桁国道は29件で国道事故の35.8%を占めている。

原付以上の事故に占める割合では、高速道路が66.7%と最も高く、次いで国道13号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											合 計
		幹 線 国 道					三 桁 国 道	計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	
		4 号	6 号	13 号	49 号	計							
件 数		23	15	6	8	52	29	81	33	45	28	15	202
構成率(%)		11.4	7.4	3.0	4.0	25.7	14.4	40.1	16.3	22.3	13.9	7.4	100.0
原付以上の事故に占める割合		10.4	14.0	15.8	6.0	10.4	8.3	9.5	4.4	3.7	66.7	7.3	6.6

(5) 当事者別

普通乗用車が104件で最も多く、県外居住者事故の51.5%を占めている。

原付以上の事故に占める割合でみると、中型貨物車が47.8%と高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車						貨 物 車						二 輪 車		特 殊 車	合 計	
		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	自 動 車				
														原 付	計			
件 数		1			104	29	134	15	22	2	19	7	65	3		3	202	
構成率(%)		0.5	0.0	0.0	51.5	14.4	66.3	7.4	10.9	1.0	9.4	3.5	32.2	1.5	0.0	1.5	0.0	63.9
原付以上事故に占める割合		14.3	0.0	0.0	6.8	2.9	5.3	32.6	47.8	6.1	19.6	2.8	13.8	15.8	0.0	8.6	0.0	6.6

(6) 年齢別

高齢者が41件で最も多く、次いで20～24歳が27件となっている。

原付以上の事故に占める割合については、55～59歳の9.8%が最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢														高齢者	合計
	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳				
件数			5	27	14	9	18	16	18	14	22	18	41	202		
構成率(%)	0.0	0.0	2.5	13.4	6.9	4.5	8.9	7.9	8.9	6.9	10.9	8.9	20.3	100.0		
原付以上事故に占める割合	0.0	0.0	5.7	8.9	8.0	5.0	7.6	7.3	8.3	5.7	9.8	7.8	4.4	6.6		

(7) 通行目的別

私用中が138件で県外居住者事故全体の68.3%を占めており、うち、観光が55件で最も多く、死者数は2人となっている。業務中の事故は53件発生し、全体の26.2%を占め死者数は1人となっている。

(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が72.8%と高く、うち前方不注意が61件と最も多い。注意が61件と最も多い。

また、悪質違反のうち信号無視が16件と最も多い。

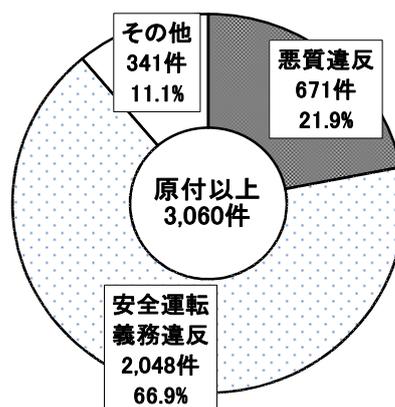
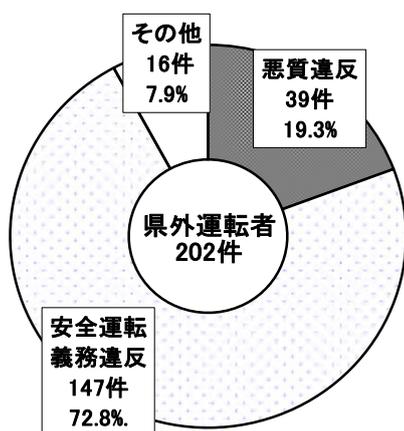
原付以上の事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、5.9ポイント高くなっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者・傷者		
			死者	傷者	
業務	53	26.2	1	65	
通勤	11	5.4	1	11	
通学		0.0			
私用	観光	55	27.2	2	79
	ドライブ	9	4.5	1	14
	散歩		0.0		
	飲食	5	2.5		7
	買物	21	10.4		32
	訪問	15	7.4		22
	帰省	15	7.4		19
	その他	18	8.9		25
計	138	68.3	3	198	
不明		0.0			
合計	202	100.0	5	274	

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	16	7.9	安全運転義務違反	交差点安全進行	6	3.0
	最高速度		0.0		徐行違反	1	0.5
	通区・追越	5	2.5		ハンドル・ブレーキ操作	19	9.4
	歩行者妨害等	5	2.5		前方不注意	61	30.2
	一時停止	13	6.4		動静不注意	27	13.4
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	37	18.3
計		39	19.3	安全速度	2	1.0	
過労運転			0.0	その他	1	0.5	
横断禁止			0.0	計	147	72.8	
進路変更禁止			0.0	その他	3	1.5	
右・左折	2	1.0	歩行者の違反			0.0	
優先通行妨害等	4	2.0	合計		202	100.0	



(9) 市町村別

(単位:件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	37	716	5.2
2	郡山市	22	596	3.7
3	福島市	20	396	5.1
4	白河市	11	158	7.0
5	会津若松市	9	178	5.1
6	西郷村	9	42	21.4
7	猪苗代町	8	36	22.2
8	伊達市	6	69	8.7
9	南相馬市	5	94	5.3
10	二本松市	5	83	6.0
11	相馬市	4	42	9.5
12	矢吹町	3	42	7.1
13	桑折町	3	14	21.4
14	矢祭町	3	9	33.3
15	南会津町	3	7	42.9
15	新地町	3	7	42.9
17	本宮市	2	53	3.8
18	浪江町	2	11	18.2
19	下郷町	2	6	33.3
20	北塩原村	2	4	50.0
20	広野町	2	4	50.0
22	須賀川市	1	131	0.8
23	喜多方市	1	51	2.0
24	三春町	1	21	4.8
25	大玉村	1	15	6.7
26	石川町	1	11	9.1
27	浅川町	1	7	14.3
27	塙町	1	7	14.3
28	国見町	1	6	16.7
28	磐梯町	1	6	16.7

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
31	西会津町	1	4	25.0
31	富岡町	1	4	25.0
33	双葉町	1	3	33.3
34	檜枝岐村	1	1	100.0
35	田村市		29	0.0
36	鏡石町		18	0.0
37	玉川村		17	0.0
37	棚倉町		17	0.0
39	泉崎村		14	0.0
40	会津美里町		12	0.0
41	川俣町		11	0.0
41	平田村		11	0.0
41	会津坂下町		11	0.0
44	天栄村		9	0.0
45	中島村		8	0.0
46	只見町		4	0.0
46	檜葉町		4	0.0
48	鮫川村		3	0.0
48	湯川村		3	0.0
48	大熊町		3	0.0
51	小野町		2	0.0
51	柳津町		2	0.0
53	古殿町		1	0.0
53	金山町		1	0.0
53	三島町		1	0.0
53	飯舘村		1	0.0
57	昭和村			-
57	川内村			-
57	葛尾村			-

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

(単位:件・人)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	2	1.0		3	2	1.0		2
青森	1	0.5		1		0.0		
岩手	2	1.0		3	7	3.6		12
宮城	47	23.3	1	58	51	26.3	2	64
秋田		0.0				0.0		
山形	12	5.9	1	17	11	5.7	1	11
東京都	23	11.4	1	30	16	8.2	1	26
茨城	31	15.3		43	25	12.9		26
栃木	22	10.9	1	30	20	10.3		24
群馬	3	1.5		11	2	1.0		2
埼玉	14	6.9		21	13	6.7		19
千葉県	12	5.9		14	14	7.2		15
神奈川県	10	5.0	1	15	10	5.2	2	12
新潟	10	5.0		13	7	3.6	3	9
山梨		0.0				0.0		
長野		0.0				0.0		
静岡県	1	0.5		1	3	1.5		7
富山		0.0				0.0		
石川		0.0			3	1.5		8
福井	1	0.5		1		0.0		
岐阜		0.0				0.0		
愛知	1	0.5		1	2	1.0		2
滋賀		0.0				0.0		
三重	1	0.5		1		0.0		
京都	2	1.0		2	2	1.0		3
大阪		0.0			2	1.0		3
兵庫県	2	1.0		2	2	1.0		2
奈良		0.0				0.0		
和歌山		0.0				0.0		
鳥取	1	0.5		1		0.0		
島根	1	0.5		2		0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島	1	0.5		1		0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0			1	0.5		1
愛媛		0.0				0.0		
徳島	1	0.5		2		0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0				0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島	1	0.5		1		0.0		
沖縄		0.0			1	0.5		2
合計	202	100	5	274	194	100	9	250

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、1,833件で全事故の59.4%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が827件で最も多く、交差点事故の45.1%を占め、次いで交差点付近が445件となっている。

(単位：件・人)

区分 道路形状		件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
交差点	大	278	9.0	4	350
	中	827	26.8	9	966
	小	283	9.2	0	327
	付近	445	14.4	5	541
	計	1,833	59.4	18	2,184
単路	トンネル	14	0.5	2	21
	橋	11	0.4	0	11
	カーブ・屈折	117	3.8	13	148
	その他	913	29.6	18	1,134
	計	1,055	34.2	33	1,314
踏切		0	0.0	0	0
一般交通の場所		198	6.4	0	240
合計		3,086	100	51	3,738

(単位：件・人)

区分 交差点第1進入路		件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	27	1.9	0	29
	交差路 中	164	11.8	3	211
	交差路 大	87	6.3	1	110
	計	278	20.0	4	350
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	121	8.7	2	138
	交差路 中	606	43.7	5	708
	交差路 大	100	7.2	2	120
	計	827	59.6	9	966
小 (5.5m未満)	交差路 小	82	5.9	0	89
	交差路 中	169	12.2	0	198
	交差路 大	32	2.3	0	40
	計	283	20.4	0	327
合計		1,388	100	13	1,643

(2) 道路線形別

直線での事故は2,749件で全事故の89.1%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は139件で全事故の4.5%となっている。

勾配で見ると、上り坂は88件（全事故の2.9%）、下り坂は152件（全事故の4.9%）、平坦は2,648件（全事故の85.8%）となっている。

(単位：件・人)

区分 道路線形		件数		死者	
		件数	構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	6	0.2	
		下り	13	0.4	4
		平坦	33	1.1	3
	左	上り	11	0.4	1
		下り	31	1.0	3
		平坦	45	1.5	3
計		139	4.5	14	
直線	上り	71	2.3	5	
	下り	108	3.5	2	
	平坦	2,570	83.3	30	
	計	2,749	89.1	37	
一般交通の場所		198	6.4		
合計		3,086	100.0	51	

(3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が2,006件で、
全事故の65.0%を占めている。

死者数は市街地24人・非市街地
27人と非市街地の方が多くなっ
ている。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	
				死	傷
市街地	人口集中地区	855	27.7	11	867
	その他	1,151	37.3	13	1,398
	計	2,006	65.0	24	2,265
非市街地		1,080	35.0	27	1,138
合計		3,086	100	51	3,403

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

交差点「中」の道路での事故が827件で最も多く、全事故の26.8%を占めている。

(単位：件・人)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
								小	中	大		
件数		62	95	604	395	261	83	283	827	278	198	3,086
構成率(%)		2.0	3.1	19.6	12.8	8.5	2.7	9.2	26.8	9.0	6.4	100
死者		3	1	21	10	1	2	0	9	4	0	51
傷者		71	109	735	506	332	102	327	966	350	240	3,738

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が2,606件で最も多く、全事故の84.4%を占めている。(単位：件・人)

地形	路面状態	舗 装					計	非舗装	合計	
		乾	燥	湿	潤	凍				
件数		2,606		417		38	21	3,082	4	3,086
構成率(%)		84.4		13.5		1.2	0.7	99.9	0.1	100.0
死者		43		7		1		51		51
傷者		3,151		520		39	23	3,733	5	3,738

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,398件で最も多く、全事故の45.3%を占めている。

(単位：件・人)

地形	施設	中 分 離	中 央 線				計	中 分 離 な し	その他	合計
			高輝度 標	チャッター 表示	ポ ス ト コ ー ン	ペ イ ン ト				
件数		436	4	22	13	1,398	1,437	1,015	198	3,086
構成率(%)		14.1	0.1	0.7	0.4	45.3	46.6	32.9	6.4	100.0
死者		3	0	0	1	29	30	18	0	51
傷者		567	4	27	15	1,696	1,742	1,189	240	3,738

19 その他

(1) 特殊事故

(単位：件・人)

特殊事故は430件で、全事故の13.9%を占め、約7件に1件の割合で発生している。

件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突298件

全事故の 約10件に1件

- ・ひき逃げ67件

全事故の 約46件に1件

- ・スリップ31件

全事故の 約100件に1件の割合で発生している。

特殊事故	区分	件数		死者	傷者	
		件数	構成率(%)			
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	67	2.2	2	76	
	無申告	18	0.6		19	
	多重衝突	298	9.7	9	480	
	左折巻き込み	2	0.1		2	
	荷崩れ	1	0.0		1	
	自然発車	1	0.0		1	
	ドア開閉		0.0			
	車両火災		0.0			
	スリップ事故	31	1.0		32	
	当事者内容	薬物影響		0.0		
発作・急病		てんかん	3	0.1		6
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管	2	0.1		3
		その他	5	0.2		9
身障者		2	0.1		2	
緊急用務自動車			0.0			
合計		430	13.9	11	631	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合
 2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が1,760件で全事故の57.0%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が896件となっており、合わせると全事故の86.0%を占めている。

(単位：件・人)

区分	天候						合計
	晴	曇	雨	霧	雪		
件数	1,760	896	353	2	75	3,086	
構成率(%)	57.0	29.0	11.4	0.1	2.4	100.0	
死者	33	14	3	0	1	51	
傷者	2,120	1,098	435	2	83	3,738	

(3) 携帯電話使用中の事故

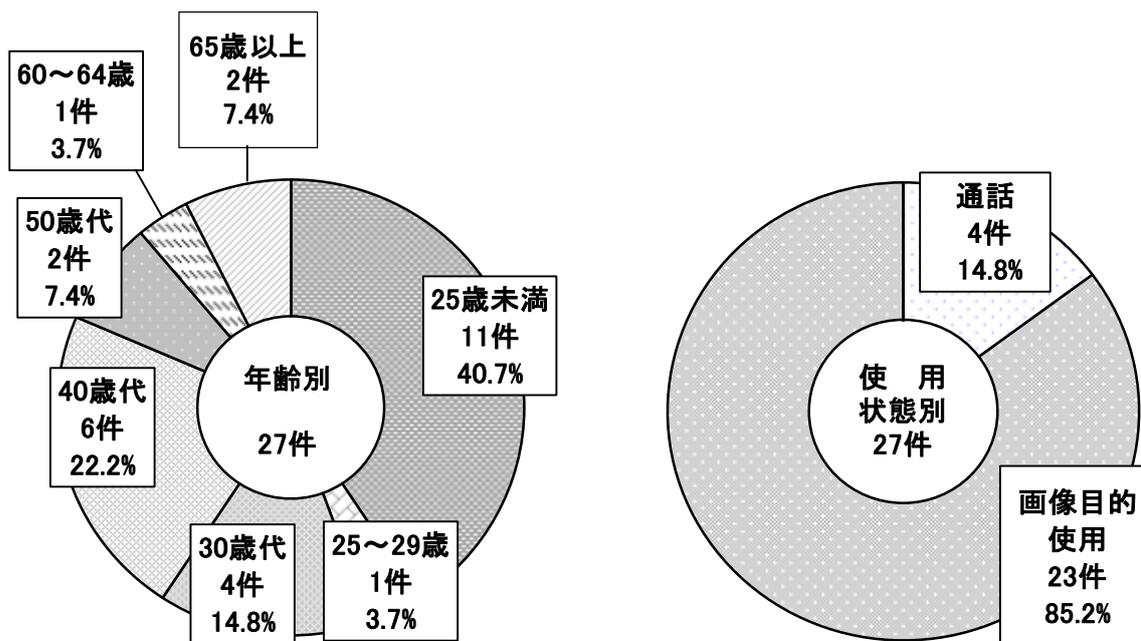
携帯電話使用中の事故は27件発生し、死者は1人、傷者は38人となっている。

事故類型別にみると、追突が17件で最も多く、63.0%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約2.1倍となっている。

(単位：件)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		2	7.4	444	14.4
車両相互	追突	17	63.0	941	30.5
	出会い頭	4	14.8	851	27.6
	正面衝突	1	3.7	113	3.7
	その他	3	11.1	675	21.9
車両単独			0.0	62	2.0
列車			0.0		0.0
合計		27	100.0	3,086	100.0

死者1人、傷者38人



年齢別にみると、25歳未満が11件で最も多く40.7%、次いで40歳代が6件となっている。事故直前の使用状況は、画像目的使用23件で全体の85.2%を占めている。